

平成 5 年 度

学 校 教 育 要 覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 081-7354



1852703

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点	1
◇ 学校教育における指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の課題と指導の重点	5
◇ 日野市教育委員会指導室関係及び幼・小・中学校行事予定表	7
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画	19
◇ 日野市教育委員会の学校訪問	30
◇ 日野市教育委員会事務局組織	32
◇ 指導主事事務分担	40
◇ 日野市教職員研究資料室	42
◇ 日野市教育相談室	44
◇ 日野市健全育成担当室	46
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	47
◇ 日野市立小学校科学教育 センター	49
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧	52
◇ 校長・教頭事業担当一覧	54
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧	58
◇ 日野市立小・中学校主任（担当）一覧	60
◇ 授業研究主題一覧・研究奨励一覧	64
◇ 都教育研究員等一覧	66
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	67
◇ 就職・進学状況の推移	68
◇ 園児・児童・生徒・学級数	69
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移	71
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	72
◇ 避難場所と地区割当表	74
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	75
" 第二 "	76
" 第三 "	77
" 第四 "	78
" 第五 "	79
" 第六 "	80
" 第七 "	81
日野市立日野第一小学校	82
" 日野第二 "	85
" 日野第三 "	88
" 日野第四 "	91
" 日野第五 "	94
" 日野第六 "	97
" 潤 徳 "	100
" 平 山 "	103
" 日野第八 "	106
" 百 草 台 "	109
" 滝 合 "	112
日野市立高幡台小学校	115
" 日野第七 "	118
" 南 平 "	121
" 程久保 "	124
" 旭が丘 "	127
" 平山台 "	130
" 東光寺 "	133
" 三沢台 "	136
" 仲 田 "	139
日野市立日野第一中学校	142
" 日野第二 "	145
" 七 生 "	148
" 日野第三 "	151
" 日野第四 "	154
" 三 沢 "	157
" 大 坂 上 "	160
" 平 山 "	163

平成 5 年 度

日野市教育委員会の教育目標と重点

教 育 目 標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調として、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動できる市民の育成と生涯を通じて学び続けることのできる学習社会の実現を目指し、次のことを目標にして教育・文化・スポーツの発展・充実を図る。

1. 豊かな心、いきいきとした知識、健やかな体を培うとともに、社会人としての徳性を涵養し、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 自他の生命を尊び、個性と創造性を伸ばし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲の教育に努める。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のみに、青少年の健全な教育を推進するとともに、郷土愛を培い、地域の自然や文化を大切にする態度の育成に努める。

重 点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 学校教育における指導内容・方法の改善・充実に努め、生涯にわたる学習の基礎を培うとともに、一人一人の個性や能力の伸長を図り、人間性豊かな幼児・児童・生徒を育む教育を推進する。
2. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図るとともに市民への開放を通して地域の教育力を高める。
3. 公民館活動並びに図書館・ふるさと博物館の資料及びその機能の充実に努め、市民の学習機会の拡充を図り、文化の向上に寄与する。
4. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用を進めるとともに、指導体制の充実並びに地域における活動組織の育成を図る。
5. 学校週 5 日制への移行に伴い、家庭及び地域社会と学校の教育が一体的に働き、幼児・児童・生徒が自ら考え、主体的に判断し、行動できる能力を育む。

平成 5 年度 学校教育における指導の重点

日野市教育委員会は、先の教育目標を達成するため、次のことを学校教育において推進すべき課題として設定する。

<人権尊重の教育の推進>

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するために、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底する。

各学校においては、一人一人の児童・生徒の個性と創造性を伸ばし、人権尊重の精神を培い、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育む。

<社会性を育む教育の推進>

児童・生徒を健全な社会人として育成するために、郷土を愛する心を培い、地域社会の一員としての自覚を促し、地域社会の形成者としての資質を育てる。

各学校においては、学校・地域・関係諸機関等との連携を一層深めるとともに、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることによって、地域に根ざした学校教育の推進に努め、地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う。

<環境教育の推進>

地球上の全ての生命の生存と尊厳に重大な影響をもたらす環境に関心をもち、その保全とよりよい環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動がとれる態度を育てる。

各学校においては、自然をいっくしむ心や環境を大切にすることを育てるとともに、全教育活動を通して、環境の改善に主体的に働きかける態度や技能を培う。

<国際理解教育の推進>

国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる児童・生徒を育成するために、我が国と諸外国との生活や文化の相違を理解させ、これを尊重する態度の育成に努め、進んで国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てる。

各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して、自国の文化や伝統について理解することや、国際協力に果たす個人や国家の役割について主体的に学ぶ態度を育む。

各学校ではこれらの課題について、次のことを日常の教育における指導の重点として、教師一人一人の職見や指導力を高めるとともに、校内の指導体制を確立し、家庭・地域との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実・向上に努める。

<学習指導の改善・充実>

自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動する児童・生徒を育成するために、児童・生徒の発達段階に即して基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、一人一人の能力・適性等の伸長を図り、個性を生かす教育の充実に努める。

各学校においては、次の点に重点をおいて体験的な活動を重視するなど指導内容・方法及び評価の改善を図り、各教科等の基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、柔軟な思考力や創造力を育成し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を育む。

- (1) 教育課程の方針を基に、各学校の教育目標の具現化を目指し、学校の創意を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 小集団による主体的・創造的な学習活動、ティーム・ティーチングによる指導、体験的な学習活動、地域の素材を生かした教育の在り方等について研究を推進するとともに、児童・生徒の学習過程に視点を置いた授業研究を進める。
- (3) 多様な指導方法や指導形態を創意工夫することによって、情報の活用能力を高め、豊かな感性を育み、表現力の一層の向上を図る。
- (4) 全教育活動を通して生き方にかかわる教育を推進し、豊かな感性や自主性を涵養するとともに、好ましい人間関係を育む。

<生活指導・進路指導の充実>

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童・生徒を育成するために、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め社会規範を守る態度を育むとともに、全教育活動を通して自己実現を図る能力と態度を育成する。

各学校では、次の点に重点をおいて児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、教育相談を重視するなどにより一人一人の児童・生徒のよさを深く理解し、全校的な指導体制を一層充実し、組織的・計画的に生活指導・進路指導を進める。

- (1) 学級経営の充実に努め、一人一人を生かす指導の徹底を図り、児童・生徒が互いに認め合い、励まし合い、支え合う態度を育成する。
- (2) 児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身につけることができるよう指導内容・方法の改善・充実に努める。
- (3) 児童・生徒の奉仕的な活動など社会活動への参加を一層促進する。
- (4) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、人と人との関わりを重視した指導の徹底に努め、健全な児童・生徒を育成する。

<健康・安全指導の充実>

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある学校生活を送ることができるようにするために、児童・生徒の心と体の健康づくりに努める。

各学校においては、計画的・組織的に、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底させ、自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育成する。

- (1) 児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう指導内容・方法を工夫し、体育活動の充実に努める。
- (2) 性にかかわる指導を組織的・計画的に行い、児童・生徒が人間の性に関する理解を十分に深め、成長過程における課題に適切に対応できるよう援助・指導する。
- (3) 計画的・組織的に安全指導や安全管理を徹底し、事故防止に努める。

<心身障害教育の充実>

心身に障害のある児童・生徒一人一人の能力・適性を充分伸長するために、教育環境の整備・充実を図るとともに、指導内容・方法の改善・充実に努める。

各学校においては、次の点に重点をおいて心身障害教育の充実を図る。

- (1) 心身障害理解教育を推進し、児童・生徒・保護者並びに全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に応じた交流教育を推進する。
- (3) 家庭、医療機関及び関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実する。

<幼児教育の充実>

幼児期は心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期である。

各幼稚園においては、幼児の発達課題を適切にとらえ、具体的な体験を通して、人間形成の基礎となる心情、意欲、態度を育み、豊かな心、健やかな体を培う指導内容・方法の改善・充実に努める。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達に基づき、指導計画と指導内容・方法を改善する。
- (2) 基本的な生活習慣や正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を涵養する。
- (3) 地域の特性を生かし、多様な体験を通して豊かな感性を涵養する教育活動を充実する。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者、地域社会との連携を図り、幼児の健全な育成に努める。

※学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

平成5年度 東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童・生徒の育成を目指し、都民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる学習社会の実現を図り、もって、普遍的で個性豊かな文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次の視点を基本として教育を推進する。

1. 高齢化、情報化、国際化など社会の変化に伴う学習需要の増大に対応し、家庭教育、学校教育、社会教育を充実し、相互の緊密な連携を図り、都民の生涯にわたる学習を推進する。
2. 学校教育においては、自他の生命を尊び、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯意識をもち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる都民の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
3. 社会教育においては、多様な教育機関と連携し、都民が、生涯を通じ、自らの課題に即して、あらゆる機会、あらゆる場を利用し、生活上、職業上の資質を高め、文化的教養を深め、スポーツに親しむことのできる環境を醸成し、生涯学習の振興を図る。

学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育において推進すべき課題を明らかにし、そのために必要な、日常的教育における指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭や地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

◎学校教育の課題

人権尊重の教育の推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育の推進に努める必要がある。

また、障害のある人に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

さらに、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、学校のもつ教育機能や施設・設備を地域社会の人々に広く開放し、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興を図るとともに、児童・生徒の奉仕的な活動など社会活動への参加を一層促進することが大切である。

国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち、世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するためには、国際社会の中に生きる日本人としての自覚を促し、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である。

特に、各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して自国の文化や伝統についての理解を一層深めさせる必要がある。

また、国際都市東京の実態に即し、国際的な交流の機会等を生かし、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度を育成するとともに、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させることが大切である。なお、外国人児童・生徒が充実した学校生活をおくることができるように配慮することが大切である。

◎指導の重点

学習指導の改善・充実

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる児童・生徒を育成するためには、一人一人の個性や能力を生かす指導の徹底を図り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させることが重要である。

各学校においては、体験的な活動を重視するなど教育内容・方法及び評価の改善を図り、児童・生徒が各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、柔軟な思考力や豊かな創造力・表現力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に、学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害のある児童・生徒に対しては、一人一人の実態を適切に把握し、能力、適性が十分伸長されるよう指導の徹底に努めることが大切である。

また、情報化社会の進展に対応するため、児童・生徒の発達段階に即して情報を主体的に選択し、活用していく態度と能力を養うことが大切である。

生活指導・進路指導の充実

豊かな心をもち、たくましく生きる児童・生徒を育成するためには、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

特に、生活指導については、家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、人と人とのかかわりを重視した指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。

また、進路指導については、児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう指導内容・方法の改善・充実に努めることが大切である。

健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底して、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる必要がある。

特に、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身に付け、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図る必要がある。

また、性にかかわる指導においては、人間の性やそれとのかかわりの深いエイズなどに関する理解を十分深めさせ、成長過程における課題に対応できるよう援助・指導することが大切である。

さらに、体育活動や日常生活における事故及び交通事故の防止に努めるとともに、地震などの災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

(注) 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

日野市教育委員会指導室関係及び幼・小・中学校行事予定表

4 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水	□初任者研修会（506）	○新補・転補校長・教頭辞令伝達式		1
2	金	△転任教員等辞令伝達式（市民会館）10時～	○校長会（505）午後1時30分～		2
3	土				3
4	日				4
5	月	△都嘱託員辞令伝達式（504）		（春季休業日・終）	5
6	火			△小学校始業式・入学式 △中学校始業式	6
7	水	▲学校訪問協議会（都研）	○園長会（506）	△中学校入学式	7
8	木	■東京都市指導主事会（府中教育センター）	○教育委員会定例会（506）		8
9	金		●第二地区指導連絡会（多摩市）		9
10	土	（休 業 日）			10
11	日				11
12	月	〈都教委・教育研究員総会〉		△幼稚園入園式 △小・役員会（平山小）	12
13	火	〈都教委・教育研究員総会〉			13
14	水	▲指導主事連絡協議会（ ）			14
15	木			△小・校長会（八小） △中・校長会（四中）	15
16	金	△教頭会（市民会館）	○初任者研修会（506） ○中学校進路指導主任会（資料室）	修学旅行（一中）	16
17	土		○退職校長感謝式		17
18	日				18
19	月		○生活指導主任会（505）		19
20	火	▲体育・保健・給食指導連・協（ ）	○小学校体育主任会（505） ○情報教育推進委員会（資料室）		20
21	水			△小・役員会（506）	21
22	木	▲多摩地区指導主事連・協（多摩教育セン）	○教務主任会（505）		22
23	金	▲教員研修担当指導主事連・協（ ） □ハケ岳移動教室実地踏査	○保健主任会（505）		23
24	土	□ハケ岳移動教室実地踏査			24
25	日				25
26	月	▲外国人児・生教育指導連・協（ ）	○日野市教委・施策連絡会（506） ○初任者研修実施協議会		26
27	火	▲生活指導担当指導主事連・協（ ）	○授業改善委員会（資料室）○学校経営研修会（資料室） ○初任者研修会・市内めぐり○心身障害教育推進協議会	△中・校長会（平山中）	27
28	水	△人権尊重教育推進委・役員会（502）			28
29	木	（みどりの日）			29
30	金	▲東京都市指導主事会（青梅市教育センター）	○就学相談委員会（資料室）	開校記念日（二中）	30
備考		・修学旅行；《中学3年生》（4/16～18）一中、			

5 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	土			開園記念日（三幼） △小・中役員会（平山小）	1
2	日				2
3	月	（憲法記念日）			3
4	火	（休 日）			4
5	水	（子どもの日）			5
6	木	▲消費者教育推進委員会（ ）	●第二地区指導連絡会（稲城市）		6
7	金	△校長会（505） ▲同和教育指導推進委員会（ ）			7
8	土	（休 業 日）			8
9	日			開校記念日（一中）	9
10	月	□A訪問（第五幼稚園）	○人権尊重教育・国際理解教育推進委員会（ ） ○教育課題研修会（資料室）	開園記念日（二幼） 開校記念日（平山小）	10
11	火	▲東京都指導主事会（多摩市立総合体育館）	○教育相談ケース会議（相談室） ○相談学級運営委員会（相談学級教室）	○実技研（資料室） ○心障教推協	△中・校長会（一中）
12	水		○日野市教育研究会・総会（小・中学校） ○パソコン研修会（平山中）	修学旅行（三中） 開校記念日（潤徳小）	12
13	木	□小学校日光移動教室実地踏査（日光市） ■区・市指導主事研究会議（ ）			13
14	金	□小学校日光移動教室実地踏査（日光市） ■区・市指導主事研究会議（ ）	○教職員互助会評議委員会（ ）		14
15	土				15
16	日				16
17	月	△幼稚園長会	○生活指導主任会（505）+教職専門研修会②	△小・校長会（百草台小）	17
18	火	▲生活指導担当指導主事連・世（ ） ▲心身障害教育担当指導主事連（ ）	○学校経営研修会②（資料室）		18
19	水				19
20	木	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○教務主任会（504） ●多摩地区生指研・世（ ）	○パソコン研修会（三中）	20
21	金	△教頭会（505） ▲国際理解・外国人児童生徒教育（ ）	○初任者研修会（資料室）+学習指導法研修会①		21
22	土			△中・校長会（二中）	22
23	日	□運動会（一中、四中）			23
24	月		○中学校・生活指導主任会（大坂上中） ○学校経営研修会③（資料室）	ハケ岳移動教室開始・5年	24
25	火	□A訪問（第七幼稚園）	●多摩地区健全育成行政連絡会議（多摩教育センター） ○パソコン研修会（平山中）	修学旅行（三沢、大坂上） 開園記念日（一幼）	25
26	水		○幼児教育研修会（資料室）		26
27	木	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ）	○授業改善委員会・研究奨励受給者全体会（505）	修学旅行（七生中）	27
28	金		○保健主任会（505）	修学旅行（二中）	28
29	土			開園記念日（六幼） △小・中役員会（一中）	29
30	日	□運動会（三小、旭が丘小）		□運動会	30
31	月	□A訪問（百草台小学校）			31
備		・運動会；（5/23）一中、四中、（5/30）三小、旭が丘小 ・移動教室；《小学校5年生》（5/19, 20）八小、（5/24, 25）高幡台小、（5/25, 26）仲田小、（5/26, 27）程久保小、平山台小、 （5/27, 28）六小、潤徳小、七小、（5/28, 29）滝台小、（5/31, 6/1）平山小 ・修学旅行；《中学3年生》（5/12～14）三中、（5/25～27）三沢中、大坂上中、（5/27～29）七生中、（5/28～30）二中、 ・（5・26）地区協定期大会			
考					

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 火	△校長会（市民会館） ▲第二地区指導連絡会（八王子市）	○小学校体育主任会（ ） ○心身障害教育推進協議会 ○パソコン研修会（平山中）	開校記念日（百草台、滝合小 七生中）	1
2 水	□都一般訪問・B訪問（四小、滝合小）			2
3 木	□A訪問（第三幼稚園）	○教職専門研修会①+授業研究連絡協議会（資料室）		3
4 金	□教務主任会・宿泊研修会（ ） △幼稚園長会（ ）	○初任者研修会 ○実技研修会・水泳（日野市東部会館）	開校記念日（一小）	4
5 土	□教務主任会・宿泊研修会（ ） □運動会（平山中）			5
6 日	□運動会（五小、三中）			6
7 月		○学校経営研修会④（資料室）		7
8 火		○教育相談研修会①（資料室） ○パソコン研修会（平山中）		8
9 水		○小学校・日野市教育研究会	開校記念日（五小）	9
10 木	▲生活指導担当指導主事連・協（ ） △小学校・音楽鑑賞教室（市民会館）	○中学校・音楽鑑賞教室（市民会館）	開校記念日（三小）	10
11 金	△小学校・音楽鑑賞教室（市民会館）	○中学校・音楽鑑賞教室（市民会館）		11
12 土	（休業日）			12
13 日				13
14 月		○中学校・生活指導主任会（ ）	△小・役員会（平山小）	14
15 火	▲東京都市指導主事会（小平市役所）	○教育課題研修会②（ ）+副読本指導手引説明会 ○パソコン研修会（平山中）	△小・校長会（滝合小）	15
16 水	□B訪問（第二幼稚園）	○中学校・日野市教育研究会		16
17 木		○多摩地区生活指導研究協議会（ ） ○パソコン研修会（平山中）		17
18 金	△教頭会（市民会館） ▲教員研修担当指導主事連・協（ ）	○初任者研修会（ ）+学習指導法研修会②		18
19 土			△小・中役員会（平山小）	19
20 日				20
21 月		○学校経営研修会⑤（資料室）	○中・校長会（七生中）	21
22 火		○パソコン研修会（平山中）		22
23 水	□都一般訪問・B訪問（第六幼稚園）	○幼児教育研修会		23
24 木			開校記念日 （二小、高幡台小）	24
25 金	□生活指導主任会・宿泊研修会（ ） ▲在日外国人児・生教育連・協（ ）	○保健主任会（ ）+教職専門研修会③ ○パソコン研修会（七生中）		25
26 土	□生活指導主任会・宿泊研修会（ ）			26
27 日				27
28 月	□A訪問（東光寺小）			28
29 火	▲福祉教育推進委員会（ ）	○授業改善委員会（ ） ○教育相談研修会②（資料室）		29
30 水	□都一般訪問・B訪問（三沢台小）		開園記念日（七幼） 開校記念日（六小）	30
備 考	・心身障害理解教育推進校連絡協議会（ ） ・心身障害理解教育地域推進委員会（ ） ・運動会；（6/5）平山中、（6/6）五小、三中 ・移動教室；《小学校5年生》（6/1, 2）一小、東光寺小、（6/2, 3）南平小、（6/7, 8）三小、四小、三沢台小、（6/10, 11）百草台小、 （6/18, 19）二小、 ・移動教室；《中学2年生》（6/2, 3）一中、 ・修学旅行；《中学3年生》（6/28, 30）四中、平山中、 ・地区協働人部大会（6・23）			

7 月

【△；午前 ○；午後 □；全日 指導主事会議 ▲；午前 ●；午後 ■；全日】

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	木	△校長会(505) ▲人尊校委() ▲東京都市指導主事会(東村山市民センター)	○教育相談ケース会議(相談室) ○相談学級運営協議会(相談学級教室)		1
2	金	▲指導主事連絡協議会() □進路指導主任会・宿泊研修会()	○初任者研修会() + 学習指導法研修会③		2
3	土	□進路指導主任会・宿泊研修会()		△小・役員会(平山小)	3
4	日	□日光移動教室・始(1班)			4
5	月				5
6	火	□日光移動教室(1班・2班) △幼稚園長会()		○中・校長会(三中)	6
7	水		○日野市教育研究会		7
8	木	□日光移動教室(2班・3班)			8
9	金		●第二地区指導連絡会(町田市)		9
10	土	□日光移動教室・終(3班) (休業日)			10
11	日				11
12	月		○生活指導主任会(505) ○心身障害教育推進協議会()		12
13	火	△教頭会(505) ▲同和教育指導推進() ▲男女平等教育推進委員会()			13
14	水			△小・校長会(高幡台小)	14
15	木		○教務主任会(505) ○学校経営研修会⑥(資料室)		15
16	金	▲在日外国人児童・生徒教育連()			16
17	土			△小・中役員会(一中)	17
18	日				18
19	月	▲東京都市指導主事会(日野市)			19
20	火			△小・中学校終業式	20
21	水			(夏季休業日・始) △中・校長会(四中)	21
22	木	△初任者研修+学習指導法研修会④(505)	○初任者研修+学習指導法研修会⑤(505)		22
23	金	△教育課題研修会③(資料室)			23
24	土				24
25	日				25
26	月	□実技研修会(五小・図工室)			26
27	火	□初任者研修・宿泊研修会(清里) □実技研修会(五小・図工室)(潤徳小)			27
28	水	□初任者研修・宿泊研修会(清里)			28
29	木	□初任者研修・宿泊研修会(清里)			29
30	金	□初任者研修・宿泊研修会(清里) □パソコン研修会(七生中)			30
31	土				31
備 考		・日光移動教室；《小学校6年生》(7/4～6) 二小、三小、六小、潤徳小、百草台小、平山台小、仲田小 (7/6～8) 一小、平山小、七小、程久保小、旭が丘小、東光寺小、三沢台小 (7/8～10) 四小、五小、八小、滝台小、高幡台小、南平小			

8 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	日				1
2	月	☐ パソコン研修会（七生中） ☐ 教育相談研修会（資料室）			2
3	火	☐ パソコン研修会（七生中） ☐ 教育相談研修会（資料室）			3
4	水				4
5	木				5
6	金	☐ 教頭研修			6
7	土				7
8	日				8
9	月				9
10	火				10
11	水				11
12	木				12
13	金				13
14	土				14
15	日				15
16	月				16
17	火				17
18	水	☐ 研究員御岳研究会・小学校			18
19	木	☐ 研究員御岳研究会・小学校	○幼稚園長会（ ）		19
20	金	☐ 研究員御岳研究会・小学校 ☐ 研究員御岳研究会・中学校			20
21	土	☐ 研究員御岳研究会・中学校			21
22	日	☐ 研究員御岳研究会・中学校			22
23	月				23
24	火				24
25	水				25
26	木				26
27	金				27
28	土				28
29	日				29
30	月	△初任者研修会（505）+ 教育課題研修会④	○初任者研修会（503）	△中・校長会（三沢中）	30
31	火			（夏季休業日・終）	31
備					
考					

9 月

【△：午前 ○：午後 □：全日 指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 水	▲学校訪問協議会（ ）		小・中学校始業式（防災の日）	1
2 木	▲多摩地区指導主事連・協（多摩教育セン）			2
3 金	△幼稚園長会（ ）	●東京都市指導主事会（国分寺勤労福祉会館） ○水泳記録会・中学校	○水泳記録会・中学校	3
4 土			△小・中役員会（平山小）	4
5 日				5
6 月	▲同和教育指導推進委員会（ ）	○水泳記録会（川北）	○水泳記録会（川北）	6
7 火	△校長会（505）	○水泳記録会（川南）	○水泳記録会（川南）	7
8 水	□B訪問（大坂上中）	○日野市教育研究会	・移教（三沢中）	8
9 木	▲消費者教育推進委員会（ ） ▲人権尊重推進校委員会（ ）	○心身障害教育推進委員会（ ）		9
10 金	▲第二地区指導連絡会（日野市）	○保健主任会（505）		10
11 土	（休業日）			11
12 日				12
13 月	□B訪問（一中）		△小・役員会（平山小）	13
14 火	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○生活指導主任会＋多摩地区生活指導研究協（ ）		14
15 水	（敬老の日）			15
16 木	▲心身障害教育担当指導主事連・協（ ） ▲幼稚園教育担当指導主事連・協（ ）	○教務主任会（505）	開校記念日（三沢中） △小・校長会（七小）	16
17 金	△数頭会（505）	○初任者研修会（502）＋学習指導法研修会⑤		17
18 土				18
19 日				19
20 月	▲生活指導担当指導主事連・協（ ）	○中学校生活指導主任会（一中）		20
21 火				21
22 水			△中・校長会（大坂上中）	22
23 木	（秋分の日）			23
24 金	▲体育・保健・給食指導連・協（ ）□運動会（二中） ▲国際理解、在日外国人児・生（ ）			24
25 土				25
26 日	□運動会（一小、四小、平山小、百草台小、平山台小、東光寺小、仲田小、七生中、三沢中）			26
27 月				27
28 火		○授業改善委員会（ ）		28
29 水	■管外研修（ ）			29
30 木	■管外研修（ ）			30
備 考	・運動会；（9/24）二中、（9/26）一小、四小、平山小、百草台小、平山台小、東光寺小、仲田小、七生中、三沢中			

10 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	前	午	後	備考（学校関係）	日	
1	金	■管外研修（ （都民の日）				1	
2	土				開校記念日（三中） △小・中役員会（一中）	2	
3	日	□運動会（二小、六小、潤徳小、八小、滝台小、高幡台小、七小、南平小、程久保小、三沢台小）					3
4	月					4	
5	火	△校長会（505） ▲第二地区指導連絡会（多摩市）	○体育主任会（101） ○心身障害教育推進協議会 ○情報教育推進委員会（資料室）		合唱祭（大坂上中）	5	
6	水	□都一般訪問・B訪問（三中）			合唱祭（四中）	6	
7	木	□A訪問（八小）				7	
8	金	▲東京都市指導主事会（清瀬市健康センター）			合唱祭（平山中）	8	
9	土	□運動会（第一幼稚園） （休業日）					9
10	日	□運動会（第二幼稚園、第三幼稚園、第四幼稚園、第五幼稚園、第六幼稚園、第七幼稚園） （体育の日）					10
11	月	（振替休日）					11
12	火		●多摩地区健全育成行政連絡協議会（多摩教育研究所）		△中・校長会（平山中）	12	
13	水	□都一般訪問・B訪問（平山小、平山台小）				13	
14	木	□A訪問（程久保小）				14	
15	金	▲教員研修担当指導主事連・協（ ）				15	
16	土		○就学相談委員会・就学相談（相談室）			16	
17	日						17
18	月	▲生活指導担当指導主事連・世（ ）	○生活指導主任会（504）+○教職専門研修会 ○陸上記録会（I）		△小・役員会（平山小）	18	
19	火		○授業改善委員会（503） ○陸上記録会（II）			19	
20	水		○市教研・秋季体育大会		開校記念日（程久保小） △小・校長会（南平小）	20	
21	木	□A訪問（一小）			開校記念日（平山中）	21	
22	金	△教頭会（ ）	○人権尊重教育推進委員会（ ） ○初任者研修会（502）+○教育課題研修会		文化祭（二中）	22	
23	土					23	
24	日						24
25	月	□B訪問（仲田小）	○中学校・生活指導主任会（二中） ○国際理解教育シンポジウム（都研）			25	
26	火	□A訪問（第一幼稚園）				26	
27	水	□都一般訪問・B訪問（第四幼稚園）			合唱祭（三沢中）	27	
28	木	■同和教育指導推進委・宿泊研修（ ）	○教務主任会（505）		合唱祭（一中）	28	
29	金	■同和教育・宿泊研修 △第五幼稚園・20周年記念式典 ▲在日外国人児・生教育連・協（ ）			合唱祭（七生中）	29	
30	土	△日野第七小学校・20周年記念式典			△中・校長会（一中）	30	
31	日						31
備考		・運動会（10/3）二小、六小、潤徳小、八小、滝台小、高幡台小、七小、南平小、程久保小、三沢台小 （10/9）第一幼稚園 （10/10）第二幼稚園、第三幼稚園、第四幼稚園、第五幼稚園、第六幼稚園、第七幼稚園 ・（10/29）日野第五幼稚園・20周年記念式典 ・（10/30）日野第七小学校・20周年記念式典					

11 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日	
1	月	□A訪問（三小）		開校記念日（四小、八小） 開園記念日（四幼、五幼）	1	
2	火	△校長会（505）	○心身障害教育推進協議会	開校記念日（大坂上中）	2	
3	水	（文 化 の 日）			3	
4	木	▲東京都市指導主事会（狛江市民センター）			4	
5	金	▲第二地区指導連絡会（稲城市）		合唱祭（三中）	5	
6	土	△日野第四中学校・20周年記念式典		△小・中役員会（平山中）	6	
7	日				7	
8	月	□A訪問（三沢中）		△小・役員会（平山小）	8	
9	火	▲心身障害教育担当指導主事連（ ）	●家庭裁判所との連絡会 ○学校保健研修会（資料室） ○相談学級運営協議会（相談学級教室）		9	
10	水	■管外研修	○日野市教育研究会（ ）	△中・校長会（二中）	10	
11	木	■管外研修（ ） △幼稚園長会（ ）	○実技研修会（資料室）	□小校長会管外研	11	
12	金	▲在日外国人児・生教育連・協（ ） ■管外研修（ ）	○初任者研修会（503） ●家庭裁判所との連絡会（ ）	マラソン大会（七生中） □小校長会管外研	12	
13	土	（休 業 日）			13	
14	日				14	
15	月		○生活指導主任会（504）	△小・校長会（程久保小）	15	
16	火	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○体育主任会（505） ○生涯学習研修会（資料室）		16	
17	水	□一般訪問・B訪問（二中）			17	
18	木	□A訪問（平山中）			18	
19	金	△教頭会（ ） ▲生活指導担当指導主事連・協（ ）	○保健主任会（101）		19	
20	土	△潤徳小学校・120周年記念式典	○就学相談委員会・就学相談（相談室）		20	
21	日				21	
22	月		○中学校・生活指導主任会（七生中）	開校（南平、旭が丘、平山台 東光寺、仲田、四中）	22	
23	火	（勤労感謝の日）			23	
24	水	□一般訪問・B訪問（四中）			24	
25	木	▲東京都市指導主事会（昭島市）	○教務主任会（505） ○授業改善委員会（ ）		25	
26	金	□A訪問（六小）		△中・校長会（七生中）	26	
27	土	△日野第四小学校・120周年記念式典			27	
28	日				28	
29	月				29	
30	火	□A訪問（旭が丘小）			30	
備考		・学芸会；（11/5, 6）五小、（11/12, 14）潤徳小、（11/19, 20）平山小、百草台小、滝合小、七小、程久保小、三沢台小 （11/19, 21）八小、南平小、平山台小、（11/20, 21）二小、高幡台小、東光寺小、仲田小 ・展覧会；（11/7）旭が丘小 （11/6, 7）六小 （11/18, 19）三小 （11/19, 20）一小、四小 ・（11/6 ）日野第四中学校・20周年記念式典 ・（11/20）潤徳小学校・120周年記念式典 ・（11/27）日野第四小学校・120周年記念式典				

12 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水		○日野市教育研究会		1
2	木	▲第二地区指導連絡会（八王子市） □幼稚園合同観劇会（市民会館）	○教育相談ケース会議（相談室）		2
3	金	▲福祉教育推進委員会（ ）	○初任者研修会		3
4	土	△平山小学校・120周年記念式典	○就学相談委員会・就学相談（相談室）	マラソン大会（一中）	4
5	日				5
6	月		○生活指導主任会（505）		6
7	火	△校長会（505）	○学校保健研修会（ ） ○心身障害教育推進協議会		7
8	水				8
9	木		○教務主任会（505）＋教職専門研修会⑤	マラソン大会（三中）	9
10	金		○実技研修会（ ）	△中・校長会（三中）	10
11	土	（休業日）			11
12	日				12
13	月		○中学校生活指導主任会（三中）	△小・役員会（平山小）	13
14	火			□図工展	14
15	水	▲指導主事連絡協議会（ ） ▲同和教育指導推進委員会（ ）		□図工展	15
16	木		●東京都市指導主事会（東大和市役所）		16
17	金	△教頭会（505）		△小・校長会（旭が丘小）	17
18	土				18
19	日				19
20	月		○初任者研修実施協議会（ ）		20
21	火				21
22	水				22
23	木	（天皇誕生日）			23
24	金				24
25	土			△小・中学校終業式	25
26	日				26
27	月			（冬季休業日・始）	27
28	火				28
29	水				29
30	木				30
31	金				31
備考		・（12/4）平山小学校・120周年記念式典			

1 月

【△：午前 ○：午後 □：全日

指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午	前	午	後	備考（学校関係）	日	
1	土	（元旦）					1	
2	日						2	
3	月						3	
4	火						4	
5	水			●第二地区指導連絡会（町田市）			5	
6	木	▲東京都指導主事会（調布市役所）					6	
7	金	△幼稚園長会				（冬季休業日・終）	7	
8	土	（休業日）					8	
9	日						9	
10	月					△小・中学校始業式	10	
11	火	△校長会（505）		○心身障害教育推進協議会			11	
12	水			○日野市教育研究会		△小・役員会（平山小）	12	
13	木	▲幼・小・中学校教育課程届説明会（ ）				△小・校長会（平山台小）	13	
14	金	□A訪問（五小） ▲国際理解、外国人児・生教育連（ ）					14	
15	土	（成人の日）					15	
16	日						16	
17	月			○生活指導主任会（101）			17	
18	火	▲多摩地区指導主事連絡協議会（ ）		○授業改善委員会（501） ○体育主任会（101）（ ）学校保健研修会（ ）			18	
19	水	□B訪問（二小）					19	
20	木	▲男女平等教育 ▲人権尊重教育推進校 ▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ）				△中・校長会（四中）	20	
21	金	△教頭会（505） ▲東京都指導主事会（羽村市役所）					21	
22	土					△小・中役員会（一中）	22	
23	日						23	
24	月			○中学校・生活指導主任会（三中）			24	
25	火	□A訪問（七小）		○人権尊重、国際理解教育推進委員会（ ） ○教育課題研修会⑥（ ）			25	
26	水	□一般訪問・B訪問（高幡台小）					26	
27	木	▲心身障害教育担当指導主事連（ ）		○教務主任会（ ）			27	
28	金	▲心身障害理解教育地域推進委（ ） □初任者宿泊研修（ ）		○多摩地区生活指導研究協議会（ ）			28	
29	土	□初任者宿泊研修（ ）				□書き初め展	29	
30	日						□書き初め展	30
31	月	□A訪問（潤徳小）					31	
備考		・移動教室；《中学1年》（1/26～28）三中、（1/29～31）四中 《中学2年》（1/12～14）二中、（1/23～25）大坂上中						

2 月

【△：午前 ○：午後 □：全日 指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	火	△校長会（505） ○消費者教育推進委員会（ ）	○心身障害教育推進協議会		1
2	水	□一般訪問・B訪問（南平小）			2
3	木	▲第二地区指導連絡会（日野市）	○日野市教育研究会・卓球大会		3
4	金	□A訪問（七生中）			4
5	土				5
6	日				6
7	月	△幼稚園長会（ ）		△小・役員会（平山小）	7
8	火				8
9	水			△中・校長会（三沢中）	9
10	木	▲教員研修担当指導主事連・協（ ） △日野第一小学校・120周年記念式典	○教務主任会・教育課程届出説明会（101）	開校記念日（三沢台小）	10
11	金	（建国記念の日）			11
12	土	（休 業 日）			12
13	日				13
14	月		○生活指導主任会（101）		14
15	火	▲東京都市指導主事会（ ）		△小・校長会（東光寺小）	15
16	水	▲学校訪問協議会（ ）			16
17	木	▲生活指導担当指導主事連・協（ ）			17
18	金	△教頭会（ ） ▲在日外国人児童・生徒教育連（ ）	○授業改善委員会（ ） ○初任者研修会（ ）		18
19	土			△中・校長会（大板上中）	19
20	日				20
21	月		○中学校生活指導主任会（四中）		21
22	火		○小学校体育主任会（101）		22
23	水		○日野市教育研究会・小学校発表会		23
24	木	▲同和教育指導推進委員会（ ） ▲体育・保健・給食担当主・連（ ）			24
25	金		○保健主任会（ ） ○心障学級合同発表会 ○相談学級運営協議会（相談学級教室）		25
26	土				26
27	日				27
28	月				28
備考		・移動教室：《中学1年生》（2/27～3/1）一中 《中学2年生》（2/16～18）七生中 ・展覧会：（2/5）一中、（2/8）三沢中 （2/10）日野第一小学校・120周年記念式典 ・婦人部教研集会（2/9）			

3 月

【△：午前 ○：午後 □：全日 指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	火	△校長会（505） ▲東京都市指導主事会（国分寺勤労福祉会館）	○授業改善委員会（502） ○心身障害教育推進協議会発表会	開校記念日（七小）	1
2	水	▲生活指導担当指導主事連・世（ ）	○日野市教育研究会		2
3	木	△人権尊重教育推進委・役員会（501）	○情報教育推進委員会（資料室） ○多摩地区教育推進委員会・発表（多摩教育センター）	△中・校長会（平山中）	3
4	金	▲指導主事連絡協議会（ ）	○初任者研修会＋初任者研修実施協議会（505） ○幼稚園長会（ ）		4
5	土			△小・中役員会（平山小）	5
6	日				6
7	月		○生活指導主任会（505）	△小・役員会（三沢台小）	7
8	火	▲人権尊重教育推進校委員会（ ）	○心身障害教育推進協議会		8
9	水				9
10	木	▲第二地区指導連絡会（多摩市）	○教務主任会（505）＋○教職専門研修会	△小・校長会（三沢台小）	10
11	金	△教頭会（505）	○進路指導主任会（502）		11
12	土	（休 業 日）			12
13	日				13
14	月	△教育課程届出受付	○中学校生活指導主任会（三沢中）		14
15	火	□教育課程届出受付			15
16	水	□教育課程届出受付			16
17	木	▲東京都市指導主事会（東久留米市消防署）		△幼稚園修了式	17
18	金	□教育課程届出受付			18
19	土	△中学校卒業証書授与式		△中学校卒業証書授与式	19
20	日				20
21	月	（春分の日）			21
22	火	□教育課程届出受付			22
23	水	□教育課程届出受付			23
24	木	□教育課程届出受付		△小学校修了式	24
25	金	△小学校卒業証書授与式	○教育課程届出受付	△小学校卒業証書授与式 △中学校修了式	25
26	土			（春季休業日・始）	26
27	日				27
28	月	△初任者研修会（503）		△中・校長会（二中）	28
29	火				29
30	水				30
31	木				31
備	考	・移動教室；《中学2年生》（3/6～8）平山中			

日野市教育委員会指導室の年間事業計画

A 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	・教務主任の職務 ・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方 ・当面する教育課題	市役所 又は 研究資料室	教務主任
小・中生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	・生活指導上の臨床的対策 ・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方	市役所 又は 研究資料室	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実に図る。	・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方 ・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立	市役所 又は 学 校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	・学校保健の在り方 ・保健指導の実態と望ましい在り方 ・分科会研究 ・研究発表	市役所 又は 研究資料室	保健主任

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに、進路情報を交換する。	・ 全校的な指導体制の確立 ・ 進路指導上の問題点の整理と検討 ○ 進路指導の全体計画 ○ 各学年の指導の重点 ○ 進路指導を推進するための組織運営 ○ 指導資料の作成	市役所 及び 学校校	進路指導主任
手引作成委員会の環境副読本指導の	中学校環境副読本「美しいまち日野」の指導の手引きを作成する。	・ 指導の手引きの作成 ・ 活用のための具体策の検討	市役所 又は 学 校	推進委員
就学相談委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害と発達の状態に応じた適切な教育措置をするための相談等を行う。	・ 東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等との連絡と就学に関する継続相談 ・ 各種専門家による就学相談	学 校 又は 幼稚園	就学教育指導相談委員
授業改善委員会	日野市の教育研究課題の解決を目指し、個性重視の教育や創造性を育てる教育の具体化を図る研究を推進する。	・ 研究奨励事業の推進 ・ 「児童、生徒の願いを生かし、育てる学習活動」の研究と公開授業・研究協議。 ・ 研究集録の作成 ・ 先進校等の管外視察	市役所 及び 学 校	委 員

名称	ねらい・方針	内 容 ・ 方 法	会 場	対象
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じ、個々の能力を生かす指導法を改善するため授業研究を行う。	・ 各小・中学校に授業研究委託費を支給 ・ 授業記録（３事例）の提出 ・ 研究授業の公開	各学校	小・中学校
教育ケース会議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術を探る。	・ 事例研究	研 究資料室	兼任相談員
体育主任会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通した体育指導の実践化と生活化を図る。	・ 体位・体力向上をめざした学校教育活動全体の検討 ・ 体育科の教科指導の充実を図る研究・研修 ・ 「体力づくりの日」の効果的実践 ・ 水泳記録会、陸上記録会の企画	市役所 又は 学 校	体育主任
教育研究課程委員会	学校週５日制への対応について、教育課程の編成及び、児童、生徒の実態把握を行う。	・ 教育課程の編成と実施について、調査、研究する。	市役所 又は 学 校	委員
「編集委員会 まどべ」	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。	・ 「まどべ」の企画、原稿依頼、編集、校正	学 校	作成委員
水泳運営記録委員会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。	・ 水泳記録会の企画、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運営委員

名 称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
水 泳 記 録 会 運 営 委 員 会	水泳記録会で、児童・生徒が 日ごろの学習の成果を競い、体 力の向上を図るとともに、学校 間の交流を図る。	・ 水泳記録会の企画、連絡、調 整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
日 光 移 動 教 室 運 営 委 員 会	日光移動教室を連合で行うに 際し、円滑な運営が行われるよ う連絡、調整にあたる。	・ 日光移動教室の企画、実地踏 査、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
人 権 尊 重 教 育 推 進 委 員 会	人権尊重教育の推進の方法に ついて検討し、学校における人 権尊重教育の在り方について連 絡協議する。	・ 人権尊重教育の推進方法の協 議 ・ 研修会の開催及び人権尊重教 育推進校の成果の活用	市役所 又は 学 校	推 進 委 員
国 際 理 解 教 育 推 進 委 員 会	国際理解教育の推進の方法に ついて研究、協議し、日野市の 実態に応じた国際理解教育の在 り方について連絡協議する。	・ 帰国子女教育の推進の方法を 協議 ・ 国際理解教育の在り方につい ての研究	市役所 又は 学 校	推 進 委 員
情 報 教 育 推 進 委 員 会	社会の情報化への対応をめざ し、学校教育でのコンピュータ 活用について研究、協議する。	・ 学校におけるコンピュータの 活用について協議 ・ 教育方法としてのコンピュ ータの活用について研究	市役所 又は 学 校	推 進 委 員

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任宿泊研修会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をととしての資質を高める。	・教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導 ・学級指導を実践している学校の参観 ・研究協議	茨城県	教務主任
生活指導主任会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため他地域の学校を参観し、情報交換をととして生活指導主任の資質を高める。	・他域の学校の生活指導組織とその実践について学ぶ ・研究協議	千葉県	生活指導主任
進路指導主任会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をととして進路指導主任の資質を高める。	・進路指導の指導計画並び指導組織とその実践 ・研究協議	群馬県	進路指導主任
新任者・新採教員会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	・講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ・研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ・自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	山梨県清里他	新規採用教諭

平成 5 年度日野市教育委員会研修事業 (A)

№	研 修 会 名	回数	主 題	期 日 (曜)
1	学 校 経 営 研 修 会	1	子供が生きる学校の創造	4 月 27 日 (火)
2	”	2	学校のリスク・マネージメント	5 月 18 日 (火)
3	”	3	学校改善とマネージメント・マインド	5 月 24 日 (月)
4	”	4	新しい学校づくりと教育課題	6 月 7 日 (月)
5	”	5	学校情報の管理と対応	6 月 21 日 (月)
6	”	6	開かれた学校づくりは、今	7 月 15 日 (木)
7	教 職 専 門 研 修 会	1	心を育てる生活指導	5 月 17 日 (月)
8	”	2	実践的な校内研修の進め方	6 月 3 日 (木)
9	”	3	健康教育の課題と実践	6 月 25 日 (金)
10	”	4	生活指導の推進と関係機関等との連携	10 月 18 日 (月)
11	”	5	子供の主体性を育む教育課程	12 月 9 日 (木)
12	”	6	創意ある教育課程の編成	3 月 10 日 (木)
13	教 育 課 題 研 修 会	1	豊かな人間性を育む心の教育	5 月 10 日 (月)
14	”	2	地球を救う ― 「環境教育の展開」	6 月 15 日 (火)
15	”	3	学習障害とは	7 月 23 日 (金)
16	”	4	心身障害教育は、今	8 月 30 日 (月)
17	”	5	教室からの国際化	10 月 22 日 (金)
18	”	6	児童の権利条約を読む	1 月 25 日 (火)
19	学 習 指 導 法 研 修 会	1	指導と評価の一体化を目指す学習指導	5 月 21 日 (金)
20	”	2	生き方の教育としての道徳教育	6 月 18 日 (金)
21	”	3	視聴覚教材の作成と活用	7 月 2 日 (金)
22	”	4	チーム・ティーチングによる学習指導の実践	7 月 22 日 (木)
23	”	5	自主的実践的な特別活動の展開	7 月 22 日 (木)
24	”	6	教育機器を活用した学習指導	9 月 17 日 (金)

※備考欄に時間が記載されていないものは、午後２時から４時までとなります。

講 師	会 場	備 考
東京都多摩教育事務所指導課長 松丸 舉一	教職員研究資料室	
調布市立布田小学校長 山中 義男	教職員研究資料室	
東京都多摩教育研究所所長 筒井 利明	教職員研究資料室	
前千代田区立永田町小学校長 蓮池 守一	教職員研究資料室	
東京女子体育短期大学教授 尾木 和英	教職員研究資料室	
帝京大学教授 亀井 浩明	教職員研究資料室	
東京都調布市立調布第３中学校長 杉山 武久	市役所 会議室	
前千代田区立今川中学校長 五十嵐邦 享	教職員研究資料室	
都教育庁体育健康指導課指導主事 甲田 充彦	市役所 会議室	
関東中央病院精神神経科部長 小倉 清	市役所 会議室	
東京都立川市立立川第三中学校長 長嶋 孝夫	市役所 会議室	
都教育庁指導部指導主事	市役所 会議室	
都教育庁指導部指導企画課指導主事 榎本 善紀 佐藤 昇	教職員研究資料室	
稲城市教育委員会指導主事 有馬 守一	日野第七小学校	
中央大学教授 天野 清	教職員研究資料室	
指導部心身障害教育指導課指導主事	教職員研究資料室	(午前 9:30~11:30)
都教育庁指導部指導企画課指導主事	教職員研究資料室	
明星大学教授 高橋 史朗	市役所 会議室	
東京都多摩教育事務所指導主事 佐藤 正吉	教職員研究資料室	
東京都立多摩教育研究所指導主事 長谷 徹	平山小学校	
東京都多摩教育研究所指導主事 瀬川 徹	多摩教育研究所	
東京都立教育研究所指導主事 小池 和男	市役所 会議室	(午前 9:30~11:30)
福生市教育委員会指導主事 石橋 博	市役所 会議室	
昭島市教育委員会指導主事 向井 一身	学 校	

平成 5 年度日野市教育委員会研修事業（B）

№	研 修 会 名	回数	主 題	期 日 (曜)
1	教 育 相 談 研 修 会	1	学校教育相談の技法と進め方	6 月 8 日 (火)
2	〃	2	不登校の現状とその指導	6 月 29 日 (火)
3	〃	3	教育相談的な配慮を生かした指導	8 月 2 日 (月)
4	〃	4	思春期の悩みと指導	8 月 2 日 (月)
5	〃	5	現代っ子をとらえる	9 月 28 日 (火)
6	〃	6	学校カウンセリングの運営と課題	8 月 3 日 (火)
7	一二年次教頭実務研修会	1	活力ある学校経営と法令	4 月 22 日 (木)
8	〃	2	文書の取り扱いとその基本	6 月 11 日 (金)
9	〃	3	子どもを生かす学校経営と教頭の役割	10 月 5 日 (火)
10	学 校 保 健 研 修 会	1	児童・生徒の問題についての事例研究	11 月 9 日 (火)
11	〃	2	子どもの心の動きとその対応	12 月 7 日 (火)
12	〃	3	虫歯の予防（カリオスタットの実験）	1 月 18 日 (火)
13	幼 児 教 育 研 修 会	1	小動物の飼育と観察	4 月 28 日 (水)
14	〃	2	作って遊ぶおもちゃ（飛ぶ、鳴る）	5 月 26 日 (水)
15	〃	3	ゲームなど手遊び	6 月 23 日 (水)
16	各 種 実 技 研 修 会	1	キャンプファイヤーと室内遊び	5 月 11 日 (火)
17	〃	2	水泳の基本とその指導法	6 月 4 日 (金)
18	〃	3	陶芸教室 I（縄文式土器作製）	7 月 26 日 (月)
19	〃	4	陶芸教室 II（縄文式土器作製）	7 月 27 日 (火)
20	〃	5	運動会に活用できるダンス	7 月 27 日 (火)
21	〃	6	社会科地域教材の作成	10 月 15 日 (金)
22	〃	7	書初めの基本と指導法	11 月 11 日 (木)
23	〃	8	作る学習と教材（竹細工・藁細工）	12 月 10 日 (金)
24	生 涯 学 習 研 修 会	1	国際社会に生きる子ども	10 月 21 日 (木)
25	〃	2	子どもの心を育てる	10 月 28 日 (木)
26	〃	3	子どもにつけたい新しい学力	11 月 16 日 (火)

※備考欄に時間が記載されていないものは、午後２時から４時までとなります。

講	師	会 場	備 考
日野市立日野第一中学校長	宮本 裕子	教職員研究資料室	
前日野市立七生中学校教諭	鈴木 清司	教職員研究資料室	
東京都立多摩教育研究所指導主事	久芳美恵子	教職員研究資料室	午前 9:30~11:30
東京都立梅丘病院心理主任技術員	星 一郎	教職員研究資料室	午後 1:00~ 3:00
目白学園短期大学教授	真仁田 昭	教職員研究資料室	
東京都立教育研究所指導主事	芳賀 明子	教職員研究資料室	午後 1:00~ 3:00
前日野市立高幡台小学校長	小泉 宣夫	教職員研究資料室	
日野市教育委員会指導室長	小澤 春童	教職員研究資料室	
前日野市立東光寺小学校長	志村 桂次	教職員研究資料室	
東京都立八王子児童相談所		教職員研究資料室	
東京都立梅丘病院子ども精神保健相談室員	福田 圭子	教職員研究資料室	
少年写真新聞社編集部長	鳥居 厚一	潤徳小・理科室	
多摩動物公園飼育課普及指導係	佐藤 勝夫	多摩動物公園	現地学習
元日野市立日野第四中学校長	立川 泰司	教職員研究資料室	
日野市社会教育センター部長	中能 孝則	教職員研究資料室	
元府中市立若松小学校長	貝塚 将	教職員研究資料室	
日野市立旭が丘小学校長	信夫清彦 他	日野市東部会館	現地学習
日野市立日野第五小学校教諭 日野市立百草台小学校教諭	北野 義昭 丸 カズ子	日野第五小・図工室	午前 9:30~3:00
日野市立日野第五小学校教諭 日野市立百草台小学校教諭	北野 義昭 丸 カズ子	日野第五小・図工室	
立川市立立川第五小学校教諭 板橋区立大谷口小学校教諭	高杉 裕子 鈴木千鶴穂	潤徳小・体育館	午前 9:30~3:00
日野市立潤徳小学校長	香川 善平	教職員研究資料室	
杉並区立神明中学校教諭	乙黒 義夫	教職員研究資料室	
元日野市立日野第四中学校長	立川 泰司	教職員研究資料室	
元ペルー・リマ日本人学校長	森川 亮	教職員研究資料室	市民、教職員対象
名古屋大学名誉教授	重松 鷹泰	教職員研究資料室	市民、教職員対象
日野市教育委員・東京学芸大学講師	小松 恒夫	教職員研究資料室	市民、教職員対象

平成 5 年度 日野市教育委員会研修事業 (C)

研修会コース名	内 容
A-1. 体験研修 (ソフト紹介と活用)	生徒がパソコンに触れ、パソコンに馴染みながら学習するためのソフト 英研 3,4 級用練習ソフト、算数・数学「九九」「正負の計算」「文字式の計算」「方程式の計算」のドリル、体力測定結果の自己分析。献立の作成と栄養分析。「キーボードトレーニング」等
A-2. 体験研修 (ソフト紹介と活用)	ハイパーキューブの紹介 (1 枚のフロッピーディスクでワープロ、表計算、データベース、図形作成の作業ができます。生徒に利用させる事はもちろん先生方も手軽に活用出来ます。) 教育事務管理システム (校内で組織的に導入する事により定型的な日常の校務の効率化が計れます。) ※当日は中教研、市教研の日です。帰りがけにお立ち寄り下さい。
B-1 初心者研修	初めてパソコンに触れる人のために パソコンの扱い方から始まってキーボードに馴染み、各種ソフトの動かし方を身につける。利用ソフトはMS-DOSN88BASIC、ハイパーキューブ、キーボードトレーニング等。
C-1. 初級研修	ハイパーキューブ (ワープロ) 「一太郎」に比べ命令の数も少なく初めての方にとっては入り易いのと、これだったら生徒にも使わせる事が出来ます。使い方は「一太郎」と似ています。
C-2. 初級研修	ハイパーキューブ (表計算) ロータス 1.2.3 と扱いがよく似ています。200 項目 500 行の表計算が可能で日常の仕事に不便はありません。しかも表やグラフはワープロで作成した文書に組み込んで印刷することも簡単です。
C-3. 初級研修	ハイパーキューブ (図形作成) 絵や図形を作成したり、描かれた絵や図形や写真をイメージスキャナで取り込み、手を加えて印刷する事もできます。また、ワープロで作成した文書に取り込むことも簡単にできます。
C-4. 初級研修	ハイパーキューブ (データベース) カード型データベースです。カード最高 1000 枚まで作成可能。カードの検索、並べ換え等の操作の他、作成したカードをワープロで作成した文書に取り込んで印刷ができます。
A-3. 体験研修 (ソフト紹介と活用)	理科実験や気象観測などにキューブセンサー使う事により、パソコンの画面に同時にグラフで表示する事ができます。また、「レゴ ロゴ」や「おーとま君」ではパソコンを使った制御ができるので技術家庭科やクラブ活動での活用が考えられます。
B-2. 初心者研修	初めてパソコンに触れる人のために パソコンの扱い方から始まってキーボードに馴染み、各種ソフトの動かし方を身につける。利用ソフトはMS-DOSN88 BASIC、「一太郎」、キーボードトレーニング等。
D-1. 初級研修	マスターファイル (基本) を作成しておけばその度毎に氏名を書いたり氏名印を押したりする必要がなくなります。多忙な先生方の仕事の効率化のためにまずマスターファイル作成します。2 学期から早速有効に利用できるよう実用的な研修にします。
D-2. 初級研修	D-1. で作成したマスターファイルを活用して座席表の作成、校外学習等に必要な班名簿や学級の生活班名簿の作成等に挑戦します。校外地区班等の名簿の作成も簡単です。

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5月12日(水) 3:30~5:30	平 山 中 学 校
1 講 座	5月20日(木) 3:30~5:30	日 野 第 三 中 学 校
2 講 座	5月25日(火) 6月 1日(火) 3:30~5:30	平 山 中 学 校
1 講 座	6月 8日(火) 3:30~5:30	平 山 中 学 校
1 講 座	6月15日(火) 3:30~5:30	平 山 中 学 校
1 講 座	6月17日(木) 3:30~5:30	平 山 中 学 校
1 講 座	6月22日(火) 3:30~5:30	平 山 中 学 校
1 講 座	6月25日(金) 3:30~5:30	七 生 中 学 校
2 講 座	7月30日(金) 9:00~15:00	七 生 中 学 校
2 講 座	8月 2日(月) 9:00~15:00	七 生 中 学 校
2 講 座	8月 3日(火)	七 生 中 学 校

日野市教育委員会の学校訪問

1. 趣 旨

学校訪問は、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通し、下記の事柄について、理解を深め、日野市の教育の充実・発展に資する。

- ① 学校の当面する教育指導上の諸問題への対応を図る
- ② 学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況を把握する
- ③ 日野市の教育活動の全体を把握し、教育行政上の参考にする
- ④ 各学校の教職員との協議・懇談を行い相互の理解を深める
- ⑤ 学校訪問の成果を日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する

(1) A 訪問

2年に一度、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容の充実・発展のために協議する。

- ①学校概況、②授業参観、③施設・設備の活用状況、④諸帳簿閲覧、⑤協議・懇談

なお、教育委員長、教育委員も時間の許す範囲で、訪問する。

(2) B 訪問

市教育委員会訪問Aのない学校に指導主事が訪問し、教育指導上の課題について、協議・懇談する。

- ①教科・道徳・特別活動の指導に関すること、②教育課題に関すること、③生活指導・進路指導に関すること、④授業研究に関すること、⑤学級・学年経営に関すること、⑥指導要録等に関すること、⑦教育研究・研修に関すること、⑧教育課程に関すること。

(3) 一般訪問

各学校、各幼稚園の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事並びに日野市教育委員会指導主事が訪問し、それぞれの学校（園）の置かれている条件に応じ、教職員とともに学校（園）のもっている問題について、实际的に解決する方途を見いだすなど、隔意のない協議・懇談を行う。

ただし、一般訪問は、A訪問のない学校にB訪問と合わせて行う。

訪問日程

№	幼稚園名	A 訪問	B・都一般訪問
1	第一幼稚園	10月26日	
2	第二幼稚園		6月16日
3	第三幼稚園	6月3日	
4	第四幼稚園		10月27日(一般訪問)
5	第五幼稚園	5月10日	
6	第六幼稚園		6月23日(一般訪問)
7	第七幼稚園	5月25日	

№	小学校名	A 訪問	B・都一般訪問
1	日野第一小学校	10月21日	
2	日野第二小学校		1月19日(B訪問)
3	日野第三小学校	11月3日	
4	日野第四小学校		6月2日(一般訪問)
5	日野第五小学校	1月14日	
6	日野第六小学校	11月26日	
7	潤徳小学校	1月31日	
8	平山小学校		10月13日(一般訪問)
9	日野第八小学校	10月7日	
10	百草台小学校	5月31日	
11	滝合小学校		6月2日(一般訪問)
12	高幡台小学校		1月26日(一般訪問)
13	日野第七小学校	1月25日	
14	南平小学校		2月2日(一般訪問)
15	程久保小学校	10月14日	
16	旭が丘小学校	11月30日	
17	平山台小学校		10月13日(一般訪問)
18	東光寺小学校	6月28日	
19	三沢台小学校		6月30日(B訪問)
20	仲田小学校		10月25日(B訪問)

№	中学校名	A 訪問	B・都一般訪問
1	日野第一中学校		9月13日(B訪問)
2	日野第二中学校		11月17日(一般訪問)
3	七生中学校	2月4日	
4	日野第三中学校		10月6日(一般訪問)
5	日野第四中学校		11月24日(一般訪問)
6	三沢中学校	11月8日	
7	大坂上中学校		9月8日(B訪問)
8	平山中学校	11月18日	

日野市教育委員会事務局組織

(平成5年6月1日現在)

教育委員会
委員長
古谷 洋太
職務代理
小松 恒夫
委員
黒澤 保雄
中田 俊子
長澤 三郎

学校教育部長
糸川 滋

庶務課長
加藤侃一郎
課長補佐
田中繁夫

庶務係長
飯山 光一

教育委員会々議、規則、人事、予算、経理契約、文書管理に関する
こと。

施設係長
(課長補佐事務取扱)

学校施設の計画及び営繕・修繕に関すること。

学務課長
小寺 瑞彦
課長補佐
檜村 正男

学務係長
田辺 貞義

学級の編成及び割当、通学区域、教材、教具の整備、市立幼稚園に
関すること。

保健給食係長
(課長補佐事務取扱)

教職員、児童・生徒の保健管理、学校の環境衛生、学校給食、安全
会に関すること。

指導室長
小沢 春童

指導係長
小澤 賢二

教育課程の整備改善、学校教育指導、教職員の研修、教育相談、教
職員研究資料室に関すること。

教職員係長
佐藤 清

教職員の人事、給与、福利厚生、公務災害に関すること。

社会教育課長
青山 武
課長補佐
山下 雅臣

社会教育係長
(課長補佐事務取扱)

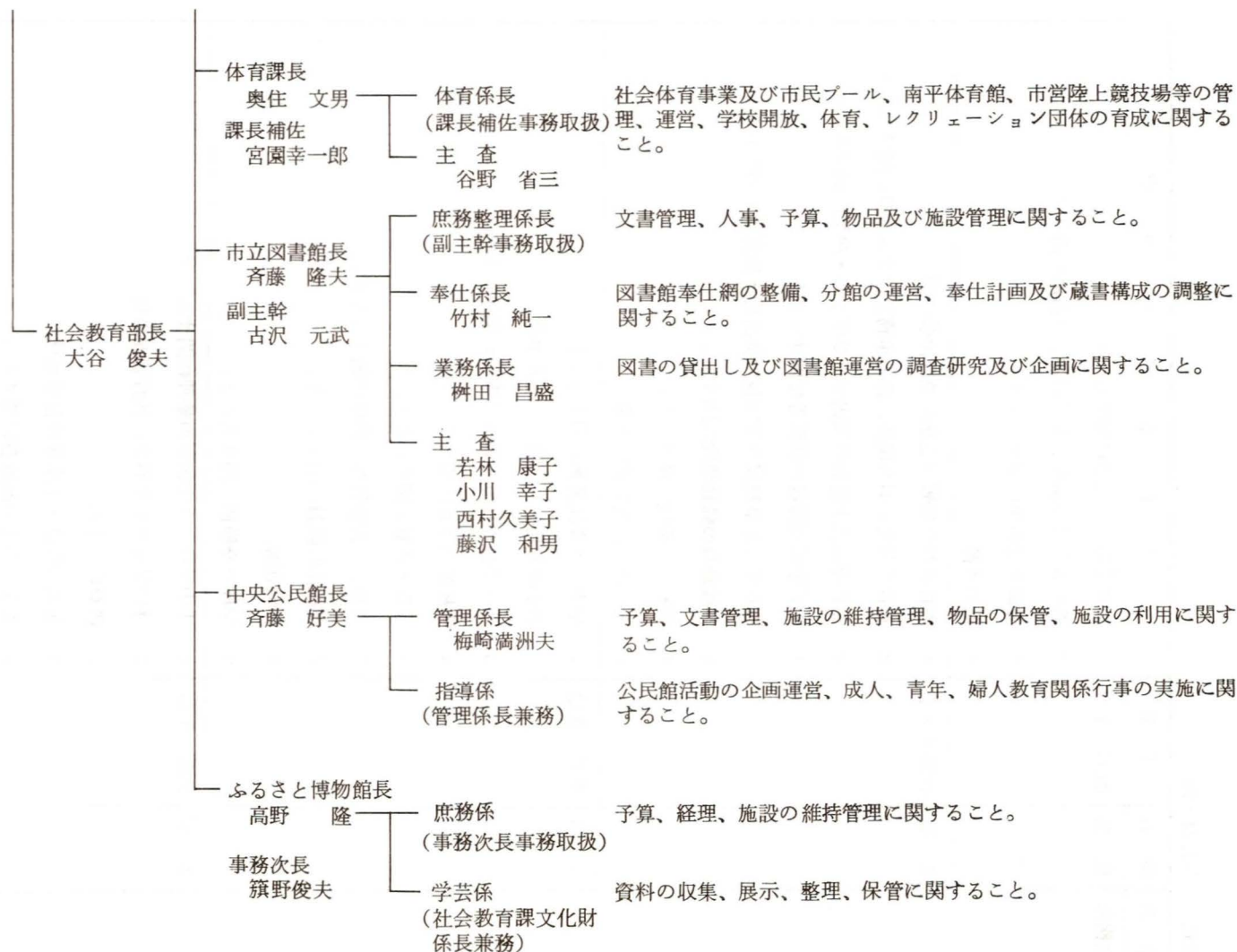
社会教育の総合計画、社会教育団体の指導育成、芸術、文化の振興
に関すること。

文化財係長
藤井 和夫

文化財の調査、保護に関すること。

主査
高橋 国夫

教育長
長澤 三郎



教育庶務課事務分担表

課長 加藤侃一郎

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 の 内 容
庶務係	係 長	飯山 光一	1 教育委員会の会議に関すること。 2 教育委員会の条例、規則の制定・改廃に関すること。 3 労働安全衛生に関すること。 4 給料運搬。
	主 事	佐藤 ミツ子	1 教育委員の報酬の支払い及び出張に関すること。 2 教育委員会の対外関係に係る事務及び予算執行に関すること。 3 教育委員会事務局の文書収受及び予算・決算に関すること。 4 教育委員会職員の休暇等に関すること。 5 教育委員会事務局及び学校の購読物・帳票類に関すること。 6 学校職員の職務免除に関すること。 7 学校の交換便に関すること。 8 その他、部及び課内庶務。
	主 事	菅野 雅己	1 小中学校委託業務に関すること。 2 特別整備用備品の購入・管理事務。 3 小中学校の校庭整備及び警備に関すること。 4 学校配当予算に関すること。 5 予算・決算に関すること。 6 用務員の被服貸与・研修に関すること。 7 学校臨時職員に関すること。 8 給料運搬。 9 学校の交換便に関すること。
	主 事	佐藤 早苗	1 小中学校の支出伝票の整理に関すること。 2 小中学校の公共料金の執行管理事務。 3 決算に関すること。 4 施設の修繕・工事等の伝票処理。 5 児童・生徒の派遣費に関すること。 6 学校の交換便に関すること。 7 課内庶務。

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 の 内 容
庶務係	主 事	関口 洋伸	1 学校物品購入に係る契約事務及び単価契約に関すること。 2 高校生奨学金・私立高校入学生貸付斡旋に関すること。 3 学校の備品管理に関すること。 4 特別整備用備品の購入・管理事務。 5 決算に関すること。 6 給料運搬。 7 学校の交換便に関すること。
施設係	課 長 補 佐	田中 繁夫	1 系の統括・調整に関すること。 2 教育施設の整備計画に関すること。 3 中学校、幼稚園の営繕・施設整備に関すること。 4 林間施設整備計画に関すること。
	主 事	三沢 健治	1 文部省の学校施設補助に関すること。 2 新規事業の統括・調整に関すること。 3 予算・決算に関すること。 4 契約業務に関すること。
	主 事	小平 裕明	1 文部省の学校施設補助に関すること。 2 小学校の営繕・修繕・施設整備に関すること。
	主 事	小峯 克之	1 防衛庁関係補助に関すること。 2 中学校の修繕・施設整備に関すること。 3 委託業務に関すること。 4 系の備品・消耗品の購入に関すること。

学 務 課 事 務 分 担 表

学務課長 小寺 瑞彦

係 名	職務名	氏 名	事 務 分 担 内 容
学務係	係 長	田辺 貞義	① 課内の全般的庶務に関する事。 ② 課内の庶務に関する事。 ③ 学務課予算に関する事。 ④ 新設校、園設置届けに関する事。 ⑤ 幼稚園に関する事。
	主 事	山田 尚美	① 課内の庶務に関する事。 ② 学務課予算に関する事。 ③ 学校配当予算に関する事。 ④ 幼稚園予算に関する事。 ⑤ 幼稚園使用料の徴収に関する事。
	主 事	佐藤 真	① 就学援助費に関する事。 ② 特殊教育就学奨励費に関する事。 ③ 学校教材備品及び教材消耗に関する事 ④ 幼稚園修繕に関する事。 ⑤ 幼稚園備品に関する事。
	主 事	佐藤 文昭	① 入学事務に関する事。 ② 転出、転入学に関する事。 ③ 学区域に関する事。 ④ 通学路に関する事。 ⑤ 学齢簿に関する事。 ⑥ 学級編成に関する事。 ⑦ 調査、統計に関する事。 ⑧ その他就学事務に関する事。
保 健 給食係	課 長 補 佐 係長事 務取扱	樫村 正男	① 学務課全般に関する事。 ② 保健給食全般の企画調整に関する事。 ③ 学校保健会、給食会等の関係団体に関する事。 ④ 学校（園）医等に関する事。 ⑤ 国、都及び市費補助金に関する事。

係 名	職務名	氏 名	事 務 分 担 内 容
	主 事	國栖 光男	① 給食関係委託事務に関すること。 ② 給食備品に関すること。 ③ 給食関係予算に関すること。 ④ 学校給食会に関すること。 ⑤ 給食関係の統計、調査、報告等に関すること。 ⑥ その他給食関係の庶務に関すること。
	主 事	宮澤 功一	① 幼稚園、学校の環境衛生に関すること。 ② 園児・児童・生徒及び教職員の各種健康診断に関すること。 ③ 日本体育・学校健康センターに関すること。 ④ 学校医等に関すること。 ⑤ 学校保健会に関すること。 ⑥ 養護教諭会に関すること。 ⑦ 保健関係予算に関すること。
	主 査	梶村 和子	① 栄養士、調理員の庶務的事務に関すること。 ② 幼稚園教諭、栄養士、調理員の研修に関すること。 ③ 児童・生徒の就学猶予、免除、措置等に関すること。 ④ 幼稚園教諭、栄養士、調理員等の臨時職員の雇用及び派遣に関すること。 ⑤ 幼稚園、給食関係職員の被服貸与に関すること。 ⑥ 幼稚園就園奨励費に関すること。 ⑦ 給食関係視察等の対応に関すること。

指導室事務分担表

指導室長 小沢 春童

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 の 内 容
指導係	係 長	小澤 賢二	1 校長会、教頭会に関すること。 2 指導室関係予算の調整及び執行に関すること。 3 学校図書館嘱託員に関すること。 4 帰国子女等講師及び外国人英語指導補助員雇用に関すること。 5 教職員研究資料室の管理・運営に関すること。 6 庁内調査等に関すること。 7 その他連絡調整に関すること。
	主 事	川久保紀子	1 教科用図書採択、教師用教科書・指導書、教材に関すること。 2 教職員の研修及び研修関係の都費の支出に関すること。 3 社会人講師に関すること。 4 各種委託事業及び補助事業に関すること。 5 社会科見学、バス補助金に関すること。 6 遠足・移動教室・学校訪問等の届出に関すること。 7 教育実習に関すること。 8 音楽鑑賞教室に関すること。 9 都立高校入学選抜書類に関すること。 10 指導関係文書の収受、整理及び配布に関すること。
	主 事	榎本 昭	1 児童用教科書に関すること。 2 クラブ活動謝礼金に関すること。 3 奨学金に関すること。 4 教育相談室に関すること。 5 就学相談に関すること。 6 特殊学級編成に関すること。 7 障害児教育関係の予算、各種事業、援助に関すること。
	主 事	内田 芳徳	1 移動教室・修学旅行の実施及び援助に関すること。 2 水泳記録会及び陸上記録会に関すること。 3 プール指導謝礼金に関すること。 4 教諭用図書購入に関すること。 5 教職員研究資料室の庶務に関すること。

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 の 内 容
教職員 係	係 長	佐藤 清	1 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、 分限その他人事に関すること。 2 学校教職員の職員団体に关すること。 3 再雇用嘱託員に关すること。 4 事務・栄養士の研修に关すること。 5 その他学校職員に关すること。
	主 事	神崎伊久雄	1 学校教職員の定数、講師授業時数の割当に关すること。 2 臨時的任用教員（産休・育休代替教員）及び講師の採用に关 すること。 3 学校教職員の履歴の整理・保管に关すること。 4 学校教職員の退職手当に关すること。 5 再雇用嘱託員に关すること。
	主 事	旗野 亨	1 学校教職員の給与に关すること。 2 学校教職員の旅費に关すること。 3 学校教職員の扶養親族の認定に关すること。 4 学校教職員の住民税の整理・保管に关すること。 5 学校教職員の給与簿の整理・保管に关すること。
	主 事	中谷美枝子	1 学校教職員の福利厚生に关すること。 2 日野市教職員互助会に关すること。 3 講師の報酬支給に关すること。 4 学校教職員の公務災害補償に关すること。 5 室内の庶務に关すること。

平成5年度指導主事事務分担（主担当）

1. 教科・領域担当

国語・書写	大橋	生活	大橋	体育、保健体育	大橋
社会	大橋	音楽	大橋	外国語	宮川
算数・数学	宮川	図画工作、美術	宮川	道徳	宮川
理科	宮川	家庭、技術家庭	大橋	特別活動	大橋

2. 市教育委員会事業

校長会	宮川	幼稚園長会	大橋
教頭会	大橋	教務主任会	大橋
生活指導主任会	宮川	進路指導主任会	宮川
保健主任会	大橋	中学校生活指導主任会	宮川
給食主任会	大橋	体育主任会	大橋
就学相談委員会	宮川	人権尊重推進委員会	宮川
心身障害教育推進協議会	大橋	国際理解教育推進委員会	宮川
授業改善委員会	宮川	情報教育推進委員会	宮川
情報対策委員会	宮川	授業研究連絡協議会	大橋
日野市小学校教育研究会	大橋	学校週5日制検討委員会	宮川
日野市中学校教育研究会	宮川	英語指導改善委員会	宮川
環境読本指導手引作成委員会	宮川	相談学級運営委員会	宮川
科学教育センター運営委員会	宮川	音楽鑑賞教室運営委員会	大橋
移動教室検討委員会	大橋	水泳記録会運営委員会	大橋
学校図書館連絡協議会	大橋	陸上記録会運営委員会	大橋
進路指導問題協議会	宮川		

3. 研修分担

学校経営研修会	宮川	教職専門研修会	宮川	教育相談研修会	大橋
教育課題研修会	宮川	学習指導法研修会	大橋	初任者研修会	大橋

4. 指導事務分担

都教委指導部、都研、多摩研	宮 川	都教育研究員、開発委員会委員	大 橋
国・都研究奨励、市研究奨励	宮 川	学 校 訪 問 、 指 導 訪 問	宮 川
教 育 課 程 届 出	宮 川	教 育 課 程 年 間 指 導 計 画	大 橋
研 究 集 録 、 副 読 本	大 橋	教 材 届 出 承 認	大 橋
遠足、移動教室、修学旅行届出	大 橋	ま ど べ 編 集 、 発 行	大 橋
就 学 ・ 措 置 替 指 導	宮 川	東京都市指導主事会、第二地区会	宮 川
行事予定作成、委員会等開催通知	大 橋		

5. 施設・行事

教職員研究資料室	宮 川	日野市教育相談室	大 橋	健全育成担当室	宮 川
文 化 行 事	大 橋	教科書センター	大 橋	体 育 行 事	大 橋

6. 東京都教育委員会指導事務担当

学 校 訪 問 協 議 会	宮 川	同 和 教 育 指 導 推 進 委 員 会	宮 川
生活指導担当指導主事連絡・協	宮 川	道徳教育担当指導主事連絡・協議会	宮 川
生活指導担当指主連・世話人会	宮 川	幼稚園教育担当指導主事連絡・協議	大 橋
心身障害教育担当指導主事連絡	大 橋	安全教育担当指導主事連絡・協議会	宮 川
消 費 者 教 育 推 進 委 員 会	大 橋	男 女 平 等 教 育 推 進 委 員 会	大 橋
在日外国人児童・生徒教育連絡	大 橋	国 際 理 解 教 育 推 進 委 員 会	大 橋
外国人児童・生徒教育担当連絡	大 橋	福 祉 教 育 推 進 委 員 会	宮 川
教員研修担当指導主事連絡・協	大 橋	体 育 ・ 保 健 ・ 給 食 担 当 指 導 主 事 連 協	大 橋
区 市 指 導 主 事 研 究 会 議	宮 川	人 権 尊 重 教 育 推 進 校 委 員 会	大 橋
健 全 育 成 推 進 校 委 員 会	宮 川	進路指導担当指導主事連絡・協議会	宮 川

日野市教職員研究資料室

1. 教職員研究資料室の設置

日野市における教育の充実・振興を図るため、昭和61年4月30日に日野市教職員研究資料室設立、設置規則が定められた。

日野市教職員研究資料室設置規則

(設置)第1条 日野市における教育の充実・振興を図るため、日野市教職員研究資料室(以下「研究資料室」という)を設置する。

(位置)第2条 研究資料室は、日野市高幡402番地日野市立潤徳小学校内に置く。

(事業)第3条 研究資料室は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 教育に関する調査、研究および普及に関すること。
- (2) 教職員の研究および研修に関すること。
- (3) 教育に関する資料の収集、作成及び活用に関すること。
- (4) 児童、生徒の就学相談に関すること。
- (5) 市民の教育相談及び電話相談に関すること。
- (6) その他必要なこと。

(職員)第4条 研究資料室に室長、事務職員、教育相談員、その他必要な職員を置く。

(所管)第5条 研究資料室は、教育委員会指導室の所管とする。

(委任)第6条 この規則については、必要な事項は教育長が別に定める。

この規則は、昭和61年5月1日から施行する。

2. 教職員研究資料室の組織と分担

教育経営研究室

- 教育経営係
 - ・学級経営・生活指導等に役立つ教育調査とその結果の提供
 - ・教職員の研修

教育情報研究室

- 教材開発係
 - ・教科・領域に関する指導法の研究及び教材の開発とその成果の提供
 - ・教職員の研修
- 教育資料係
 - ・教育関係資料の収集・整理と紹介・提供
 - ・教職員の研修
- 教育コンピュータ係
 - ・学習指導で活用するソフトの開発とその提供
 - ・コンピュータに関する実技研修
- 事務室、事務係
 - ・事業推進に関する諸事務・管理

3. 教職員研究資料室の研修事業

詳細は 24 ～ 29 ページ参照

【 A 研修 】	【 B 研修 】	【 C 研修 】
I. 学校経営研修会 6 講座	I. 教育相談研修会 6 講座	I. 初級研修 A. ワープロコース 1 講座
II. 教職専門研修会 6 講座	II. 1・2 年次教頭実務研修会 3 講座	B. 教育事務管理コース 5 講座 C. パソコンコース 2 講座
III. 教育課題研修会 6 講座	III. 学校保健研修会 3 講座	II. 中級研修 D. 教材作成コース 2 講座
IV. 学習指導法研修会 6 講座	IV. 幼児教育研修会 3 講座	E. 教育事務管理コース 1 講座
	V. 各種実技研修会 8 講座	
	VI. 生涯学習研修会 3 講座	

4. 教職員研究資料室職員（ ☎ 92-0505 ）

室 長

園田 匠

教育経営研究室

教育経営係

山口 武彦・小泉 宣夫

教育情報研究室

教材開発係

志村 桂次

教育資料係

清水 七郎・村田 志信

教育コンピュータ係

古厩 清夫・星野 晴一

事 務 室

小松あさ江・本間由利子

5. 教育 50 年史作成準備室

石井 三士・清水 春海

日 野 市 教 育 相 談 室

設置の趣旨

日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずる。
また、学校の行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

○ 一般教育相談

幼児・児童・生徒の学習、性格、行動、性癖、進路適性等についての相談に応じ、助言・援助を行う。

○ 心身障害教育相談

心身に障害をもつ幼児・児童・生徒についての相談に応じ、障害の種類や程度及び発達の状況の把握に努め、一人一人の能力を十分に伸長させるために就学相談及び教育措置に関する相談を行う。

○ 学校教育相談

幼児・児童・生徒の問題行動、非行等についての相談に応じ保護者、学校、関係者機関と協力し、指導、助言・援助を行う。

○ 電話相談（☎92－0505）

直接面談のほか電話による相談に応じ、指導、助言、援助を行う。

構 成

相 談 室 長	小 沢 春 童 （日野市教育委員会指導室長）	
教 育 相 談 員	河 井 英 子 （ 一 般 教 育 相 談	月・火・水・木 10:00～16:00）
	佐 藤 奈 緒 恵 （ ”	月・水 10:00～16:00）
	御子柴万里子 （ 心身障害教育相談	月・火・木・金 10:00～16:00）
	渡 辺 満 子 （ ”	月・水 10:00～16:00）
	鈴 木 清 司 （ 学 校 教 育 相 談	月・火・木・金 10:00～16:00）
兼任教育相談員	佐 藤 ヒ サ 子 （日野一小）	原 沢 和 江 （日野三中）
	越 村 あ や 子 （日野五小）	若 林 真 砂 子 （日野八小）
	原 沢 和 江 （日野三中）	井 原 千 恵 子 （三 沢 中）
	川 原 田 和 子 （日野七小）	坂 口 嘉 津 子 （三幼園長）
	水 澤 光 子 （七 生 中）	
顧 問	福 島 脩 美 （東京学芸大学教授）	
	石 川 尚 子 （日本女子体育大学教授）	
	海 老 島 宏 （都立梅が丘病院精神科医）	

教育相談概要 平成4年度

(1) 受付・面接回数

前年度より継続	本年度受付	累 計	面接延回数
19	34	53	450

(2) 主訴別件数

		幼	小 学 生		中	高	その他	計
			1～3	4～6				
性格・行動に関するもの	登 校 拒 否	1	10	5	13	2		31
	集団不適応A(内気・いじめ)	1						1
	集団不適応B(授業態度悪)				1			1
	落 ち つ き な し	1						1
	無 気 力					1		1
	緘 黙			1				1
精神・関身するもの	自 閉 症 ・ 自 閉 傾 向			1				1
	ことば(吃音幼児語)	2						2
	精 神 病 ・ 同 疑					1	1	2
	神 経 症 ・ 同 疑					1		1
学 業	学 業 不 振		1	1	4			6
	そ の 他 (学 習 法)		1					1
進路	一 般 進 路					1		1
その他	知能テスト 性格テスト				1			1
	そ の 他						2	2
計		5	12	8	19	6	3	53

日 野 市 健 全 育 成 担 当 室

（ 目 的 ）

日野市立幼・小・中学校に在籍する幼児・児童・生徒の健全育成に関わる諸事業を推進する。

（ 内 容 ）

幼児・児童・生徒が学校（園）、学庭、地域社会において、社会性や自律心を身に付け、心身ともに健康で、意欲的に生きることができるよう援助するために、下記の諸事業を推進する。

- I 学校不適応解消を目指す事業
- II 児童・生徒の問題行動の防止に関する事業
- III 健全育成資料の作成等に関する事業
- IV 在日外国人児童・生徒及び帰国児童・生徒の教育に関する事業
- V 国際理解教育の推進に関する事業
- VI 指導室事業の推進・援助
- VII 幼児・児童・生徒の余暇利用に関する啓発のための事業
- VIII 健全育成関係諸機関との連携による事業の推進

（ 設 置 ）

日野市健全育成担当室を当分の間、日野市立日野第二中学校内に置く。

（ 担当嘱託員 ） ☎ 84-2324

- 古 谷 登 吾（健全育成担当）
- 阿 部 忠（ ” ）
- 綿 引 正 巳（外国人英語指導補助員担当）
- 三 浦 勝 也（学校図書館事務嘱託員担当）
- 草 刈 和 志（ ” ）
- 荒 木 健 治（帰国子女担当）
- 福 地 保（科学センター担当）

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

この協議会は、日野市から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図るために、心身に障害のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容・方法の改善に関する研究及び、一般職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等の諸事業を企画し実践することを目的とする。

事業の内容

この目的を達成するため、協議会会長校に事務局を置き協議会の運営にあたる。主な事業として、次のことを行う。

- (1) 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討
- (2) 心身障害児童及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成
- (3) 就学相談の充実と相談活動への協力と奨励
- (4) 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査
- (5) 学校における相談組織と機能の充実

組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、指導室長、指導主事、指導係長、日野市立心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、幼・小・中学校（園）の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- | | |
|--------|---|
| ア. 研究部 | 教育措置者の学校への適応状況と発達状況の追跡調査
学校における相談組織と機能の充実を図る研究 |
| イ. 研修部 | 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成に関する研究 |
| ウ. 相談部 | 就学相談の充実と相談活動への協力と援助 |

研究委託

今年度は、日野市教育委員会から別紙の内容についての研究を委託されている。

委 託 内 容

1. 心身障害教育の在り方の検討

迫り来る情報化、国際化、高齢化等の社会の変化に対応し、学校と家庭・地域社会・関係機関とが互いに連携を深めながら、心身に障害のある児童・生徒が自らの障害を改善・克服し、生涯にわたって学び続け、生きがいをもって充実した生活を送ることを目指した心身障害教育の在り方についての検討を行う。

具体的には、心身障害教育の諸課題を踏まえ、一人一人の児童・生徒の障害の状態に即した適切な指導内容・方法及び評価の工夫・改善についての検討、また基礎的・基本的な知識・技能・態度及び習慣を育む心身障害教育の望ましい在り方について心身障害学級の新設をも含めて検討する。

また、一人一人の可能性の開発と伸長を促すための指導法に関しては、一人一人の児童・生徒の障害の状態や個性、能力及び発達段階に応じた適切な指導を展開するために必要な指導目標、指導内容、教材・教具の開発、施設・設備の活用、養護・訓練の在り方等についての検討を具体的な授業実践を通して検証する。

2. 心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進

心身に障害のある児童・生徒が、その障害に基づく種々の困難を克服して強く生きようとする意欲を高め、積極的に社会に参加していくためには、適切な教育を行うとともに、通常の学級の児童・生徒や地域社会の人々の心身に障害のある児童・生徒に対する正しい理解と認識を深めることが必要である。そのためには、学校の地域社会における交流教育を一層推進するとともに、その望ましい在り方について検討し、人権尊重教育の一層の推進のもとに学校関係者及び保護者を対象とした啓発資料を作成する。

3. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

日野市就学相談委員会は、医師、心理学者、心身障害学級設置校校長及び教諭、心身障害教育関係者、教育相談員等の委員より組織され、就学相談活動が行われているが、就学相談の一層の充実並びに適切な教育措置の一層の推進のために、適切な就学相談活動の方法について検討するとともに、相談者の専門的力量を高めるための研修を推進し、きめ細かな就学相談が進められるように相談活動への協力と援助を行う。

4. 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査

就学相談の結果に基づいて教育措置を決定した後の児童・生徒の学校や学級における適応状況及び教育効果、学校及び学級担任の悩みや問題等について日野市立小・中学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身に障害のある児童・生徒の適応状況等を継続的に調査し、今後の教育問題に関する相談活動の充実に資する資料を作成する。

5. 学校における相談組織の確立と相談機能の充実

各学校における心身障害児の教育相談の在り方、担任教師への協力の在り方等について調査研究するとともに、校内における教育相談活動の充実のための資料を作成する。

日野市立小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市立小学校科学教育センターと称し、平成４年度は、北部センターは日野市立日野第五小学校に、南部センターは日野市立平山小学校に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市立小学校における科学教育の振興を図るとともに、教員の理科指導の充実向上のための研修と児童の科学的な興味、関心、態度を育成し、自然を科学的に調べる能力、技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

南部 センター		学校名	電 話	北部 センター		学校名	電 話
センター長	内 藤 康	平山小	91-4123	センター長	畑 石 重輝	五 小	81-0474
次 長	岡田 壽美子	〃	〃	次 長	吉野美智子	〃	〃
主 任	星野 晴一	〃	〃	主 任	福地 保	〃	〃
指 導 員	清水 義路	潤徳小	91-0409	指 導 員	土井 公子	一 小	81-0073
〃	前澤 政治	平山小	91-4123	〃	澁谷 一彦	二 小	81-0070
〃	宇野有斐子	八 小	91-2411	〃	高藤 静枝	〃	〃
〃	横山 昌司	〃	〃	〃	井上 充	三 小	81-0101
〃	松本 善秀	百草台	91-0997	〃	福田 功	四 小	81-0038
〃	遠田 弘	滝台小	93-5172	〃	鈴木 節子	五 小	81-0407
〃	鈴木 克己	高幡台	91-7011	〃	田野倉玉典	〃	〃
〃	山田 栄子	南平小	92-2021	〃	市川 博敏	〃	〃
〃	浅田 光子	〃	〃	〃	丸茂 洋子	六 小	81-0366
〃	三木 滋	程久保	92-5014	〃	豊田 光	七 小	83-3907
〃	矢野百合子	〃	〃	〃	栗原 茂	旭が丘	83-3733
〃	小泉 昇	平山台	92-6381	〃	笠井 祐子	東光寺	84-6200
〃	金丸たか子	三沢台	93-2351	〃	雨宮 宣夫	仲田小	81-8511

4. センター員

校 名	南 部 セ ン タ ー											北 部 セ ン タ ー											合 計
	潤 徳 小	平 山 小	八 小	百 草 台 小	滝 合 小	高 幡 台 小	南 平 小	程 久 保 小	平 山 台 小	三 沢 台 小	小 計	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	七 小	旭 が 丘 小	東 光 寺 小	仲 田 小	小 計	
男	0	4	0	0	2	1	6	3	3	1	20	0	2	0	0	2	3	3	4	0	0	14	34
女	0	4	3	0	4	4	0	0	0	1	16	3	0	2	3	4	1	1	1	3	4	22	38
計	0	8	3	0	6	5	6	3	3	2	36	3	2	2	3	6	4	4	5	3	4	36	72

5. 年間指導計画

南 部 科 学 セ ン タ ー

☆印は、指導責任者

回数	月 日 (曜) 時	指 導 内 容		指 導 員
1	5. 15 (土) 14:00	開 講 式	活動内容を理解し、研究への意欲を高める。 新しい友達と仲良くなる。	全 員
2	5. 22 (土) 14:00	第1単元 日野の自然と植物	平山城址公園付近の自然観察 (晴天の時) 葉脈標本を作る。 顕微鏡観察をする。	☆前 沢 矢 野 山 田 小 泉
3	5. 29 (土) 14:00			
4	6. 5 (土) 14:00			
5	6. 19 (土) 14:00	第2単元 草木染め	植物の汁を使って、木綿、絹などの布を染める。 植物の汁の性質を知る。	☆山 田 金 丸 三 木 遠 田
6	6. 26 (土) 14:00			
7	7. 3 (土) 14:00			
8	7. 17 (土) 14:00	第3単元 自由研究	研究テーマの決定。 研究方法の検討。 研究のまとめ	☆宇 野 遠 田 前 沢 矢 野
9	9. 4 (土) 14:00			
10	9. 18 (土) 14:00			
11	10. 16 (土) 14:00	第4単元 電流と発熱	電気の利用法を知る。 スチロールカッターを作る。	☆清 水 宇 野 三 木 小 泉
12	10. 23 (土) 14:00			
13	10. 30 (土) 14:00			
14	11. 27 (土) 14:00	第5単元 土 調 べ	赤土・黒土・砂などを調べ鉱物を知る。 南平付近の地層を調べる。	☆横 山 清 水 金 丸 鈴 木
15	1. 22 (土) 14:00			
16	1. 29 (土) 14:00			
17	2. 5 (土) 14:00	閉 講 式	修了証をもらう。 ひとつのことをやり遂げた成就感を味わい、自信と意欲を高める。 感想発表。	全 員

回数	月 日 (曜 時)	指 導 内 容		指 導 員
1	5. 15 (土) 14:00	開 講 式	活動内容を理解し、研究への意欲を高める。 新しい友達と仲良くなる。	全 員
2	5. 22 (土) 14:00	第1単元	美しい花の中にある生命のすばらしいしくみを自分の目で確かめてみる。	☆澁 谷(二 小)
3	5. 29 (土) 14:00	観物観察と花粉調べ		丸 茂(六 小)
4	6. 5 (土) 14:00			雨 宮(仲 田)
5	6. 19 (土) 14:00	第2単元	酸、アルカリなどの水溶液の性質を調べる。リトマス紙を自分で作る。	☆豊 田(七 小)
6	6. 26 (土) 14:00	水溶液の性質		土 井(一 小)
7	7. 3 (土) 14:00			高 橋(二 小)
8	7. 17 (土) 14:00	第3単元	研究テーマの決定、方法の検討 (夏休みの課題活動)	☆福 田(四 小)
9	9. 4 (土) 14:00	自由研究		栗 原(旭が丘)
10	9. 18 (土) 14:00			福 地(五 小)
11	10. 16 (土) 14:00	第4単元	いろいろな食品に使われている合成着色料について、実験で調べる。	☆鈴 木(五 小)
12	10. 23 (土) 14:00	食品着色料の検出		市 川(五 小)
13	10. 30 (土) 14:00			笠 井(仲 田)
14	11. 27 (土) 14:00	第5単元 レポートの書き方	第1～4単元のなかから自分の好きな単元を選び、レポートの書き方に順じて、構成の仕方を身につける。	☆福 地(五 小)
15	1. 22 (土) 14:00	第6単元	アルミニウムの空き缶を科学反応させ、(液体・気体・固体)ミョウバンを検出し造型工作をしてみる。	☆田野倉(五 小)
16	1. 29 (土) 14:00	ミョウバンの結晶検出		井 上(三 小) 福 地(五 小)
17	2. 5 (土) 14:00	閉 講 式	修了証をもらう。 ひとつのことをやり遂げた成就感を味わい、自信と意欲を高める。 感想を発表する。	全 員

6. 連絡協議会

委 員 長	長 澤 三 郎	日野市教育委員会教育長	TEL 0425-85-1111
南部センター長	内 藤 康	日野市立平山小学校長	TEL 0425-91-4123
同 次長	岡 田 壽 美 子	” 教頭	”
同 主任	星 野 晴 一	” 嘱託	”
北部センター長	畑 石 重 輝	日野市立日野第五小学校長	TEL 0425-81-0407
同 次長	吉 野 美 智 子	” 教頭	”
同 主任	福 地 保	” 嘱託	”
顧 問	小 沢 春 重	日野市教育委員会指導室長	TEL 0425-85-1111
	宮 川 保 之	” 指導主事	”
	大 橋 直 子	” 指導主事	”

日野市立公立学

学 校 名	校 (園) 長 名	学 級 数	児 童 数 (生徒数)	教 員 数	電 話	所 在 地	交 通 機 関
第一幼稚園	榎 島 静 子	四	一〇四	六	81 4124 4105	多摩平四一三	中央線豊田駅下車、徒歩十分
第二幼稚園	平 向 邦 江	三	五八	五	91 4215	平山四一五一四	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十分
第三幼稚園	坂 口 嘉 津 子	三	五九	五	81 7127	日野本町二一四一	中央線日野駅下車、徒歩七分
第四幼稚園	山 本 智 恵 子	二	四一	四	83 3903	石田四三一六	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口
第五幼稚園	酒 匂 瑠 美 子	二	五九	四	92 0432	三沢一七五	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分
第六幼稚園	高 野 真 由 美	二	五〇	四	92 6330	程久保八七六二	徒歩五分 高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車
第七幼稚園	上 野 美 津 枝	四	一一六	六	86 3770	旭が丘二一四二	中央線豊田駅下車、徒歩十五分
第一小学校	岩 下 和 夫	一三	四六五	一八	81 0073 0061	日野本町二一四一	中央線日野駅下車、徒歩六分
第二小学校	馬 場 武	一九	六四五	二六	81 0070 0851	東豊田二一四一	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分
第三小学校	増 賀 從 男	一三 (二)	四六四 (九)	二五	81 0101 0850	日野台二一一一	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十分
第四小学校	片 岡 千 壽 子	一三	四七六	一九	81 0038 3076	石田四三〇	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分
第五小学校	畑 石 重 輝	一八 (一)	六二九 (四)	二六	81 0407 0445	多摩平六一二一一	中央線日野駅下車、バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車
第六小学校	小 幡 建	一八	五三五	二四	81 0366 4686	多摩平三一二一	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分
潤徳小学校	香 川 善 平	一二	三三四	一七	91 0409 0410	高幡四〇二	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分
平山小学校	内 藤 康	一二	四〇四	一七	91 4123 0512	平山四一八一六	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分
第八小学校	石 川 耀 子	一八	六一二	二四	91 2411 2412	三沢二〇〇	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分
百草台小学校	小笠原 久 雄	一三	四二三	二一	91 0997 0998	百草九九九	徒歩五分 高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車

校・幼稚園一覽

平成5年5月17日現在

滝合小学校	高幡台小学校	第七小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
草刈喜一	兼島政邦	小林繁人	有泉徹郎	倉重利恵	信夫清彦	波多野坦	鍋田良子	西田敦子	中村孝一	宮本裕子	大野隆久	名塚三雄	高木宏文	高橋和子	山崎妙子	伴野博夫	北原景昭
一八	一二	一七	一二	一三	二四	九 ^(一)	一二	一二	一二	一八	一六	一四 ^(三)	一九	二〇	一五	一八 ^(二)	一四
六一二	三七一	六一一	四二八	三七〇	八〇〇	二二八 ^(九)	三六八	三二一	三二五	六六一	五九四	四九八 ^(一)	七二七	七四二	五八一	六四二 ^(一)	五〇五
二四	一七	二三	一七	一九	三〇	一六	一七	一七	一七	三四	二八	二九	三四	三七	二六	三五	二五
83 5172 5173	91 7011 7012	83 3907 3908	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	84 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
西平山二―三―一	程久保五五〇	神明三―二	南平四―一八―一	程久保一―一四―二	旭が丘五―二一―一	平山二―一―一	新町三―二四―一	百草八九六―一	日野本町六―一―七四	日野本町七―七―七	多摩平四―五―三	南平六―七―一	程久保六五〇	旭が丘二―四―二	三沢二五	大坂上四―一七―一	平山四―二一―三
京王線平山城址公園・長沼駅下車、徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	徒歩二分 高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、立川方面徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中王線豊田駅下車、徒歩十八分

() 内は心障学級数

校長・教頭事業担当一覧

1. 学校教育部

① 指導室関係

◎…委員長・会長 ○…副委員長・副会長 ●…委員・担当者

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
A-1	教 務 主 任 会	◎岩下 和夫	○高木 宏文	●畑野 元一	●中根 勉
A-2	生 活 指 導 主 任 会	○馬場 武	◎伴野 博夫	●影山 健	●松澤 茂久
A-3	進 路 指 導 主 任 会		◎山崎 妙子		●三浦 義次
A-4	保 健 主 任 会	◎倉重 利恵	○高橋 和子	●高橋 茂子	●三浦 義次
A-5	小 学 校 体 育 主 任 会	◎信夫 清彦		●森野 豊	
A-6	中 学 校 環 境 読 本 作 成 委 員 会		◎宮本 裕子		○中根 勉
A-7	ま ど べ 編 集 委 員 会	◎石川 耀子		○小杉 博司	○太田 俊彌
A-8	日 光 移 動 教 室	◎小笠原久雄 ○鍋田 良子 ○兼島 政邦		●八木 文夫 ●高橋 茂子 ●雨宮 充	
A-9	5 年 生 移 動 教 室	○小林 繁人			
A-10	中 学 校 修 学 旅 行		○高木 宏文		
A-11	科 学 教 育 セ ン タ ー	◎内藤 康 ◎畑石 重輝		○岡田壽美子 ○吉野美智子	
A-12	音 楽 鑑 賞 教 室 運 営 委 員 会	◎増賀 従男	○高橋 和子	●難波 和子	●鈴木 渉
A-13	書 初 展	○鍋田 良子	◎山崎 妙子	●斉藤 正子	●酒井 徳行
A-14	小 ・ 中 水 泳 記 録 会	◎信夫 清彦 ○兼島 政邦	◎北原 景昭	●武内 忠雄 ●太田由起夫	○松澤 茂久
A-15	陸 上 記 録 会 運 営 委 員 会	◎信夫 清彦		●森野 豊	
A-16	人 権 尊 重 教 育 推 進 委 員 会	◎小幡 建	○宮本 裕子	●雨宮 充	●深山 睦弘
A-17	心 身 障 害 教 育 推 進 協 議 会	○波多野 坦 ●畑石 重輝 ◎増賀 従男	●名塚 三男 ●伴野 博夫	●品田 敏男 ●難波 和子 ●岡田壽美子	●酒井 徳行

A-18	就学相談委員会	◎小笠原久雄	名塚 三雄 伴野 博夫	●品田 敏男 ●難波 和子 ●岡田壽美子	
A-19	相談学級運営協議会		◎宮本 裕子		
A-20	情報教育推進委員会		◎名塚 三雄		○深山 睦弘
A-21	英語指導改善委員会		◎高木 宏文		○深山 睦弘
A-22	国際理解教育推進委員会	◎岩下 和夫	◎宮本 裕子	●難波 和子	●深山 睦弘
A-23	授業研究連絡協議会	◎小林 繁人	○宮本 裕子	●品田 敏男	●太田 俊彌
A-24	授業改善委員会	◎馬場 武 ○増賀 徒男	○高木 宏文	●木内 秀雄	●鈴木 渉
A-25	学校図書館連絡協議会	◎石川 耀子		○斉藤 正子	
A-26	初任者研修実施協議会		◎山崎 妙子		
A-27	教職員研究資料室 運営委員	◎香川 善平	○名塚 三雄	●影山 健	●浅野 博
A-28	日野市小学校教育研究会	◎波多野 坦 ○小幡 建		○江口 耕一 ●斉藤 正子	
A-29	日野市中学校教育研究会		◎北原 景昭		○浅野 博
A-30	小体連・小体研	◎信夫 清彦		○八木 文夫	
A-31	学校五日制検討	◎岩下 和夫 小林 繁人 香川 善平	高木 宏文	上田 憲二 森野 豊 武内 忠雄	

② 学務課関係

B-1	学校保健会	◎倉重 利恵	○高橋 和子	●高橋 茂子	●三浦 義次
B-2	学校給食会	◎西田 敦子	○大野 隆久	●吉野美智子	●浅野 博
B-3	養護教諭会	◎倉重 利恵	○高橋 和子		

③ 庶務課関係

C-1	中体連・中体研		◎北原 景昭		
-----	---------	--	--------	--	--

2. 社会教育部

① 社会教育課関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
D-1	社 会 教 育 委 員	●有泉 徹郎			
D-2	市 P 協	●片岡千壽子 ●兼島 政邦	●北原 景昭		

② 体育課関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
E-1	学 校 体 育 施 設 開放運営協議会	◎草刈 喜一	○北原 景昭	●畑野 元一	●松澤 茂久

③ 図書館関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
F-1	図 書 館 運 営 審 議 委 員	●小幡 建			

④ 公民館関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
G-1	公 民 館 運 営 審 議 委 員	●片岡千壽子			

⑤ ふるさと博物館関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
H-1	ふるさと博物館運営委員	●草刈 喜一	●高木 宏文		

3. 都校長会・都教育委員会関係

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
I - 1	青少年健全育成委員	●小笠原久雄	●伴野 博夫		
I - 2	環境習慣行事運営委員	●石川 耀子	●名塚 三雄		
I - 3	人件尊重教育推進委員会	●小幡 建	●宮本 裕子	●雨宮 充	●深山 睦弘

4. そ の 他

記 号	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
J - 1	日野市環境緑化委員	●中村 孝一			
J - 2	市教職員互助会副理事 (校長会長)	●内藤 康			
J - 3	情報公開対策委員	●内藤 康	●高木 宏文		●深山 睦弘

管理運営規則第八条に基づく主任一覧表

	学 校 名	学 校 長	教 務 主 任	生 活 指 導 主 任	保 健 主 任	進 路 指 導 主 任
1	日 野 一 小	岩下 和夫	志賀 由具	長谷川一彦	長澤佳都子	
2	日 野 二 小	馬場 武	高橋 健	久保田由子	渡辺 敏子	
3	日 野 三 小	増賀 従男	長谷部志美夫	諏訪 英樹	渡辺三枝子	
4	日 野 四 小	片岡千寿子	逸見 明男	安西 利江	丸山 幸江	
5	日 野 五 小	畑石 重輝	鈴木 節子	北野 義昭	常盤 町子	
6	日 野 六 小	小幡 建	佐藤 静雄	市川 光男	金野 峰子	
7	潤 徳 小	香川 善平	秋葉 秀茂	間島 春美	反町麻佐子	
8	平 山 小	内藤 康	渡辺 学	田中 延子	駒形 富子	
9	日 野 八 小	石川 耀子	小島 義範	宇野有斐子	山崎 和子	
10	百 草 台 小	小笠原久雄	宮崎 亘	木附 隆三	船山 陽子	
11	滝 合 小	草刈 喜一	林 亀三	西尾 京子	戸塚美由記	
12	高 幡 台 小	兼島 政邦	銭廣 芳子	比嘉 道子	古越 富子	
13	日 野 七 小	小林 繁人	河野 千秋	岩松 親和	国崎 桑子	
14	南 平 小	有泉 徹郎	吉田 弘	浅田 光子	井上久美子	
15	程久保小	倉重 利恵	西森 恵子	竹内 勝美	樋山 千秋	
16	旭が丘小	信夫 清彦	窪田 正子	須藤 春美	小島 典子	
17	平 山 台 小	波多野 坦	中村 康成	渡部 キヨ	荒居 和子	
18	東 光 寺 小	鍋田 良子	笹本 竹司	会田 尚子	石田志津子	
19	三 沢 台 小	西田 敦子	山浦 幸子	小林 和子	太島真知子	
20	仲 田 小	中村 孝一	田中 晴美	土方 久枝	清水 妙子	
1	一 中	宮本 裕子	千葉 英明	吉田 俊明	高橋 恵子	山田 智之
2	二 中	大野 隆久	濱本 敏朗	野口 英一	中山ひとみ	鬼頭 昭
3	七 生 中	名塚 三雄	瀬川 昭英	大谷 良光	根岸 智子	松原 清
4	三 中	高木 宏文	平山 方茂	山口 俊浩	小林 浄子	熊谷 仁一
5	四 中	高橋 和子	並木 修	鈴木 直也	佛圓 京子	山本 節子
6	三 沢 中	山崎 妙子	長友 良嗣	清水 明	三輪ひとみ	磯部 博子
7	大 坂 上 中	伴野 博夫	中野 秀樹	木嶋 健	奥住貴美代	谷 丈太郎
8	平 山 中	北原 景昭	井ノ上節子	北野 一也	阿部貴美子	中嶋建一郎

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
和田いさを	矢口由美子	花田 僚子	黒川 和彦	寺本 喜和	土井 公子
榎 圭子	小口 澄代	田中 和子	久保田由子	平島 孝夫	高橋 孝子
樋口 俊子	北島あけみ	古家 静子	廣嶋とし子	山平 繁	前田佐和子
中根 京子	橋爪 憲子	安達 美武	逸見 明男	名取 明代	玉置 順子
川上さち子	酒匂由美子	鈴木由美子	御木 茂	斉藤 弥生	菊池 和子
高木千恵子	逸見 黎子	川井田和子	渡辺 友子	宗近 孝子	野村 治子
五十嵐明子	志村 道子	秋葉 秀茂	小林 浜子	清水 義路	間島 春美
田中 延子	駒形 富子	港 澄江	日下部貴美子	渡辺 学	金子 直子
神 幸子	酒井 誠	石岡 房子	斎藤 悦子	山下 幸代	三浦理恵子
横溝けい子	廣瀬 逸子	宮崎 亘	大鳥ルミ子	菱田美恵子	加藤 暉子
長谷川まゆみ	佐藤 睦	長浜 和子	上條かなゑ	染谷 定昭	栗山 洋子
国領美那子	比嘉 道子	若松富紀子	千葉 正美	高橋 智子	銭廣 芳子
桑沢 悦子	川原田和子	落合 幸子	小畑由美子	斉藤美智子	小坂 克信
村山 栄子	野口すみ子	西川 朝子	溝江恵美子	山田 栄子	永原 愛子
田中 悦子	矢野百合子	竹内 勝美	樋山 千秋	西森 恵子	佐藤 徳子
鎌田 清美	和栗 悦子	窪田 彌生	入田 純子	赤松 昭子	栗原 茂
針田 和子	倉津 節子	渡部 キヨ	田中 玲子	中村 康成	坂井ミチ子
三枝 光子	小林むつみ	佐藤 幸夫	青山 幸江	笠井 祐子	市川 博子
山浦 幸子	金丸たか子	鷹尾富貴江	川田 浩子	桐生 雅行	中江 智明
宇土 悦子	相川 隆子	植松 久美	雨宮 宣夫	土方 久枝	田中 晴美
荒 延江	寺澤 義雄	浅野 和也			
橋本 幹雄	三條 正善	山田 雄次			
今井 正喜	大坪久美子	真柴 哲子			
新井 教旦	井上 義孝	荒川 善敏			
村上 敏雄	荒川 歌津	大庭佐和子			
福地 和子	高崎 雅子	原田 康司			
岡部 隆男	田熊 裕	谷 丈太郎			
池田 純二	坂井 悦子	鈴木 照美			

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	研究・研修主任	教 育 課 題	国 語 科	社 会 科	算数・数学科
1	日 野 一 小	和田いさを	関 賀穂留	花田 僚子	寺本 喜和	長澤佳都子
2	日 野 二 小	高木 映子	寺本恵久子	芹川 廣子	田中 和子	高木 映子
3	日 野 三 小	廣嶋とし子	長谷部志美夫	前田佐和子	大類 英美	古家 静子
4	日 野 四 小	名取 明代	矢野 優	橋爪 憲子	滝島 欣子	坂本 有子
5	日 野 五 小	御木 茂	鈴木知英子	酒匂由美子	川上さち子	本多 和美
6	日 野 六 小	高木千恵子	川井田和子	宗近 孝子	佐藤 静雄	逸見 黎子
7	潤 徳 小	五十嵐明子	臼井 知子	五十嵐明子	牧野 豊	小林 浜子
8	平 山 小	港 澄江	港 澄江	港 澄江	田中 延子	池田 雅子
9	日 野 八 小	赤松 紀子	海老原眞知子	若林真砂子	横山 昌司	栗原 悦子
10	百 草 台 小	菊池 静枝	遠藤佐知子	菊池 静枝	加藤 暉子	中島 志郎
11	滝 合 小	長浜 和子	丹羽 亮典	後藤 絢子	藤沢 恵子	上條かなゑ
12	高 幡 台 小	千葉 正美	千葉 正美	国領美那子	藤井 敏晴	五味 小波
13	日 野 七 小	斉藤美智子	馬場 裕美	斉藤美智子	平山 仁子	外山 理佳
14	南 平 小	依田 逸夫	稲葉 重樹	村山 栄子	野口すみ子	溝江恵美子
15	程 久 保 小	田中 悦子	吉野 宏	竹内 勝美	森 幸子	吉川 美幸
16	旭 が 丘 小	伊藤 紀子	上條 茂	窪田 正子	中島 寿子	吉川 都子
17	平 山 台 小	針田 和子	中村 康成	仲本 雅代	内田 芳枝	小林 良江
18	東 光 寺 小	秋葉 栄一	秋葉 栄一	黒木 桂子	高木 宏	富澤 和子
19	三 沢 台 小	鶴間 紀子	川田 浩子	鷹尾富貴江	中江 智明	塩谷 華生
20	仲 田 小	植松久美子	植松久美子	相川 隆子	小山しおり	小俣三佳子
1	一 中	浅野 哲男	細井 勝一	高森 和子	内山 雅子	浅田 敏之
2	二 中	加藤 弘一	倉橋 延男	松本 栄二	藤塚 康子	松元 郁子
3	七 生 中	犬束 正敏	小川 桂子	瀬川 昭英	船田 伸一	大坪久美子
4	三 中	熊谷 仁一	辻野 良子	山本 潔子	大谷 浩	熊谷 仁一
5	四 中	森 紀子	渡辺 圭子	秋山 剛徳	杉村 智秋	市川 尚春
6	三 沢 中	高崎 雅子	山中ひろみ	鳥居恵美子	岡辺 稔	鷲尾 仁
7	大 坂 上 中	高橋 陽子	中野 秀樹	林 千恵子	木嶋 健	佐寄 典子
8	平 山 中	樋口 芳伸	中嶋建一郎	林 範夫	石村 繁樹	中嶋建一郎

及び担当一覧（その１）

理 科	生 活 科	音 楽 科	図工・美術	体育・保健体育	技術・家庭(女)
中野由紀子	風野 敏子	徳田 崇	関 賀穂留	黒川 和彦	馬場 俊子
渋谷 一彦	槇 圭子	板野 宏	川名 勝紀	綾部 耕基	秋葉 恵子
井上 充	諏訪 英樹	大久保光子	宗像ゆき子	大西 一成	馬場 延子
矢野 優	陶山 葉子	立花せつ子	小野絵美子	福田 功	玉置 順子
鈴木 節子	馬場 富男	岡田 恵子	北野 義昭	山北 雅史	越村あや子
丸茂 洋子	高木千恵子	村上 悦子	杉村 光子	飴家 純	森田 隆子
臼井 知子	清水 絢子	饗庭 仁美	志賀千恵子	小俣 靖江	間島 春美
前澤 正治	駒形 富子	千秋 香	服部たかし	成井 大祐	金子 直子
宇野有斐子	赤松 紀子	鈴木 栄一	高橋 英子	澤田 利哉	海老原眞知子
松本 善秀	廣瀬 逸子	福田 栄子	丸 カズ子	松本 善秀	菱田美恵子
遠田 弘	高橋 紀子	鳥山 悦子	河合 香子	林 亀三	栗山 洋子
塚本 純子	若松富紀子	安藤美佐子	岡本 美治	鈴木 克己	高橋 智子
豊田 光	川原田和子	椎名 圭子	尾関いづみ	国安 輝至	国崎 桑子
山田 栄子	西原美枝子	稲葉 重樹	依田 逸夫	田中 理恵	永原 愛子
樋口 邦男	矢野百合子	川上 一枝	木村 令子	粕谷 吉弘	佐藤 徳子
菱山 芳徳	星野 洋	鶴園美千代	野村 好伸	上條 茂	佐藤 智子
小泉 昇	倉津 節子	二宮 弘美	久保 雅子	田中 玲子	坂井ミチ子
笹本 竹司	会田 尚子	洲崎 明美	秋葉 栄一	藤井 義啓	小林むつみ
金丸たか子	小林 和子	村田那智子	倉林 晴夫	桐生 雅行	松田 真弓
藤森 睦美	佐藤 民男	保坂たか子	鶴田久美子	岩崎 英夫	八木 正子
宮尾 文子		和田ゆき子	山田 智之	小田 隆	荒 延江
飯嶋 生正		鈴木 晶子	斉藤まりえ	石川 恵子	田倉 正子
犬束 正敏		長坂 昌弘	常松 瑞穂	橘 陽臣	佐藤 壽枝
細谷 敏昭		大宅 寛	服部 圭助	横溝 雅之	鈴木恵理子
荒川 歌津		鈴木 園生	渡辺 圭子	栗田 匡子	古川 彰子
福地 和子		植松 幸子	及川 克裕	井原千恵子	田畑 恵子
関 順子		石塚 史子	高橋 陽子	池田 誠喜	渡辺やす子
吉野 豊生		松野 智子	中里 久子	鈴木 浩	斉藤 妙子

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	技術・家庭(男)	英 語	道 徳	特 別 活 動	学 校 行 事
1	日 野 一 小			長谷川一彦	風野 敏子	志賀 由具
2	日 野 二 小			小林恵久子	内田 知子	松澤 和代
3	日 野 三 小			長谷部志美夫	大類 英美	長谷部志美夫
4	日 野 四 小			逸見 明男	安達 美武	逸見 明男
5	日 野 五 小			鈴木知英子	菊池 和子	御木 茂 茅野とめ子
6	日 野 六 小			川井田和子	丸茂 洋子	佐藤 静雄
7	潤 徳 小			秋葉 秀茂	牧野 豊	志賀千恵子
8	平 山 小			渡辺 学	成井 大祐	渡辺 学
9	日 野 八 小			斎藤 悦子	横山 昌司	横山 昌司
10	百 草 台 小			遠藤佐知子	遠藤佐知子	宮崎 亘
11	滝 合 小			丹羽 亮典	上條かなゑ	林 亀三
12	高 幡 台 小			千葉 正美	高橋 智子	銭廣 芳子
13	日 野 七 小			馬場 裕美	井浦 弘	河野 千秋
14	南 平 小			吉田 弘	溝江恵美子	山田 栄子
15	程久保小			三木 滋	佐藤 徳子	粕谷 吉弘
16	旭が丘小			斉藤 重志	伊東あき子	野村 好伸
17	平 山 台 小			中村 康成	坂井ミチ子	中村 康成
18	東 光 寺 小			三枝 光子	高木 宏	笹本 竹司
19	三 沢 台 小			川田 浩子	鷹尾富貴江	山浦 幸子
20	仲 田 小			宇土 悦子	佐藤 民男	田中 晴美
1	一 中	横山 勝行	沢田 陽子	吉田 俊明	浅田 敏之	千葉 英明
2	二 中	三條 正善	金子 京子	藤塚 康子	星 真澄	永田あかね
3	七 生 中	大谷 良光	白沢 修	松原 清	大谷 良光	瀬川 昭英
4	三 中	井上 義孝	田中 秀幸	原沢 和江	平山 方茂	平山 方茂
5	四 中	並木 修	菊池 基文	竹田 和彦	市川 尚春	並木 修
6	三 沢 中	鶴田 幸二	平山 泰子	柄沢都世子	長友 良嗣	長友 良嗣
7	大 坂 上 中	三浦 利信	林田 千野	大滝 啓也	成瀬 誠	中野 秀樹
8	平 山 中	堤 信博	樋口 芳伸	坂井 悦子	坂井 悦子	井ノ上節子

及び担当一覧（その２）

視 聴 覚	学校図書館	給 食	安 全 教 育	養 護
寺本 喜和	風野 敏子	馬場 俊子	知 由美子	佐藤ヒサ子
渋谷 一彦	西志村二三子	榎 圭子	渡辺 敏子	渡辺 敏子
井上 充	万波 淑子	西川 香里	宗像ゆき子	渡辺三枝子
中根 京子	玉置 順子	滝島 欣子	陶山 葉子	丸山 幸江
北野 義昭	茅野とめ子	岡田 恵子	馬場 富男	常盤 町子
和田 雅実	垣内奈緒美	森田 隆子	野村 治子	金野 峰子
牧野 豊	間島 春美	松崎しのぶ	間島 春美	反町麻佐子
前澤 正治	池田 雅子	金子 直子	田中 延子	加治 雅子
酒井 誠	沼田恵美子	加藤 征子	酒井 誠	山崎 和子
宮崎 亘	加藤 暉子	横溝けい子	木附 隆三	船山 陽子
小山 隆	栗原 典子	高橋 紀子	栗原 典子	戸塚美由記
藤井 敏晴	若松富紀子	伊藤 奈穂	比嘉 道子	古越 富子
小畑由美子	高橋真知子	馬場 裕美	落合 幸子	中山 伸子
田中 理恵	野口すみ子	西川 朝子	山田 栄子	井上久美子
吉野 宏	中村真理子	木村 令子	矢野百合子	田島 佳子
入田 純子	青柳香保留	赤松 昭子	須藤 春美	小島 典子
小泉 昇	針田 和子	内田 芳枝	二宮 弘美	荒居 和子
青山 幸江	笠井 祐子	洲崎 明美	佐藤 幸夫	石田志津子
倉林 晴夫	湯浅百香里	村田那智子	松田 真弓	太島真知子
岩崎 英夫	藤森 睦美	宇土 悦子	土方 久枝	清水 妙子
内山 雅子	酒井 咲子	浅野 和也	臼井由美子	高橋 恵子
松元 郁子	鈴木 晶子	田倉 正子	橋本 幹雄	中山ひとみ
柳沢 宣子	小菅 房子	真柴 哲子	船田 伸一	根岸 智子
服部 圭助	大宅 寛	杉本 洋子	田中 秀幸	小林 浄子
川上 雅之	森 紀子	杉村 智秋	秋山 剛徳	佛圓 京子
山中ひろみ	岡辺 稔	植松 幸子	鳥居恵美子	三輪ひとみ
倉田 和俊	横山砂知子	岡部 隆男	奥住貴美代	奥住貴美代
斉藤 妙子	林 範夫	升川 綾子	吉野 豊生	阿部貴美子

授 業 研 究 主 題 一 覧

№	学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日 野 第 一 小 学 校	一人一人の児童が意欲的に学習に取り組むための指導法の工夫 — 生活科・社会科を通して —
2	日 野 第 二 小 学 校	自ら学ぶ力を育てる指導法の研究
3	日 野 第 三 小 学 校	一人一人が児童のめあてをもち、生き生きと学習する指導法の研究
4	日 野 第 四 小 学 校	国語科を通して、自分の思いや考えを豊かに表現できる子を育てる 指導法の工夫—
5	日 野 第 五 小 学 校	豊かな心をもち、楽しく学び合う児童の育成
6	日 野 第 六 小 学 校	自ら学ぶ子どもを育てる体験学習のあり方
7	潤 徳 小 学 校	主体的な学習態度を育てる指導法の研究
8	平 山 小 学 校	自分の考えをはっきり表現できる子ども
9	日 野 第 八 小 学 校	児童の主体性を高める指導法の研究 — 地域に関心を持ち、自ら調べ学ぶ力を育てる —
10	百 草 台 小 学 校	考える力を育てる指導法の研究
11	滝 合 小 学 校	子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究
12	高 幡 台 小 学 校	子どもが意欲を伸ばす理科の授業
13	日 野 第 七 小 学 校	児童一人ひとりが自ら学ぶ学習活動の工夫 — 地域教材の開発（社会科）—
14	南 平 小 学 校	児童の主体性を生かす学習活動の研究
15	程 久 保 小 学 校	子どもの意欲が生きる学習指導
16	旭 が 丘 小 学 校	子どもによく考えさせる授業のあり方
17	平 山 台 小 学 校	めあてを持ち、生き生きと学習する指導法の研究
18	東 光 寺 小 学 校	「一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法」の研究
19	三 沢 台 小 学 校	一人一人の児童が主体的に学ぶ指導の工夫 — 理科、生活科を通して —
20	仲 田 小 学 校	表現力を高める学習指導法の工夫
21	日 野 第 一 中 学 校	個を生かす教育環境の改善 — 標準服・通知表の改訂や新入学選抜制度への対応を通して —
22	日 野 第 二 中 学 校	学校行事計画の再検討
23	七 生 中 学 校	生徒の自立心を育てる学級づくりの工夫
24	日 野 第 三 中 学 校	個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫
25	日 野 第 四 中 学 校	人権と生命を尊重する教育の推進
26	三 沢 中 学 校	生徒理解
27	大 坂 上 中 学 校	一人一人を生かす進路指導・学級指導
28	平 山 中 学 校	性教育と遅進児対策を中心とした各学級、学年の取り組み

研究奨励一覧

1. 学校奨励

№	学 校 名	代表者名	研 究 テ ー マ
1	程久保小学校	倉重 利恵	子供の意欲が生きる学習指導
2	日野第一中学校	宮本 裕子	個を生かす教育環境の改善

2. 個人奨励

1	日野第一小学校	徳田 崇	児童が主体的に学習に取り組むための指導法の工夫
2	日野第八小学校	宇野有斐子	体験的な学習活動の研究
3	旭が丘小学校	上條 茂	日野の自由民権運動の研究と社会科学学習
4	高幡台小学校	千葉 正美	小集団による主体的・創造的な学習活動を創る指導法の工夫
5	日野第一中学校	山田 智之	第2学年（週1時間）の美術科の指導法の工夫

3. 団体奨励

1	日野第二小学校	楨 圭子	生産体験活動を通して自立への基礎を養う
2	日野第六小学校	川井田和子	心豊かに生きる子どもの育成
3	三沢台小学校	真野 功	児童が主体的に学ぶためのニューメディアの活用法
4	潤徳小学校	清水 義路	コンピュータやカードを利用した主体的な学習活動の研究
5	南平小学校	田中 理恵	浅川や地域の自然を調べ、自然を愛し守ろうとする態度を育てる
6	日野第三小学校	江口 悦子	一人一人の発達段階に即したコミュニケーション力をつける指導
7	仲田小学校	宇土 悦子	一人一人を大切に、互いに高め合う学習指導の工夫
8	日野第一中学校	臼井由美子	保健体育科の選択制授業の工夫
9	七生中学校	大谷 良光	子どもが生き生き体験を通して取り組む技術科情報基礎学習
10	三沢中学校	染葉 仁博	生徒の個性を伸ばす指導法（コンピュータの活用）の創意工夫
11	七生中学校	柳沢 美澄	不登校生徒の一人一人の理解と対応（個別・小集団指導の研究）

東京都教育研究員・教育開発委員会委員

〈教育研究員〉

第三幼稚校	教 諭	富 尾 真須子	幼 児 教 育
日野第三小学校	教 諭	前 田 佐和子	国 語 科
旭が丘小学校	教 諭	上 條 茂	社 会 科
日野第七小学校	教 諭	小 畑 由美子	理 科
日野第一小学校	教 諭	徳 田 崇	音 楽 科
潤 徳 小 学 校	教 諭	牧 野 豊	特 別 活 動
程久保小学校	教 諭	竹 内 勝 美	書 写
高 幡 台 小 学 校	教 諭	古 越 富 子	学 校 保 健
日野第四中学校	教 諭	鈴 木 直 也	保 健 体 育
日野第三中学校	教 諭	井 上 義 孝	技 術 科
日野第一中学校	教 諭	沢 田 陽 子	英 語 科

〈教育開発委員会委員〉

日野第四幼稚園	教 諭	前 川 恵 子	幼 児 教 育
仲 田 小 学 校	教 諭	八 木 正 子	生 活 科
日野第八小学校	教 諭	海老原 眞知子	家 庭 科
日野第二中学校	教 諭	倉 橋 延 男	社 会 科
日野第四中学校	教 諭	並 木 修	教 育 課 題

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「わたしたちの小学国語」	(日 本 書 籍)
	「わたしたちの小学書き方」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「新しい社会」・	(東 京 書 籍)
	「楽しい小学校社会科地図帳 最新」	(帝 国 書 院)
算 数 科	「小学校算数」	(学 校 図 書)
理 科	「新しい理科」	(東 京 書 籍)
生 活 科	「小学校 せいかつ」	(学 校 図 書)
音 楽 科	「小学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
図画工作科	「図 画 工 作」	(日本文教出版)
保 健 科	「新しい保健」	(東 京 書 籍)
家 庭 科	「新しい家庭」	(東 京 書 籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「国 語」	(光 村 図 書)
	「中 学 書 写」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「社会科中学生の地理 世界の人々と日本の国土」	(帝 国 書 院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学校社会科地図 最新版」	(帝 国 書 院)
数 学 科	「新しい数学」	(東 京 書 籍)
理 科	「新しい科学(1.2分野)」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「中学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
	「中学生の器楽」	(教 育 芸 術 社)
美 術 科	「美 術」	(日本文教出版)
保健体育科	「新しい保健体育」	(東 京 書 籍)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開 隆 堂 出 版)
外 国 語 科	「NEW TOTAL ENGLISH」	(秀 文 出 版)

就職・進学状況の推移（昭和62～平成4年度）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科															職業教育 機関等	就 業 ・ そ の 他			卒 業 者 総 数	
		総 計	高 等 学 校 全 日 制 課 程							高等学校定時制課程				高 等 専 門 学 校	高 等 学 校 通 信 制	盲 ・ 護 ろ う 学 校校		専 修 ・ 各 種 学 校校	計	就 職 者		無 (在 家 庭 者)
			計	国 公 立			私 立			計	普 通 科	職 業 科	就 職 進 学 者									
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計													
62	計	2,384	2,284	1,005	190	1,195	1,017	72	1,089	74	46	9	19	4	15	7	65	49	21	28	2,498	
	男	(95.4)	(91.4)	(40.2)	(7.6)	(47.8)	(40.7)	(2.9)	(43.6)	(3.0)	(1.8)	(0.4)	(0.8)	(0.1)	(0.6)	(0.3)	(2.6)	(2.0)	(0.9)	(1.1)		
	女	1,201	1,128	483	105	588	487	53	540	52	31(私1)	7	13	4	14	3	31	35	16	19	1,267	
63	計	1,183	1,156	522	85	607	530	19	549	22	14	2	6	0	1	4	34	14	5	9	1,231	
	男	2,398	2,320	1,092	201	1,293	924	103	1,027	48	35	13	4	6	19	5	96	44	29	15	2,538	
	女	(94.6)	(91.4)	(43.0)	(7.9)	(50.9)	(36.4)	(4.1)	(40.5)	(1.9)	(1.4)	(0.5)	(0.1)	(0.2)	(0.8)	(0.2)	(3.7)	(1.7)	(1.1)	(0.6)		
元	計	1,260	1,202	594	111	705	432	65	497	36	26	10	1	4	17	1	45	29	19	10	1,334	
	男	1,138	1,118	498	90	588	492	38	530	12	9	3	3	2	2	4	51	15	10	5	1,204	
	女																					
2	計	2,108	2,002	871	183	1,054	864	84	949	67	39	28	13	4	30	4	59	47	31	16	2,216	
	男	(95.1)	(95.0)	(41.3)	(8.7)	(50.0)	(41.0)	(4.0)	(45.0)	(3.2)	(1.9)	(1.3)	(0.6)	(0.2)	(1.4)	(0.2)	(2.8)	(2.2)	(1.5)	(0.8)		
	女	1,117	1,032	449	83	532	448	52	500	49	27	22	8	4	29	3	28	26	19	7	1,173	
3	計	991	970	422	100	522	416	32	949	18	12	6	5	0	1	1	31	21	12	9	1,043	
	男	1,983	1,886	830	195	1,025	802	59	861	67	32(私6)	28(私1)	10	10	18	8	63	52	30	22	2,098	
	女	(94.5)	(89.9)	(39.6)	(9.3)	(48.9)	(38.2)	(2.8)	(41.0)	(3.2)	(1.8)	(1.4)	(0.5)	(0.5)	(0.9)	(0.4)	(2.8)	(2.5)	(1.4)	(1.0)		
4	計	1,018	939	440	89	529	375	35	410	57	24(私6)	26(私1)	8	10	12	6	28	44	26	18	1,090	
	男	965	947	390	106	496	427	24	451	10	8	2	2	0	6	2	35	8	4	4	1,008	
	女																					
3	計	1,782	1,718	782	172	954	674	90	764	38	32(私2)	3(私1)	9	15	7	4	48	44	32	12	1,874	
	男	(95.1)	(91.7)	(41.7)	(9.2)	(50.9)	(36.0)	(4.8)	(40.8)	(2.0)	(1.7)	(0.2)	(0.5)	(0.8)	(0.4)	(0.2)	(2.6)	(2.3)	(1.7)	(0.6)		
	女	961	911	409	108	517	339	55	394	28	22(私2)	3(私1)	6	14	5	3	24	35	26	9	1,020	
4	計	821	807	373	64	437	335	35	370	10	10	0	3	1	2	1	24	9	6	3	854	
	男	1,882	1,813	798	234	1,032	699	82	781	32	26	6	1	9	22	6	63	30	11	20	1,976	
	女	(95.2)	(91.8)	(40.4)	(11.8)	(52.2)	(35.4)	(4.1)	(39.5)	(1.6)	(1.3)	(0.3)	(0.05)	(0.5)	(1.1)	(0.3)	(3.2)	(1.6)	(0.5)	(1.0)		
4	計	1,027	973	449	128	577	349	47	396	23	18	5	1	8	19	4	24	22	11	11	1,073	
	男	855	840	349	106	455	350	35	385	9	8	1	0	1	3	2	39	9	0	9	903	
	女																					

園児・児童・生徒、学級数

<平成5年5月1日現在>

上段5年度 () 学級数
下段4年度

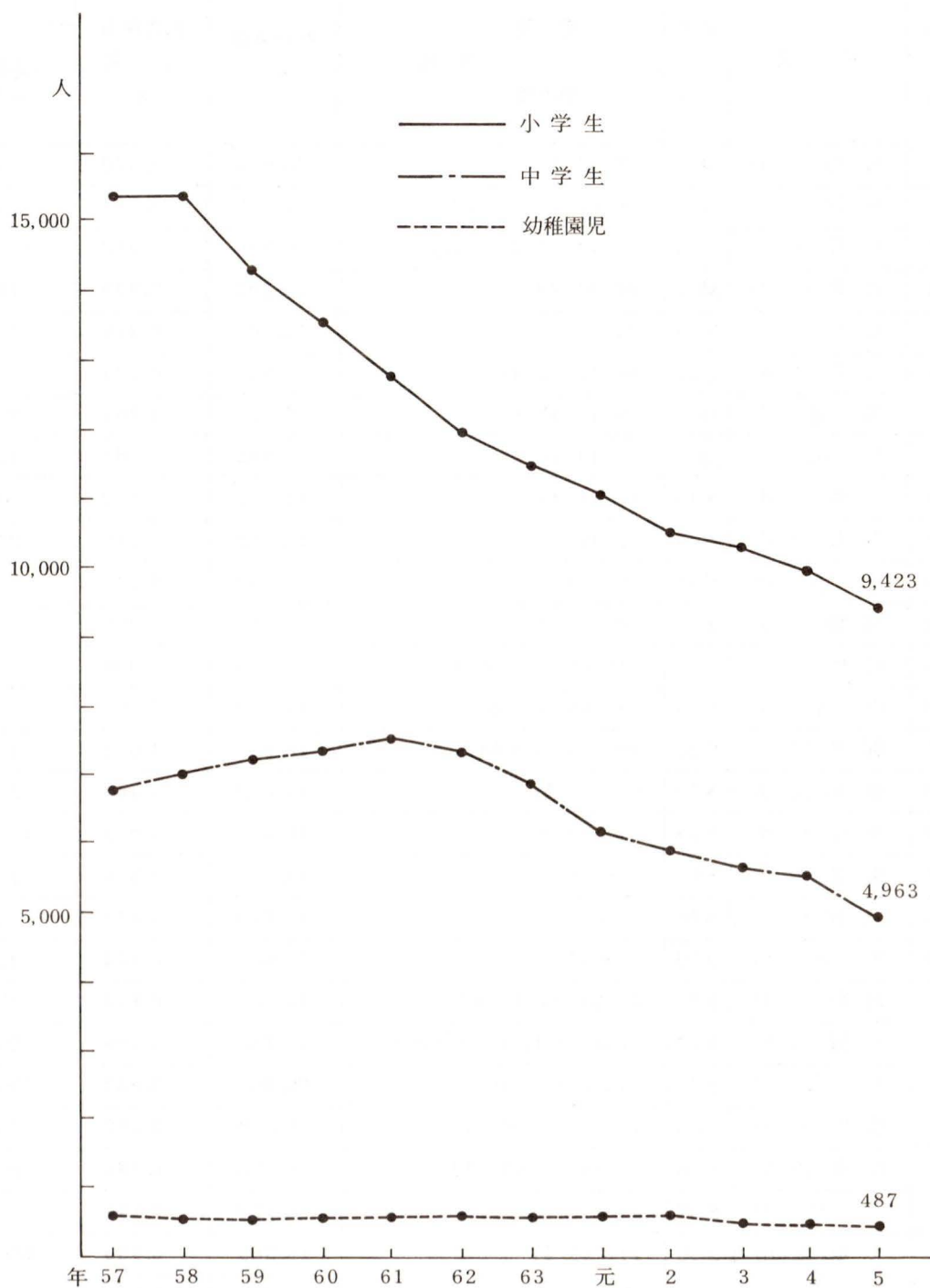
№	小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	心障
1	日野第一小学校	74(2) 80(2)	83(3) 72(2)	72(2) 74(2)	76(2) 80(2)	80(2) 80(2)	80(2) 89(3)	465 (13) 475 (13)	
2	日野第二小学校	82(3) 111(3)	114(3) 109(3)	102(3) 113(3)	116(3) 115(3)	110(3) 125(4)	121(4) 112(3)	645 (19) 685 (19)	
3	日野第三小学校	70(2) 74(2)	74(2) 76(2)	70(2) 73(2)	71(2) 75(2)	78(2) 101(3)	101(3) 91(3)	464 (13) 490 (14)	9 (2) 15 (3)
4	日野第四小学校	71(2) 75(2)	77(2) 73(2)	74(2) 74(2)	77(2) 78(2)	76(2) 104(3)	101(3) 93(3)	476 (13) 497 (14)	
5	日野第五小学校	109(3) 119(3)	117(3) 90(3)	84(3) 110(3)	109(3) 102(3)	96(3) 115(3)	114(3) 101(3)	629 (18) 637 (18)	4 (1) 2 (1)
6	日野第六小学校	94(3) 93(3)	86(3) 94(3)	90(3) 82(3)	83(3) 87(3)	83(3) 106(3)	99(3) 96(3)	535 (18) 558 (18)	
7	潤徳小学校	57(2) 54(2)	47(2) 61(2)	60(2) 42(2)	46(2) 63(2)	56(2) 45(2)	48(2) 58(2)	314 (12) 323 (12)	
8	平山小学校	65(2) 68(2)	65(2) 65(2)	67(2) 64(2)	61(2) 78(2)	76(2) 70(2)	70(2) 85(3)	404 (12) 430 (13)	
9	日野第八小学校	91(3) 90(3)	100(3) 100(3)	102(3) 100(3)	104(3) 117(3)	119(3) 92(3)	96(3) 101(3)	612 (18) 600 (18)	
10	百草台小学校	57(2) 70(2)	63(2) 77(2)	75(2) 85(3)	80(2) 70(2)	67(2) 83(3)	81(3) 77(2)	423 (13) 462 (14)	
11	滝合小学校	96(3) 104(3)	105(3) 95(3)	93(3) 111(3)	109(3) 109(3)	109(3) 102(3)	100(3) 109(3)	612 (18) 630 (18)	
12	高幡台小学校	60(2) 49(2)	46(2) 68(2)	66(2) 67(2)	63(2) 67(2)	63(2) 75(2)	73(2) 68(2)	371 (12) 394 (12)	
13	日野第七小学校	73(2) 108(3)	109(3) 97(3)	95(3) 103(3)	107(3) 118(3)	115(3) 110(3)	112(3) 89(3)	611 (17) 625 (18)	
14	南平小学校	72(2) 59(2)	57(2) 74(2)	72(2) 79(2)	78(2) 79(2)	75(2) 78(2)	74(2) 85(3)	428 (12) 454 (13)	
15	程久保小学校	42(2) 58(2)	63(2) 59(2)	64(2) 77(2)	80(3) 58(2)	60(2) 57(2)	61(2) 72(2)	370 (13) 381 (12)	
16	旭が丘小学校	139(4) 138(4)	130(4) 156(4)	141(4) 137(4)	129(4) 145(4)	140(4) 129(4)	121(4) 122(4)	800 (24) 827 (24)	
17	平山台小学校	23(1) 41(2)	42(2) 37(1)	42(2) 33(1)	35(1) 41(2)	40(1) 45(2)	46(2) 46(2)	228 (9) 243 (10)	9 (1) 11 (2)
18	東光寺小学校	61(2) 67(2)	69(2) 48(2)	47(2) 69(2)	70(2) 63(2)	63(2) 58(2)	58(2) 51(2)	368 (12) 356 (12)	
19	三沢台小学校	47(2) 41(2)	42(2) 50(2)	51(2) 51(2)	48(2) 70(2)	73(2) 60(2)	60(2) 56(2)	321 (12) 328 (12)	
20	仲田小学校	44(2) 43(2)	45(2) 57(2)	56(2) 55(2)	54(2) 66(2)	65(2) 61(2)	61(2) 47(2)	325 (12) 329 (12)	
計		1,427 (46) 1,542 (48)	1,534 (49) 1,558 (48)	1,523 (48) 1,599 (49)	1,596 (48) 1,681 (50)	1,644 (47) 1,696 (54)	1,677 (52) 1,648 (52)	9,401 (290) 9,724 (301)	22 (4) 28 (6)

№	中 学 校 名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	216 (6) 217 (6)	217 (6) 225 (6)	228 (6) 240 (6)	661 (18) 682 (18)	
2	日野第二中学校	190 (5) 211 (6)	209 (6) 196 (5)	195 (5) 259 (7)	594 (16) 666 (18)	
3	七 生 中 学 校	136 (4) 180 (5)	183 (5) 181 (5)	179 (5) 244 (7)	498 (14) 605 (17)	12 (3) 9 (2)
4	日野第三中学校	217 (6) 266 (7)	262 (7) 240 (6)	238 (6) 298 (8)	717 (19) 804 (21)	
5	日野第四中学校	229 (6) 255 (7)	256 (7) 271 (7)	257 (7) 265 (7)	742 (20) 791 (21)	
6	三 沢 中 学 校	187 (5) 194 (5)	192 (5) 202 (6)	202 (5) 246 (7)	581 (15) 642 (18)	
7	大 坂 上 中 学 校	183 (5) 214 (6)	215 (6) 244 (7)	244 (7) 240 (7)	642 (18) 698 (20)	11 (2) 11 (2)
8	平 山 中 学 校	151 (4) 173 (5)	175 (5) 180 (5)	179 (5) 178 (5)	505 (14) 531 (15)	
計		1,509 (41) 1,710 (47)	1,709 (47) 1,739 (47)	1,722 (46) 1,970 (54)	4,940 (134) 5,419 (148)	23 (5) 20 (4)

№	幼 稚 園 名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第 一 幼 稚 園	51 (2) 55 (2)	53 (2) 59 (2)	104 (4) 114 (4)
2	第 二 幼 稚 園	24 (1) 30 (1)	34 (2) 28 (2)	58 (3) 58 (3)
3	第 三 幼 稚 園	30 (1) 28 (1)	29 (2) 34 (2)	59 (3) 62 (3)
4	第 四 幼 稚 園	22 (1) 16 (1)	19 (1) 29 (1)	41 (2) 45 (2)
5	第 五 幼 稚 園	28 (1) 25 (1)	31 (1) 23 (1)	59 (2) 48 (2)
6	第 六 幼 稚 園	24 (1) 27 (1)	26 (1) 26 (1)	50 (2) 53 (2)
7	第 七 幼 稚 園	58 (2) 58 (2)	58 (2) 59 (2)	116 (4) 117 (4)
計		237 (9) 239 (9)	250 (11) 258 (11)	487 (20) 497 (20)

公立幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数の推移

(平成5年5月1日現在)



市 立 小 ・ 中 学

番 号	校 名	開校 年度	建 築 年 度 増改築	校地面積 ㎡	校舎保有 面 積 ㎡	普通教室 (保有)
1	日 野 一 小	M 6	37. 38. 39	20,947	4,370	21
2	日 野 二 小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11,640	4,705	24
3	日 野 三 小	S 23	41. 42. 47. 49~50	16,806	6,012	20(3)
4	日 野 四 小	M 6	40. 44. 49.	15,292	3,839	19
5	日 野 五 小	S 34	H 2	16,765	6,349	23
6	日 野 六 小	S 40	38. 40. 43. 48.	19,833	6,025	30
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15,376	4,784	26
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	15,845	4,388	22
9	日 野 八 小	S 44	44. 47. 49.	17,601	5,102	24
10	百 草 台 小	S 45	44. 48. 50	15,482	5,248	25
11	滝 合 小	S 46	45~46	20,458	5,544	26
12	高 幡 台 小	S 47	46. 48. 52	16,017	4,983	25
13	日 野 七 小	S 48	47~48. 52~53. 57	13,509	4,806	22
14	南 平 小	S 49	48~49. 53. 56	16,020	5,254	25
15	程 久 保 小	S 52	49~50. 50~51	16,988	4,092	17
16	旭 が 丘 小	S 52	51~52. 56	16,642	5,463	26
17	平 山 台 小	S 53	52~53. 54	18,536	4,939	18(2)
18	東 光 寺 小	S 54	53~54	19,586	4,356	18
19	三 沢 台 小	S 55	54~55	15,170	4,463	17
20	仲 田 小	S 59	58~59	15,660	3,434	12
1	日 野 一 中	S 22	37. 38. 40. 41. 50. 58	19,386	6,113	23
2	日 野 二 中	S 29	34. 35. 38. 41. 49~50. 60~61	21,150	6,596	25
3	七 生 中	S 22	36. 38. 44. 45. 50~51. 59~60	20,367	5,934	19(2)
4	日 野 三 中	S 45	45. 47. 49. 58~59	21,520	7,287	26
5	日 野 四 中	S 48	47. 49. 52. 61~62	18,955	6,486	25
6	三 沢 中	S 52	51~52. 58~59	23,623	7,147	25
7	大 坂 上 中	S 55	54~55. 57	19,389	6,630	23(3)
8	平 山 中	S 56	55~56. 3	18,200	5,991	20

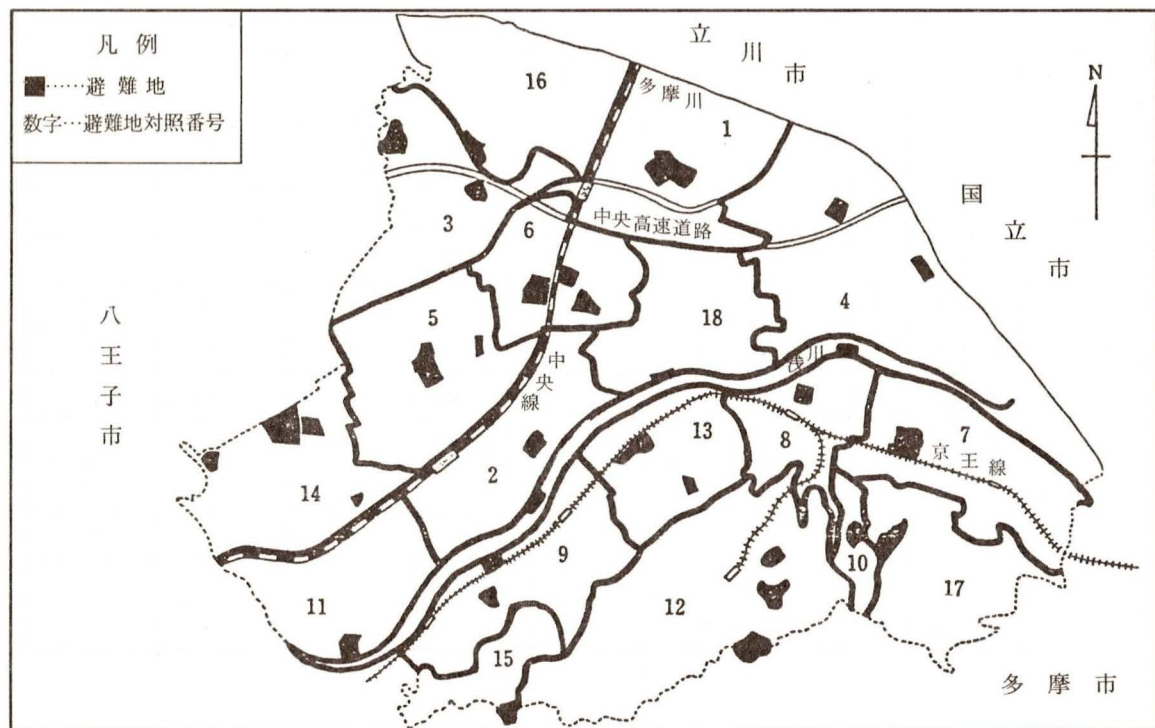
校 施 設 一 覧

平成 5 年 5 月 1 日現在

教室											体育館 ㎡	プー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 ㎡	学級数 ()心障学級
特 別 教 室														
理科	音楽	図工 美術	技術	家庭	視覚	図書	食堂	特別 活動	教育 相談	コン ピュ ータ 室				
1	2	2		1		1					760	大・小	179	13
1	2	1		1	1	1		1			761	〃	192	19
1	2	3		2	1	1		2			761	〃	144	13 (2)
1	1	1		1		1					765	〃	130	13
2	2	1		1		1					809	〃	349	18 (1)
1	1	1		1		1		1			795	〃	213	18
1	1	1		1		1					779	〃	191	12
1	1	1		1		1		1			545	〃	157	12
1	1	1		1		1					710	〃	231	18
1	1	1		1		1					752	〃	188	13
1	2	1		1		1					701	〃	256	18
1	1	1		1		1		1			714	〃	226	12
1	1	1		1		1					736	〃	219	17
1	1	2		1		1					734	〃	188	12
1	1	1		1		1					760	〃	216	13
1	1	1		1		1					760	〃	213	24
1	1	1		1		1		1			760	大・小2×5m	268	9 (1)
1	1	1		1		1					760	大・小	214	12
1	1	1		1		1					757	〃	215	12
1	1	1		1		1					760	〃	224	12
2	2	2	2	2		1	1		2	1	842	大	310	18
2	2	1	2	2		1	1			1	1,075	〃	290	16
2	2	2	2(1)	2(1)		1	1	1		1	765	〃	290	14 (3)
3	3	2	3	2		1	1			1	1,067	〃	435	19
2	2	2	2	2		1	1			1	1,136	〃	355	20
2	2	2	2	2		1	1			1	1,118	〃	293	15
2	2	1	2(1)	2(1)		1	1		1	1	1,118	〃	233	18 (2)
2	2	2	2	2		1	1	1	1	1	1,189	〃	197	14

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第1中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1.2.3.丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グランド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	日野総合グランド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井 石田、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平の一部、神明 上区画整理区域内	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 第三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢の 一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 徳小学校	11,000	高幡、新井の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平 4-3
電 話 0425-81-4124・4105
順 路 豊田駅より北へ徒歩約 10 分
園 児 数 男 61 名 女 43 名 計 104 名

園長氏名 槇 島 静 子

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置される。
4. 10 第 1 回入園式挙行（5 歳児・4 歳児含む 7 学級園児 280 名）
5. 30 園章制定
昭 41. 5. 25 開園記念日とする。
昭 43. 9. 6 プール工事（第 1 次）終了
12. 20 遊戯室増築工事完了
昭 44. 3. 10 プール工事（第 2 次）完了
昭 45. 7. 15 運動場拡張工事完了
昭 48. 3. 14 東京都交通安全教育園第 1 次研究発表会開催
10. 23 東京都交通安全教育園第 2 次研究発表会開催
昭 50. 3. 10 創立 10 周年記念研究発表会開催
園歌制定
10. 31 プールシャワー取付
12. 20 園舎（鉄筋・鉄骨）増改築工事完了
昭 51. 4. 1 4 歳児（2 年保育）募集中止
昭 57. 8. 31 運動場整備
昭 58. 9. 1 幼児教育センター開設に伴い、2 保育室提供
昭 60. 4. 10 4 歳児（2 年保育）募集再開、2 学級 60 名
12. 17 幼稚園外周緑化工事完了
11. 29 遊戯室の屋根改装工事完了
昭 62. 9. 15 玄関隣接の便所の改装（男女別大人用）工事完了
昭 63. 4. 1 1 学級減、4 学級となる
平 3. 4. 1 毎月第 2 土曜日週休となる
10. 31 隣接たまだいら保育園との通路工事完了、物置移設、温水シャワー設置
平 4. 3. 31 遊戯室内の改修工事完了
3. 31 幼児教育センター廃止
4. 1 毎月第 2 土曜日・第 4 土曜日が週休となる。
6. 10 プール改修工事完了

2. 歴代の園長

氏 名	
江 角 正 子	昭 40. 4. 1～昭 56. 3. 31
光 永 久 夫	昭 56. 4. 1～昭 57. 3. 31
田 中 光 一	昭 57. 4. 1～昭 60. 3. 31
上 山 洋一郎	昭 60. 4. 1～昭 62. 3. 31
高 橋 千鶴子	昭 62. 4. 1～平 3. 1. 9
三 上 道 子	平 3. 1. 10～平 5. 3. 31
槇 島 静 子	平 5. 4. 1～現在

3. 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調として生涯にわたる人間形成の基礎を培い、社会の変化に主体的に対応し、たくましく生きることができるよう、心身ともに健康で豊かな情操を育むとともに、創造性豊かな、幼児の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 明るく元気な子ども
- 仲良くあそべる子ども
- 思いやりのある子ども

4. 指導の重点

(1) 教育課程編成、実施にかかわる指導の重点

- 基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- 様々な生活体験を通して、ひとりひとりの子どもが「よく見たり、試したり、考えたりする意欲」や「自発的にとりくんだ事は、やりとげようとする強さ」を育てる。
- 園内・外の自然環境を利用し、情緒の安定を促したり、豊かな感性を育てる。

6. 本年度の研究主題

- 友だちの中で自己表現する力を育てる。
— 幼児たちが、とりくむあそびを中止に—

7. 本園の特色

- 隣接する「たまだいら保育園」との保育交流を密にして、地域の幼児教育という広い視点に立ち改善を図る。



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山 4-5-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 10 分
園 児 数 男 28 名 女 30 名 計 58 名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校校庭内に設置される。
4. 10 第 1 回入園式挙行 入園児 131 名
学級数 4、(一年保育 2 学級、二年
保育年少 2 学級)
5. 10 開園記念日と定める
5. 30 園章制定
- 昭 41. 4. 1 学級数 3、(二年保育年長 1 学級、
一年保育年長 1 学級 二年保育年
少 1 学級) 以後 3 学級運営
- 昭 46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表
を行う
- 昭 48. 4. 1 一年保育児で 3 学級の編成
- 昭 49. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究
発表会 (第一年次)
10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究
発表会 (第二年次)
12. 14 創立 10 周年記念式典開催
- 昭 55. 10. 18 都立教育研究所幼児教育研究室調
査協力のため幼児運動能力調査を
行う
- 昭 57. 4. 1 二年保育再開
- 昭 59. 8. 30 現在地に園舎防音改築工事が開始
される
- 昭 60. 4. 1 新園舎完成移転
- 平 4. 5. 屋上 プールサイドの塗装、及び人
工芝の張り替え

2. 歴代園長

氏 名	
後 藤 正 太	昭 40. 4 ~ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ~ 昭 47. 3
小 野 晃	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
深 澤 真 人	昭 51. 4 ~ 昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4 ~ 昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4 ~ 昭 61. 3
蓮 池 守 一	昭 61. 4 ~ 昭 62. 3
坂 口 嘉津子	昭 62. 4 ~ 平 元. 3
槇 島 静 子	平 元. 4 ~ 平 5. 3
平 向 邦 江	平 5. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

市の南西部に位置し、平山小学校に隣接している。南に多摩丘陵、北に浅川、西に八王子に囲まれた東西に長く起伏に富んだ地域である。近年団地や都営住宅の建設及び、農地、丘陵の宅地化が急速に進んでいる。園の周辺は道路や下水道の整備が行われつつあり、市街地の様相をみせている。

4. 教育目標

人間を尊重する精神を基礎におき、幼児、保護者の実情や地域の環境条件をふまえて、心身共に健康で豊かな心情をもち、主体的に生活しようとする幼児の育成を目指す。

- たくましい身体と心をもつ子ども
- 進んでとりくみやりぬく子ども
- 素直に表現する子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児一人一人の個性を生かしながら主体的に生きようとする幼児を育てる。

- 〈 4 歳児 〉 ○ 教師と幼児の信頼関係を築き安定した情緒で自己を十分に発揮し、心身の調和のとれた発達を促す。
- 基本的な生活習慣の習得や集団の中での望ましい態度を意識して行動できるようにする。
- 〈 5 歳児 〉 ○ 様々な活動、友達へ進んでかかわる中で相手を尊重する気持ちや思いやる態度、協力する姿勢を育てる。
- 自然等身近な環境へ興味・関心をもち、積極的に身体を動かしてルールのある運動的遊びや行事の中での経験を積み重ねる中で感じたことや考えたことを表現する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

- 日々の保育記録を通して幼児理解を深め、教師の援助のしかたについて研究を行う。

7. 本園の特色

- 平山城址公園や河原など、園周辺の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる野外活動を、多くとり入れている。

8. その他 (教職員の研究歴)

№	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1		平向邦江 (49 年)	平向邦江 (58 年)
2		井上宏子 (H 2 年)	井上宏子 (H 4 年)



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町 2-14-1
電 話 0425-81-7127
順 路 J R 日野駅下車 東へ 10 分
園 児 数 男 23 名 女 36 名 計 59 名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 41. 4. 11 日野市立第三幼稚園として日野
第一小学校内に設置
学級数 4、園児数 143 名
5. 4 開園記念日と定める
昭 42. 5. ブロック塀完成
11. 観察池設置
昭 46. 4. 市研究協力園
昭 47. 3. 屋外飼育舎新設
昭 51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備 10 周年記念研究発表
昭 53. 8. ホール、保育室床改装
昭 54. 8. 廊下床改装
昭 56. 3. 園歌制定
昭 56. 4. 2 年保育再開
昭 60. 8. 保育室内装
昭 63. 8. ホール屋根改装
平 2. 3. 正門扉改装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
吉 田 辰 次	昭 41. 4 ～ 昭 41. 5
永 野 林 弘	昭 41. 6 ～ 昭 42. 3
吉 田 辰 次	昭 42. 4 ～ 昭 44. 3
下 田 忍	昭 44. 4 ～ 昭 50. 3
溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ～ 昭 55. 3
村 田 安 正	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
古 谷 洋 太	昭 58. 4 ～ 昭 62. 3
平 向 邦 江	昭 62. 4 ～ 昭 63. 3
沖 山 英 代	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
山 本 智恵子	平 3. 4 ～ 平 5. 3. 31
坂 口 嘉津子	平 5. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。最近、宅地化が進み周囲の自然も失われ、こども達の遊び場は限られてきている。その反面、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

一人一人の個性を尊重し、心身共に健康で自主、自律の精神の育成を図り、人間形成の基礎を培うために

- 丈夫なからだで元気に遊ぶ子ども。
- よく考えて取り組み、自分から進んで行動できる子ども。
- 豊かな心を持ち、思いやりのある子ども。

5. 本年度の指導の重点

- 一人一人を的確にはあくし、実態に即した指導計画の作成評価、反省、改善をはかる
 - (1)基本的生活習慣を身につけ望ましい社会性の芽ばえを培う
 - (2)幼児一人一人が主体的に生活を展開することができる環境の工夫
 - (3)学校週5日制を考えた指導内容の工夫に努める

6. 本年度の研究主題

主体的に活動を展開する子どもを育てるために
— 環境を考える —

7. 本園の特色

- クラス同志や異年齢児が交流できる場を多く設け、互いに育ち合う機会をつくる。
- 自然環境を生かした園外保育や親子で共通体験できる活動を多く取り入れ、自然に親しませ、幼児期の経験を豊かにする。

8. その他教職員研究歴

内訳	研 究 員	開 発 委 員
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田 431-6
電 話 0425-83-3903
順 路 立川—高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 25 名 女 16 名 計 41 名

園長氏名 山 本 智恵子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学級数 2、園児数 41 名
10. 9 落成式挙行
11. 1 開園記念日と定める
昭 51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
昭 54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
昭 56. 9. 30 各保育室、教材整理棚完成
昭 57. 11. 11 創立 10 周年記念式典挙行
園歌制定
昭 60. 8. 31 職員室床木製改装完了
昭 62. 8. 26 廊下改修、屋根、外装塗装
平 2. 8. 30 各保育室床、遊戯室床、壁塗装
平 3. 8. 31 水道管のとりかえ工事
平 4. 11. 18 創立 20 周年記念式典

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
内 藤 達 夫	昭 48. 4. 1 ～ 昭 52. 3. 31
釜 池 博	昭 52. 4. 1 ～ 昭 57. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 57. 4. 1 ～ 昭 60. 3. 31
田 中 光 穂	昭 60. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
梶 村 和 子	昭 62. 4. 1 ～ 平 元 3. 31
上 野 美津枝	平 元 4. 1 ～ 平 5. 3. 31
山 本 智恵子	平 5. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野橋より東へ約 1km 入った多摩川の土手近くにあって、日野第四小学校に隣接している。田畑や梨園、農業用水路等自然環境にめぐまれているが、宅地化が進み、子どもの遊べる場所は少ない。

4. 教育目標

豊かな感性を培い、心身ともに健康な幼児の育成をめざす。

- 心の豊かな子ども
- 明るく元気な子ども
- 意欲的に取りくむ子ども

5. 本年度の指導の重点

- 地域の自然に親しむ機会をできるだけ多くもち、幼児自身が直接体験をし感動体験を積み重ねることにより感性豊かな子どもを育てる。
- 4 歳 ○ 楽しい園生活の中で、自分から進んで物事に取り組む子どもを育てる。
- 5 歳 ○ 自分の考えが言えると共に、相手の個性や能力を認め合う友達関係を育てる。

6. 本年度の研究主題

「身近な自然や動植物との触れ合いを通して豊かな感性を育てる」

7. 本園の特色

- 幼小の連携、異年齢との交流を密にし、互いに学び合うようにする。
- 自然環境を生かし、園外保育を通して、四季折々の動植物への関心と親しみを持たせ、自然の中で存分遊ぶようにする。
- ひまわり号の活用や、音楽などを積極的に取り入れ、教師と子どもが共感しあい、自己発揮できる環境の設定に配慮している。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	研 究 員	開発委員
1/6		
1		前川 恵子(5年)



園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢175
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ徒歩13分
園 児 数 男27名 女32名 計59名

園長氏名 酒 匂 瑠美子

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
学級数2、定員80名
教諭3名、用務員1名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数62名
11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学級数3、定員120名
- 昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
- 昭59. 2. 25 創立10周年記念式挙行
3. 31 プレハブ教室撤去
- 昭60. 4. 1 2年保育開始 学級数2
定員 70名
- 昭61. 3. 15 教材室増設
- 平 3. 10. 6 ホール屋根取替・トイレ改修
- 平 3. 4. 1 学級数2 定員65名
- 平 3. 8. 31 保育室流し台改修・ホール床改修
- 平 5. 1. 18 外灯設置、園舎職員室・保育室屋根改修

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭49. 4. 1～昭53. 3. 3
古 谷 洋 太	昭53. 4. 1～昭58. 3. 31
渋谷 義 一	昭58. 4. 1～昭61. 3. 31
櫻 田 鈴 子	昭61. 4. 1～平 3. 3. 31
高 野 英 男	平 3. 4. 1～平 3. 4. 30
酒 匂 瑠美子	平 3. 5. 1～現 在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は開発途上にあるがまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

心身共に健全で主体性を持ち、人間性豊かな子どもを育成するために、次の目標を設定する。

- 元気な子ども・健康で明るく意欲的な子ども
 - ・たくましい子ども
- やさしい子ども・思いやりをもって遊ぶ子ども
 - ・生命を大切にする子ども
- 考える子ども・よく見て、気づく子ども
 - ・自ら試し、工夫する子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児の実態を捉え発達段階に即した目標を設定し、次のことに留意して、学級経営を行う。

- 4歳児 ○友だちとかかわって遊ぶ楽しさや、満足感を味わわせ、自ら周りの環境に働いていく意欲を育てたり、周囲の人とかかわる力を養う。
- 幼児にふさわしい生活を展開しながら、幼児の心情を育て、一人一人の特性や能力を伸びやかに培う。
- 5歳児 ○幼児が互いを認め合い、互いに育ち合える望ましい人間関係を育む中から、幼児の友だち関係を深めさせ、社会性を身に付けさせていく。
- 自ら環境にかかわって活動を展開する中で、一人一人の幼児が目的や課題を持ち、健康で充実した生活を主体的に創り出せるようにする。

6. 本年度の研究主題

- 園内研究では『幼児理解と教師の援助の在り方』を中心に研究を進めていく。

7. 本園の特色

- 広い園庭を十分活用し、幼児にいろいろな体験を通して幅広い戸外活動を楽しませる。
- 園内外の施設や教材・環境を利用した遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを見つけ、互いに刺激し合い、育ち合える場とする。



園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保 876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
高幡台団地下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 31 名 女 19 名 計 50 名

園長氏名 高 野 真由美

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3. 19 園舎完成、鉄筋平屋建
4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数 2、定員 80 名
園長 1 名、教諭 3 名、用務員 1 名
4. 10 入園式挙行、園児数 73 名
5. 29 開園記念式典挙行
開園記念日とする
昭52. 5. 30 プール（ヤマハ・キューティメ
イト DX）設置
昭53. 3. 12 1 学級増設のためプレハブ教室
増設、学級数 3、定員 120 名
昭55. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
昭58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェン
ス防球ネット完成
昭60. 4. 1 2 年保育開始、定員 70 名、学級
数 2、4 歳児 30 名、5 歳児 40 名
11. 1 園歌制定
12. 14 創立 10 周年記念式挙行
昭61. 9. 10 園庭拡張、園舎外壁塗装
平 1. 8. 31 南側テラスに屋根をかける
平 3. 11. 15 教室、ホールのストープ改修
平 4. 8. 31 廊下床張り替え、門柱、防球ネ
ット設置、登り棒新設

2. 歴代園長

氏 名	年月 ～ 年月
手代木 和 夫	昭 51. 4. 1～昭 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1～昭 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1～昭 62. 3. 31
上 野 美津枝	昭 62. 4. 1～平成. 3. 31
坂 口 嘉津子	平成. 4. 1～平 5. 3. 31
高 野 真由美	平 5. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。

近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊

などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神に基づき、主体的に生きようとする心身共に健康で、感性に富み、人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- 思いやりのある子
- 自分で考え最後までやりぬく子
- 元気な身体で仲よく遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の特性を理解し一人一人の発達に応じ個性を大切にしたい指導を通して学ぶことの楽しさや成就感を体得させると共に感動のある体験活動を多く取り入れる。

4 歳児 ○基本的な生活習慣を身につけ、自分の力を発揮し友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

5 歳児 ○主体的に取り組む態度を身につけさせると共に相手の存在を認め互いに尊重しあう心を育て、友達と協調して遊びを進めることができるようにする。

- 身近な人に気持ち良く挨拶を交わすことから始め、人とかかわる力の育成に努める。
- 身近な自然や文化に触れ、地域に親しみ愛する心を育てる。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の個性を育て伸ばす指導の工夫」

7. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-86-3770
順 路 J R 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
園 児 数 男 64 名 女 52 名 計 116 名

園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭 59. 10. 6 園舎新築工事起工
昭 60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2 階建
学級数 2 定員 70 名
教職員 3 名 園地面積 2599 m²
昭 60. 4. 10 第 1 回入園式挙行園児数 49 名
昭 60. 6. 30 開園記念日とする
昭 62. 4. 1 4 歳児 1 クラス増、定員 100 名
(年少 2、年長 1)
昭 63. 3. 11 園舎増築工事完成
昭 63. 4. 11 学級数 4 (4 歳児 2、5 歳児 2)
定員 140 名
平 2. 2. 20 園歌制定

2. 歴代園長

氏 名	年月 ～ 年月
石 井 三 士	昭 60. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
沖 山 英 代	昭 62. 4. 1 ～ 昭 63. 3. 31
平 向 邦 江	昭 63. 4. 1 ～ 平 5. 3. 31
上 野 美津枝	平 5. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区である。職住接近による住宅公団や社宅により、若年層の人口が増加している。周辺道路の交通量は多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。大学、中学校、保育園、児童館、障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

一人一人の個性を尊重し、幼児が主体的に生活する意欲をもち、人間性豊かで、未来にたくましく生きようとする幼児の育成を図るために。

- 明るく元気で、がんばる子ども
- よく見よく聞きよく考える子ども
- 心のやさしい素直な子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児一人一人の情緒の安定を図り、人に対する信頼感、活動に対する期待感をもつようにし、教師や友達との人間関係を深め、相手の気持を考えた言動が身につくよう指導する。
- 幼児自ら進んで活動にとりくむと共に、活動が充実、発展するように指導内容や、環境構成の工夫を図る。

6. 本年度の研究主題

「自ら遊びを作り出していく幼児を育てる指導の工夫」

7. 本園の特色

- 通園区域は広く、住居は、高層住宅、社宅等が多い。
「自ら進んで環境にかかわり、生き生きと活動する幼児を育てる」ことを、今年度の重点としている。
- 幼児が園・家庭・地域の中で連続した生活を営めるように園の行事や地域の催しを通して保護者や地域との連携を深めている。
- 園内の施設や身近な教材・教具を使った遊びを多くとり入れ、友達と遊びを創り出していく喜びを味わわせる。
- 飼育物の世話や菜園、園庭の花壇の栽培による直接体験を通して情操豊かな心を育てている。なお菜園では、年間を通して、多種多様の草花や野菜の種播から収穫まで連続して体験学習を行ったり、虫とり、草摘み、霜柱踏み等、園庭で経験できない四季折々の遊びに親しんでいる。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	上 野 美津枝	上 野 美津枝
2		渡 辺 明 子



学 校 名 日野市立日野第一小学校
所 在 地 日野市日野本町 2-14-1
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分
児 童 数 男 231 名 女 234 名 計 465 名

校長氏名 岩 下 和 夫

教頭氏名 木 内 秀 雄

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。
第一大学区第八中学区第五十四
番小学日野学校と称す。（現在
の中央公民館のとなり。）
- 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、
校地拡張
- 昭 11. 4. 29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）
- 昭 15. 日野 2800 番地（現在地）に土
地 900 余坪、新校舎建築開始。
（戦時中、軍徴用）
- 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教
育課程の研究発表
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8. 22 80 周年記念プール竣工
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日
野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育
環境の整備」を主題として研究
発足
8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼
講堂として移管
- 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育
環境の整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置
5 月 17 日開校
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開
始 校庭南側一部縮小
- 昭 48. 11. 創立百周年記念祭
- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
- 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭 58. 11. 開校 110 周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去

- 昭 60. 3. 体育倉庫新設
- 昭 60. 11. 南・北側ブロックべい撤去、植
込とする
- 昭 62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり
推進校」として公開発表
- 平元. 8. 校庭整備工事
- 平元. 11. 校舎建具等改修、建築工事
- 平元. 11. 温度保持設備工事新設
- 平 2. 8. 放送室改修工事
- 平 3. 1. 日野市研究協力校として「一人
一人の読みの力を育てるための
指導法の工夫」を副主題として
研究発表
- 平 3. 8. 校庭改修
給食配膳室扉改修
職員玄関前排水管改修

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	日野 義順	明 6. 5 ～ 明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7 ～ 明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4 ～ 明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4 ～ 明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9 ～ 明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4 ～ 明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5 ～ 明 21. 10
8	佐野 鶴松	明 21. 11 ～ 大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4 ～ 大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2 ～ 大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4 ～ 昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2 ～ 昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4 ～ 昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9 ～ 昭 34. 3
15	尾崎半次郎	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
16	五十嵐 光	昭 37. 4 ～ 昭 38. 3

	氏 名	年 月 ～ 年 月
17	木村 清	昭 38. 4 ～ 昭 41. 3
18	吉田 辰次	昭 41. 4 ～ 昭 44. 3
19	下田 忍	昭 44. 4 ～ 昭 50. 3
20	溝呂木桂次	昭 50. 4 ～ 昭 55. 3
21	村田 安正	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
22	古谷 洋太	昭 58. 4 ～ 昭 62. 3
23	山口 武彦	昭 62. 4 ～ 平 4. 3
24	岩下 和夫	平 4. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は東京都および日野市の教育目標を受け、地域社会の実態に即し自主的に人格の完成につとめる児童の育成、生涯を通じて学び続ける力を持った児童の育成をめざし、次のことを中心に展開する。

① 科学性を身につける子ども

事実を正しく見る力を養い、正しい判断力・順序だった思考力を伸ばして基礎的学習の充実を図る。

② 豊かな心情を持った子ども

真・善・美に対する感受性を養うとともに、自然の動物愛護、他人に対する思いやりの心を育てる。

③ 強い意志を育てる子ども

目標に向かって最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない気持ちを育成する。

④ じょうぶな体をつくる子ども

節度のある生活態度を身につけ、継続して体力の向上増進を育成する。

上記の中から、今年度の重点目標を②の「豊かな心情を持った子ども」に設定する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

生涯にわたって主体的に学び続ける意欲や能力・態度の基礎基本を身につける。また、児童の心を揺さぶる魅力的な授業の創造に努める。そのため、

- 指導内容の重点化を図り、体験を通して考える・調べる・確かめる等の時間を十分にとり、考える力・問題解決の力・情報活用能力・表現力・創造性の育成を図る。
- 教科間・学年間の関連を十分に図り、効率よい効果的な指導に努める。
- 教材・教具を整備活用し、児童の学習意欲の喚起を図るとともに、学習活動を工夫し、児童が成就感・満足感を持つ授業の創造に努める。

イ. 道徳

社会規範・生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り、道徳的实践力を高める。そのため、

- 道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導をする。
- 全教育活動を通じて、自然環境の大切さ、生命尊重・他を思いやる心・基本的生活習慣の定着を重視した指導を推進する。

ウ. 特別活動

児童の協同・協力活動を通して、助け合い・学び合う心を育てる。また、児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性・国際性を培う。そのため、

- 児童の主体的・体験的活動を促し、望ましい集団活動を行う中で一小児童としての連帯感や好ましい人間関係・豊かな人間関係を育て、地域社会でも望ましい生き方ができるように指導する。
- 多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、よい面を伸ばすように指導する。
- 勤労生産・奉仕活動を通して、友達や地域社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) その他の活動

- ア. 学校裁量の時間を通して個別指導の充実・学級係活動の充実を図り、児童一人一人が学校生活を円滑にゆとりと充実をもって送れるよう指導する。
- イ. 水泳初心者指導の期間を設け、水泳に関する個別指導を行い、児童の泳力や気力の向上を図る。
- ウ. ふれあいタイムを設定し、教師が児童とともに遊ぶ中で、児童理解を深める。
- エ. 教師の読み聞かせ・すこやかカード・栽培活動を通して、心と体の健康づくりに努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで、「五つの約束」を重点とし、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 校内の教育相談を通して、児童の不安や悩みを聞き、学校生活への適応・学習への適応を図り、明るく楽しい学校生活が送れるように指導する。
- ③ 学校週五日制に伴う休日の過ごし方について、学校と家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

イ. 進路指導

児童一人一人の個性・能力の開発・伸長をめざす。そのため、児童のよい面の発見に努め、認め・誉め或いは児童のもつ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。一人一人の児童がめあてをもって生きる指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

一人一人の児童が自ら意欲的に学ぶための指導法の研究をする。そのために本年度は、指導計画の作成と、新しい学習教材でどのような力をつけるか、指導法の工夫を図っていく。新教育課程全面実施に向けての新しい研究分野であるので、2～3年の見通しを持たせる。また集団の中での個に応ずる指導も明らかにしていく。

7. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	中央研	研究員	開発委員	研究生、他
1	志賀 由具(平成4)	岩下 和夫 49 (体育)	岩下 和夫 52 (体育・現代化)	和田いさを 53 (研究生、教育方法)
2		志賀 由具 59 (体育)	志賀 由具 59 (体育)	長谷川一彦 平成3 (研究生、道徳)
3		佐藤ヒサ子 60 (保健)		
4		飯田 国代 60 (特別活動)		
5		長谷川一彦 63 (道徳)		
6		寺木 喜和 平成3 (社会)		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 小 学 校
所 在 地 日 野 市 東 豊 田 2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851 FAX 0425-81-0851
順 路 J R 豊 田 駅 南 口 下 車 徒 歩 10 分
京 王 線 南 平 駅 下 車 徒 歩 15 分
児 童 数 男 344 名 女 301 名 計 645 名

校長氏名 馬 場 武 教頭氏名 太 田 由紀夫

1. 沿革の概要

- 明 7. 3. 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分ける。
- 明 12. 2. 豊田 1320 番地、善生寺の西隣に新校舎建築
- 明 26. 4. 東京府に編入される
- 明 41. 3. 日野小学校豊田分教場となる
- 昭 17. 豊田 218 番地に新校舎建築、平屋建 6 教室
- 昭 21. 6. 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭 27. 12. 第 1 次増築、2 階建 8 教室、日野町立日野第二小学校と校名変更
- 昭 31. 4. 第 2 次増築、2 階建 6 教室
- 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭 43. 6. 第 1 次防音、4 階建校舎完成
- 昭 44. 3. 第 2 次防音、4 階建校舎完成
- 昭 46. 2. 体育館工事、落成
- 昭 49. 3. 第 3 次防音、4 階建校舎完成
11. 創立百周年記念式典を行う
- 昭 55. 3. 1 階建校舎完成
- 昭 56. 5. 新プール完成
9. 校庭整備完成
- 昭 57. 8. 普通教室内部塗装完了
- 昭 58. 12 校庭歩道完成
- 昭 59. 6. 創立百十周年記念式典を行う
- 昭 63. 8. 体育館改装
- 平 元. 8. 高置水槽取替
- 平 2. 8. 校舎大規模改修完了
- 平 3. 9. 給食室・床(4階)天井(3階)改修完了

- 平 5. 2 ランチルーム完成
- 平 5. 2 生活科広場完成
- 平 5. 3 第二校庭用地借上げ決定

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ～ 27. 9
増 島 光 一	昭 27. 10 ～ 34. 3
小 池 嘉 一	昭 34. 4 ～ 38. 3
森久保 惣 次	昭 38. 4 ～ 42. 3
後 藤 正 太	昭 42. 4 ～ 47. 3
安 積 利 治	昭 47. 4 ～ 50. 3
永 井 雅 夫	昭 50. 4 ～ 53. 3
鈴 木 英 夫	昭 53. 4 ～ 57. 6
篠 宮 忠 男	昭 57. 7 ～ 61. 3
荒 木 健 治	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
馬 場 武	平成元. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であったが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が激減している。しかし、学区内の至る所に湧水があり、サワガニやカワニナが生息す自然環境が残されている。また屋上から見る浅川と多摩丘陵の景観は見事である。
- 保護者や地域の方々は、教育に対する関心が深く協力的である。登校時の交通安全指導や各種のサークル活動に積極的に参加し、校庭体育館、校舎を活用している。
- 学校前の都道をはじめとして、学区内の道路はどこも道幅がせまく歩道もない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。
- 現在、豊田南及び東豊田土地区画整理事業が進行し、通学路の変更が度重なっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚を高め国際社会に奉仕できる心身共に豊かな子どもの育成を目指して次の目標を定める。

- からだも心も強く明るい子
- みんなと仲よく力を合わせられる子
- ◎ よく考え、進んで行動する子（重点目標）
- 責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

知・徳・体の調和がとれ社会の変化に自ら対応できる児童の育成を目指し、全職員の共通理解を大切にし意図的・計画的・継続的・組織的に教育活動を進める。

そこで、次のことを基本方針とする。

- ① 児童一人一人を大切にし個性・能力を生かした指導に努める。
- ② 教育活動の全体を通して心の陶冶を図り人権感覚を育て高めると共に実践的行動力を培う。
- ③ 体験的な活動を重視し児童の意欲を高め自ら学ぶ能力を培い基礎的・基本的事項が定着するように努める。
- ④ 授業研究を重視し児童一人一人を生かした指導法の改善に努める。
- ⑤ 基本的な行動様式に対して、職員が共通理解し、組織的に生活規範の高揚と自立を促す指導の徹底を図る。
- ⑥ 自己の住む地域の自然や社会への理解を深め愛着の心を培うため、地域の教材を取り入れた教育活動を充実させるとともに、家庭、地域社会との連携を基盤においた指導、徹底を図る。
- ⑦ 地域の環境に関心を持たせ、自然をいつくしみ、環境を大切にする心を育て、保全のための態度、技能を育てる。
- ⑧ 児童の自主性を育てると共に、楽しく充実した学校生活の創造のために、児童の内発的な意欲、興味・関心を引き出し、援助していく。
- ⑨ 教育活動全体を通して我が国の文化や伝統を大切にする態度を養うと共に、外国の文化に目を向けさせその立場を理解できるようにする。
- ⑩ 心身に障害のある児童などについては児童の実態に応じた指導を行う。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力・態度の基礎を身に付けさせる。そのため、

- 指導内容の重点化、体験を通じた活動、考える時間の確保などの工夫により思考力・表現力・創造力・問題解決能力・情報活用能力を育てる。
- 児童一人一人に学習のめあてを明確に自覚させると共に教材・教具の整備活用、主体的学習の重視などにより児童の学習意欲を喚起し、成就感・満足感を持たせる授業の創造を目指す。

イ. 道徳

全体計画のもと全教育活動を通して4つの側面について下記の事項を重点として指導すると共に、道徳の時間を通して児童の道徳的判断力を高め、道徳の実践力を育てる。

- 自分自身……………自分の生活を振り返り良く考えて行動する。
- 他人……………誰に対しても思いやりの気持ちを持つ。
- 自然や崇高なもの……………自他の生命を大切にする。
- 集団・社会……………規則・きまりの大切さを知り規範意識を高める。

ウ. 特別活動

望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図ると共に、協力してより

良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。そのため、

- 学級活動の指導の工夫を図る。
- 児童の自主的な取り組みが盛り上がる活動を行う。
- 学級・学年の枠にとられない異学年集団の活動を行う。

(2) 特色ある教育活動

- 各種の運動や遊びなどを通して自ら健康づくりに励む児童の育成を図る。
- 体験的な活動を重視し、地域の自然や社会を教材化したり、地域の人材を活用するなど地域で学ぶ教育を定める。
- 家庭や地域社会と連携し、地域の環境美化など地域に密着した活動を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全職員の共通理解に努め組織的に基本的生活習慣の定着を推進すると共に家庭・地域社会および保育園・幼稚園・中学校等との連携を図り児童の健全育成を進める。
- 日常生活の中でよく考えて正しく判断し行動できる児童の育成を図る。
- 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。

イ. 進路指導

児童一人一人の個性・能力の開発・伸長を目指す。そのため、児童の良い面の発展に努め、認め誉めるあるいは児童の持つ悩みや願いの相談にのり励まし力づける等なより、自分の良さを児童に自覚させ一人一人の児童がめあてを持って生きる指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

自ら学ぶ力を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

本校は創立119年という歴史と伝統のある学校である。59年度は創立110周年記念式典および、その思い出をつくる活動として「米づくり」「いもづくり」の体験学習を地域の人々の協力で行なった。この中で児童は、生産にまつわる苦労や収穫の喜びを得ることができ、この具体的な体験を知識獲得の原点として学ぶ姿勢を身につけてきた。学校が、子どものために努力すれば、それに対し、全面理解と協力を図ってくれる地域である。先年度末には、地域の働きかけも実って、第二校庭の土地借り上げが成就し、将来の校庭整備、拡充へ道が開かれた。

これら、地域の協力を踏まえ、地域の教育力を更に高めるため社会人講師として人材の発掘、活用を図ったり、自然や文化財の教材化を進めている。そして、より児童の思考力を高めるために、これらの教材の活用を児童自身の主体的活動の場で、生かす工夫を続けている。本年も「自ら学ぶ力を育てる指導法の研究」を主題として、地域教材を生かす方法を研究していく。

今年度は、校内研究の一環に市のグループ奨励を取り入れ、より研究を深めていく。また、来年度の120周年を控え、学校とPTA、地域との関係を一層大切にしたい諸活動を展開していくことになっている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研究員	現代化委員・開発委員	研究生・海外研
1	馬場 武（48 理科）	馬場 武（50 理科）	馬場 武（54 ヨーロッパ）
2	高木 映子（50 教育方法）		太田由紀夫（2 ヨーロッパ）
3	太田由紀夫（63 理科）		
4	榎 圭子（4 学校給食）		
5	平島 孝夫（2 算数）		



学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 在 地 日野市日野台 2-1-1
電 話 0425-81-0101・0850
児 童 数 男 243 名 女 228 名 計 473 名
(内 ひ ば り 9 名)

校長氏名 増 賀 従 男

教頭氏名 江 口 耕 一

1. 沿革の概要

昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童 1～3 年 340 名、教室 4、全学年 2 部授業
昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する児童数 696 名、教室 9、4 年生迄 2 部授業
7. 18 校章制定
9. 19 4 教室増築、教室数 13、3 年まで 2 部授業
昭 27. 4. 15 4 教室増築、教室数 17、2 年まで 2 部授業
6. 10 校歌制定
昭 28. 6. 10 校地 850 坪拡張、6 教室増築、教室数 23、2 部授業を解消
昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
昭 32. 3. 4 旧教室 4 を取除き 6 教室を増築教室数 25、児童数 869 名
昭 33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成
昭 34. 3. 校地 1,100 坪拡張
昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される
昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更
昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台 2 丁目 1 番地 1 号
昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎 9 教室増築落成
昭 50. 2. 25 鉄筋新校舎竣工
6. 1 校旗制定
昭 54. 4. 1 東光寺小と分離
昭 58. 4. 2 ひばり学級教室増設
昭 58. 4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
昭 59. 3. 10 藤だな改修
3. 25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージホリゾン幕改修
8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修
12. 20 南校舎非常階段手すり改修
昭 60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整

備・プール内シート防水・排水バルブ改修・消防水利設備
裏門拡張・門扉改修
昭 61. 3. 31 道路側防球ネット生垣完成
8. 31 体育館内部塗装
10. 31 北校舎屋上改修
昭 62. 7. 7 プール更衣室等照明取付
8. 31 ひばり教室改装
9. 8 体育館外部塗装
昭 63. 1. 20 体育館屋根塗装・北校舎外壁修理
8. 20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理
8. 31 屋外幹線改修・校庭整備
平元. 3. 31 プールフェンス・プールサイド改修
平 2. 8. 21 南校舎玄関塗装
平 2. 8. 30 理科室床研磨、実験机交換
平 3. 9. 30 北校舎改修(1 年次)
平 3. 9. 30 ランチルーム開設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 野 忠 正 (事 務 取 扱)	昭 25. 6. 10 ～ 26. 3. 12
高 野 忠 正 (校 長)	昭 26. 3. 13 ～ 27. 9. 30
尾 崎 半 次 郎	昭 27. 10. 1 ～ 34. 3. 31
五十嵐 葆 光	昭 34. 4. 1 ～ 37. 3. 31
塚 本 正	昭 37. 4. 1 ～ 41. 3. 31
池 田 瑞 男	昭 41. 4. 1 ～ 47. 3. 31
岩 井 庄 三	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
平 松 健 太 郎	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 54. 4. 1 ～ 57. 3. 31
古 田 耿 介	昭 57. 4. 1 ～ 62. 3. 31
内 藤 康	昭 62. 4. 1 ～ 平 2. 3. 31
増 賀 従 男	平 2. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 80 m の日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区域）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法及び教育基本法に基づき民主的社會人としての人間形成の基礎づくりをめざし次の目標を定める。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の教育の立場にたち、心身ともに健康で心豊かな人間の形成の基礎づくりをめざす。

特に「よく考える子ども」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を基盤にすえ、授業の改善充実が心がけるとともに調和のとれた教育活動を推進する。

○ 具体的な学年学級目標を設定し、その具現化をめざし学年学級経営に創意と工夫を生かし、一層の充実をはかる。

○ 子ども達一人一人の個性能力をひき出し、生涯学習の視点に立った学び方を学ぶ学習指導を推進する。

○ 創意ある教育活動を展開し、地域の教育力、教材を生かした指導内容、体験学習の充実をめざす。

○ 生命を大切にする子供の育成をめざし、心身障害児とともに手を取り合って活動する機会を設定し、思いやりの心の育成を図る。

○ 健康づくりと体力の向上を年間を通して計画的意図的に実践し、たくましい子どもの育成に努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○ 教材教具を工夫し、課題をねばり強く追求させる学習指導を推進し、基礎的基本的学習事項の定着をめざした指導の充実をはかる。

○ 体験的学習を通し気づかせ発見させる学習を推進し、学習を意欲的にし、思考力、判断力を培う。

○ 達成感、成就感のある授業を確立し、意欲的に学び方を学ぶ態度の育成を図る。

○ 個人差を的確にとらえて、学習形態や学習過程を工夫し、学習効果を高める学習方法を工夫する。

イ. 道徳

○ 子どもがすすんでやりぬく道徳的实践力の育成をめざし、全教育活動における道徳教育の充実を図る。特に心障児との交流、全校菊づくり、特別活動を通して人間愛自然愛を培い豊かな心を育てる。

○ 道徳の授業の改善を図り、各教育活動で培われた道徳的实践力の深化、補完、統合を図る。

ウ．特別活動

- 子どもの自主的实践力と連帯感を培うことをめざし、集団活動を充実する指導を行う。
- 集団活動を通して、集団の成員としての自覚を高め共に向上していく気持ちを高める。
- 所属する集団を自主的に建設しようとする態度能力を高めるとともに、他者にない自分を自覚し、個性的な実践力を高める。

(2) その他の活動

- 遊びの時間を設定、いきいきとした楽しい教育の場とし、体力の向上をめざす。
- 火曜日六校時を児童会活動の日と設定、集団活動を通して心身の調和のとれた発達を図る。
- 学年の日を有効に使用した学年経営の充実をはかり、個別指導の徹底をはかる。
- 心身障害学級と普通学級との教師相互児童相互の交流の場を積極的に設け、障害を持つ児童に対する理解を深めるとともに連帯感の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

- 心身ともに健全な子どもの育成をめざし、指導体制を整え、全職員の組織を通じた指導を徹底する。
- 児童理解につとめ心のふれあいを大切にする指導を充実する。
- 父母、地域との連携を深め、協力補完しあって指導にあたり、児童の健全育成を図る。
- 社会に多様な生き方があることに気づかせるとともに、児童一人一人の良さを発見し、その良さを将来にわたって生かすことのすばらしさに気づかせ、社会人となるための基礎となる力を育てる。

6. 本年度の研究主題

児童に考える力をつけるための指導の工夫

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。

校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童に考える力をつける授業研究を実施している。また、心障学級（ひばり学級）があり、交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 生	研 究 員	開 発 委 員	中 央 研	海 外 派 遣
1		増加 従男 56 （国語）			
2		江口 耕一 53 （特活）			
3		椿坂 俊夫 63 （心障教育）			
4		前田佐和子 平5 （国語）			



学 校 名	日野市立日野第四小学校
所 在 地	日野市石田 430
電 話	0425-81-0038・3076
順 路	日野駅から立川行バス南詰下車徒歩 7 分 立川駅北口から高幡不動駅行バス四小前 下車 徒歩 3 分 京王線高幡不動駅から立川北口行バス四小前 下車 徒歩 3 分
児 童 数	男 245 名 女 231 名 計 476 名

校長氏名 片 岡 千壽子

教頭氏名 畑 野 元 一

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎
 明 11. 9. 下田小学校
 明 41. 3. 日野小学校下田分教場
 昭 29. 8. 18 校地決定 4,259.14 坪
 昭 30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日を
 開校記念日とする
 12. 22 校章制定
 12. 25 第二期校舎竣工
 昭 31. 3. 5 校旗完成
 昭 35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
 昭 36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
 記念日とする。
 昭 40. 3. 31 防音校舎 9 教室完成
 昭 41. 3. 31 防音校舎第 2 期工事完了
 昭 43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究
 発表会をする（都、市指定校）
 昭 45. 3. 31 体育館落成
 防音校舎 7 教室増築完成
 昭 48. 5. 22 開校百周年記念式典
 昭 54. 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修
 3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備
 6. 22 プールサイド全面 コンクリート塗装工事
 昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
 事
 6. 20 プール内塗装工事
 昭 56. 8. 25 新校舎への親子方式 TV 配線、
 放送室内のスタジオ形式の改装
 昭 56. 8. 27 屋上高置水槽改造
 8. 30 都市ガス化にともなう配管取替
 昭 57. 3. 27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替

昭 57. 4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等
 の改修
 9. 4 非常階段設置
 昭 58. 3. 27 自転車置場設置
 10. 31 開校百周年記念式典
 昭 59. 3. 31 仲田小学校分離 141 名転出
 9. 28 校庭の体育倉庫新設
 昭 60. 8. 31 校舎棟工事（窓枠・天井張替等）
 給食室改修工事
 昭 61. 2. 28 体育館玄関・天井・屋上修理
 校庭東側フェンス張替工事
 8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工
 事
 昭 62. 2. 23 プールシャワー、目洗い場等工事
 昭 63. 3. 27 プール内塗装工事
 昭 63. 7. 31 小プール排水工事完了
 8. アスベスト撤去工事
 8. 3 集水桝工事完了
 8. 8 放送室調整卓取替工事
 平元・ 8. 31 校庭改修工事
 校舎外塗装工事
 1・2 階トイレ扉取替工事
 平 2. 3. 17 体育館自動巻き上げバスケット
 取り付け工事
 平 2. 7. ～ 10. 体育館内外壁・床工事
 平 2. 8. 31 1 階職員・3 階トイレ扉取替工事
 平 2. 9. ～ 10. 消火栓ポンプ取替工事
 平 3. 3. 1 保健室エアコン設置工事
 平 3. 3. 17 体育館消火栓工事
 平 4. 8 パソコン設置
 平 4. 8 造形砂場設営工事

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月		氏 名	年 月 ～ 年 月
1	浦 上 増太郎	昭 30. 3. 29 ～ 36. 3. 31	6	竹 永 秀 雄	昭 57. 4. 1 ～ 60. 3. 31
2	田 中 善 次	昭 36. 4. 1 ～ 44. 3. 31	7	田 中 光 穂	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3. 31
3	森 蔽	昭 44. 4. 1 ～ 47. 3. 31	8	波多野 坦	昭 63. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
4	内 藤 達 夫	昭 47. 4. 1 ～ 52. 3. 31	9	片 岡 千壽子	平 3. 4. 1 ～
5	釜 池 博	昭 52. 4. 1 ～ 57. 3. 31			

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯 9 地区である。甲州街道から約 1 km 南にへだたった多摩川あたりに位置する。近年、万願荘の集団住宅をはじめ、万願寺、新井地区の区画整理・宅地造成化がすすめられ、田園地域より住宅化しつつある。また、モノレールの工事も着々と進んでいる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたる学習の基礎を培い社会の変化に自ら対応できる心豊かな児童の育成をめざして、次の目標を定める。

- ◎ 自分の力で考える子（重点目標） ○ みんなと協力する子
- じょうぶな体をつくる子 ○ 最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

21 世紀を生き抜く子どもを育てる立場から、何事にもやる気をもって取り組み、学ぶ力を身につけた個性豊かな児童の育成をねらって「自分で考える子」を重点目標とする。

- ・教育目標を学年学級で具現化し、日常の実践活動を通して人間尊重の教育の徹底を図り、人としての生き方を学ばせる。
- ・児童の自ら学ぶ意欲を育てるために新しい学力観に立った授業の工夫・改善と、児童の自主的創造的な学習態度の育成につとめる。
- ・生命を大切に児童の育成をめざし、特別活動を中心に児童の活動の場を確保し、児童の活動体験、感動体験の充実を図り、国際社会に貢献できる日本人としての素地を養う。
- ・周年行事、ボランティア活動（奉仕活動）の実体験をさせ、社会性や思いやりの心を育てる。
- ・教育活動全般を通して健康安全について理解を深め、生涯にわたって体力の維持、向上を図る能力や態度を育成する。
- ・開かれた学校をめざして児童、教師、保護者、地域の交流と連携を密にして学校の教育目標に対する理解と協力を得て全人的な児童の育成をめざす。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア、各教科

- ・指導内容の重点化、体験活動を重視し、思考力・表現力・創造力を育てるために児童一人ひとりに学習のめあてを明確に自覚させ、問題解決学習等により児童の主体的学習を促す。
- ・教材・教具の整備活用を図るとともに児童の学習意欲を喚起し、成就感・満足感を味わわせる。授業の創造をめざすとともに授業研究の公開を通して指導改善につとめる。

イ、道徳

- ・全教育活動を通して児童相互の人間関係、児童と社会・自然とのかかわりを深める中で児童の内面に根ざした道徳性の育成を図り、人としての生き方を学ばせる。
- ・家庭や地域社会との連携を図る中で日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる実践的な態度を培う。

ウ、特別活動

- ・異学年集団活動の充実を図り、協働の場を設定し、児童活動等を通して思いやりの心と連帯意識を育てる。
- ・クラブ活動では、自発的、自治的な活動を通して集団の一員としての自覚を深め、自主的、実践的な態度の育成を図る。
- ・学級活動では一人ひとりの意見を尊重し、自己実現を図らせたい。

(2) 特色ある教育活動

- ・遊びの時間を設定し、児童・教師相互の人間的な教育の場とし、かかわりを広げ、暖かみのある生き生きとした教育活動の場とする。
- ・学年・学校、地域社会の諸行事や特に本年度は120周年行事があるのでそのような行事に主体的に参加する態度を培い、体験的、勤労生産的な学習を取り入れ、なすことによって学ぶ基本姿勢を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・集団生活の中で必要な基本的な生活習慣の指導徹底を図る。
- ・家庭・地域との連携をいっそう深め児童の健全育成をはかるとともに自然や文化を大切にする態度を育てる。

イ. 進路指導

- ・児童の発達段階に即して主体的な学び方を身につけさせるとともに進級進学への適切な指導を行なう。

6. 本年度の研究主題

『自分の思いや考えを豊かに表現できる子を育てる指導法の工夫』

—— 国語科を通して ——

7. 本年度の特色

- (1) 児童の実態をもとに上記のような研究主題を設定し、豊かに表現するための聞き方、話し方、書き方の指導をめざす。
- (2) 児童と児童、児童と教職員のふれ合いを大事にする教育を推進する。第一・第二金曜日を先生と遊ぶ日にし、また、異年齢活動でのオリエンテーリング・手作り祭り・たこづくり、たこ上げ大会・ゲームなどの活動を通して思いやりのある心豊かな児童を育て、人間性豊かでうるおいのある学校づくりをめざしている。
- (3) 児童理解を深め、教職員の共通理解をはかり、さらに指導の手だてを得るため、学期一回の生活指導全体会を開き、事例研究や講師を招いての研修会を行なう。

基本的生活習慣の育成をはかるため、生活指導委員会を核として毎土曜日の朝会時に生活朝会をもち生活指導上の問題を話し合い、共通理解をはかり一貫した教育方針で指導にあたっている。早期発見・早期治療・早期指導により、児童の健全育成を図っている。

- (4) 近隣の農家の畑を借用し、体験的学習を各学年で取り組み、自然とのかかわりを深めていく。
- (5) 環境整備委員会を機能させ、校舎内外の安全点検を全教職員で行ない、先を見通した環境づくりを推進している。
- (6) 学校での取り組みを学校・学年だよりをはじめ、保護者会、地区懇談会、PTAの諸行事などの機会を通して家庭・地域へ広めていく。幸い本校は、創立120年の歴史と伝統を持つ学校でありPTA・地域との結び付きも強い。また、幼小の連携も図っている。

今後も学校・保護者・地域との連携を一層深めながら、本校の教育の充実を図っていく。

8. その他(教職員の研究歴)

№\内訳	研 究 員	№\内訳	研 究 員
1	片岡 千壽子 (57・給食)	4	福田 功 (4・体育)
2	玉置 順子 (61・給食)	5	立花 せつ子 (4・音楽)
3	逸見 明男 (3・道徳)		



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平 6-21-1
電 話 0425-81-0407・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩 3 分
甲州街道を通るバス（京王・都）に乗
り日野自動車工場前下車 徒歩 5 分
児 童 数 男 334 名 女 299 名 計 633 名（うち病弱児 4 名）

校長氏名 畑 石 重 輝

教頭氏名 吉 野 美智子

1. 沿革の概要

昭 34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学
校の校舎を借用し授業開始
6. 8 第 1 期工事完成 新校舎にて授
業開始（現在地）
昭 35. 9. 13 第 2 期工事完成 2 部授業解消
昭 36. 5. 31 第 3 期工事完成
8. 28 大プール、小プール竣工
昭 38. 2. 20 校章制定
昭 39. 3. 11 校歌発表会
3. 25 校旗制定（卒業記念寄贈品）
昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭 42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭 43. 5. 20 体育館竣工
昭 44. 3. 3 創立 10 周年記念式典
昭 50. 4. 1 訪問学級設置
昭 51. 3. 31 校舎全面的改修着手
昭 54. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭 55. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭 56. 3. 31 校舎 6 教室改修（H 校舎）
昭 57. 3. 31 校庭側旧校舎サッシ改修（外側）
昭 58. 3. 31 南側旧校舎サッシ窓改修（1 階）
昭 59. 3. 31 理科室改修、玄関ドア取付
昭 60. 3. 31 体育館床研磨
昭 61. 3. 31 渡り廊下屋根取替
昭 62. 9. 校舎新築本決まり
昭 63. 4. 18 改築設計予算決定
平 元. 3. 29 校舎改築工事予算承認
平 元. 7. 17 校舎改築工事着工
平 2. 3. 26 一年校舎取りこわし工事
平 2. 4. 5 さやか学級新校舎に引越し

平 2. 7. 24 バスケットゴール設置工事
平 2. 7. 30 新校舎へ引越し
平 2. 8. 1 旧校舎解体工事
平 2. 9. 1 新校舎で授業始
平 2. 11. 30 30 周年記念・校舎落成記念式典
平 2. 12. 1 航空写真撮影
平 2. 12. 5 校庭工事検査完了
平 4. 2. 25 「さやか学級」公開研究発表
平 5. 1. 7 体育館舞台袖幕取替え

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
増 島 光 一	昭 34. 4. 1 ～ 昭 36. 3. 31
浦 上 増太郎	昭 36. 4. 1 ～ 昭 39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭 39. 4. 1 ～ 昭 42. 3. 31
星 野 正 男	昭 42. 4. 1 ～ 昭 47. 3. 31
荒 井 一 男	昭 47. 4. 1 ～ 昭 49. 3. 31
三 井 知 夫	昭 49. 4. 1 ～ 昭 52. 3. 31
多 昌 直 之	昭 52. 4. 1 ～ 昭 56. 3. 31
田 中 光 一	昭 56. 4. 1 ～ 昭 60. 3. 31
上 山 洋一郎	昭 60. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
野 村 武 郎	平 3. 4. 1 ～ 平 5. 5. 7
畑 石 重 輝	平 5. 5. 16 ～ 現在

3. 地域の環境

昭和 33 年日本住宅公団により日野台地が開
発され、多摩平団地が建設された。この一角に
日野第五小学校が設置された。南は中央線、北
は国道 20 号線（甲州街道）にはさまれ、バス
網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、
付近には日野自動車など 4 つの大会社がある。
また、自然環境に比較的恵まれ、団地内は公園、

緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調に、これからの社会において児童一人一人が心身共に健康で主体的に生き、個性を発揮し、自ら学ぶ意欲と学習の仕方を身に付け、国際社会に貢献できる児童を育成する。

- 児童像として
- ・健康でたくましい子ども
 - ・心豊かで 明るい子ども
 - ・進んで学び 工夫する子ども
 - ・認め合い 助け合う子ども

5. 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 人間尊重の精神を基調に教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくす教育を展開する。
(人間尊重)
- イ. 自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力や態度を、教育活動全体を通して育てる。
(健康でたくましい子ども)
- ウ. 自ら学ぶ意欲や思考力・判断力等を学力の基本とし、学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、心豊かな学習を展開する。
(心豊かで 明るい子ども)
- エ. 内発的な学習意欲を生かし、学習活動が主体的に学び合えるよう指導・援助をする。
(進んで学び 工夫する子ども)
- オ. 児童一人一人の特性や個性を認め、自分の持てるものを発揮できるよう考えや思い等を生かすよう指導を進める。
(認め合い 助け合う子ども)
- カ. 家庭や地域の役割を考え、その教育力を援助する。

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・指導内容を基礎的・基本的な事項に精選し、個に応じた指導の工夫を図り学力の定着に努める。
- ・重点研究「豊かな心を持ち 楽しく学び合う児童の育成」の実現にむけ、学級・学年単位の指導を充実したり、体験学習を取り入れ主体的に学ぶ力を育てる。

イ. 道徳

- ・自然や人々との触れ合いを深める体験や動植物を育てる直接体験を通して、児童の内面に根ざした道徳性を育てる。
- ・教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、他への思いやり等の心情を陶冶し、その実践力を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級活動・児童会活動・クラブ活動等に異年齢集団の活動を取り入れ、豊かな学校生活を展開する。
- ・児童の興味・関心のある多様な集会活動を主体的に実施させ、自主性を育てる。
- ・身近な環境に目を向けさせる活動を通して、環境をより良くしていこうとする実践的態度を培う。

(2) 特色ある教育活動

- ・集会活動を企画し、異年齢集団の活動を通し楽しい学級・学校生活にする。
- ・多目的ホール・多目的教室・視聴覚機器等の新しい施設・設備の効果的な活用を通して学習活動の充実を図る。
- ・学校行事に創意ある活動を取り入れ活力のある活動にする。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・毎月の指導目標を具体的に設定し、毎週土曜日に教職員の共通理解を図り指導を徹底する。
- ・教師と児童が密度の濃い接触を通し、児童の心身の安定に努める。

イ. 進路指導

児童一人一人の特性を十分理解し、その個性や能力を伸ばし、将来の希望等について教育活動全体を通して指導する。

7. 本年度の研究主題

「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」 ―― 子どもに豊かな体験を ――

8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、新しい建築様式により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変したが、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものが多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

心身ともに健全な児童を育成するために、本年度も「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」を校内研究の主題に取り上げ、豊かな心情を育てるとともに、基礎・基本となる内容の指導の徹底を図ることにした。

また、学級活動や学校行事では、兄弟学級の活用を取り入れながら体力づくり、運動会、音楽会、演劇教室、さらには身近な環境に目を向けさせる教育活動等を設定した。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究を主題に校内研修活動に力を入れ、自主協力学習を進めていく。
- 児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践していく。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、最後までねばり強い活動を推進させる。
- 体力調査を基に、児童が自分の目標をもって、最後までねばり強く挑戦する児童を育成する。

9. その他（教職員の研究歴）

内訳 A6	研究員	開発委員	教育課程委
1	畑 石 重 輝 (59 理科)	北 野 義 昭 (60 図工)	鈴 木 節 子 (平 3 理科)
2		吉 野 美智子 (62 道徳)	大 熊 孝 子 (平 3 生活)



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平 3-21
電 話 0425-81-4686・0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩 13 分
京王バス 小西六裏門下車 3 分
児 童 数 男 264 名 女 271 名 計 535 名

校長氏名 小 幡 建

教頭氏名 鈴 本 利恵子

1. 沿革の概要

- 昭 39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童 1 年～3 年
7 学級 263 名
- 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14 学級 児童数 515 名
教職員 21 名
9. 6 プール完成 (6 コース 25 m)
- 昭 42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭 43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
6. 17 南校舎 (普通教室 11、職員室、
校長室) 完成
- 昭 45. 2. 28 屋内体育館完成
3. 16 落成式挙行 (学校、PTA 共催)
- 昭 47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表 (市研究協力校)
4. 「考えさせる授業への手だて」
発足
- 昭 49. 4. 南校舎 3 階増築 (普通教室 5、
音楽室、管理室 4)
5. 南門完成
- 昭 50. 3. 18 49 年度都愛鳥モデル校に指定
4. 1 32 学級にまで児童が増加
6. 28 開校十周年を祝う会
12. 22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける (永年選挙ポスター
コンクールに協力したため)
- 昭 52. 1. 10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭 54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭 56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭 58. 11. 26 展覧会開催 (昭和 42 年以来 16
27 年ぶり)

- 昭 58. 3. ～ 体育館屋根等の塗装、大プール
ビニール張り、南校舎内装改修
- 昭 59. 7. 北校舎廊下の張り替え
8. 中庭の舗装及び排水溝の整備
- 昭 60. 6. 29 創立 20 周年記念 六小子どもま
つりを行う
円形花壇完成
- 昭 61. 9. 北校舎窓枠交換工事完成
12. 校庭南側生垣完成
- 昭 63. 8. 体育館の床・壁面改修
11. 12 第 1 回音楽会開く。この年より、
学芸会、展覧会、音楽会を順に
行う
- 平 1. 8. 北校舎玄関、下駄箱新設
- 平 2. 3. 1 ランチルームが新装なる
- 平 5. 3. 31 造形砂場完成

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭 40. 4. 1 ～ 昭 43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭 43. 4. 1 ～ 昭 46. 3. 31
新 海 圭 三	昭 46. 4. 1 ～ 昭 50. 3. 31
安 積 利 治	昭 50. 4. 1 ～ 昭 53. 3. 31
光 永 久 夫	昭 53. 4. 1 ～ 昭 57. 3. 31
石 井 三 士	昭 57. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
清 水 七 郎	昭 62. 4. 1 ～ 平成 4. 3. 31
小 幡 建	平成 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、民主的社會人としての人間形成の基礎づくりを目指し次の目標を定める。

- 身体と心をきたえる子
- 考えながら学ぶ子
- みんなと仲よくする子
- がんばりぬく子
- 進んで働く子
- 生きものを大切にする子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 豊かな心をもち、たくましく生きる児童をめざす。特に「身体と心をきたえる子」「進んで働く子」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を基盤にすえ、自己教育力を高める教育活動の充実を図る。
- イ. 児童の自ら学ぶ意欲を育てるために、学習の基礎的基本的な内容を重視するとともに、個性と能力をひき出す教育活動の推進を図る。
- ウ. 具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化を目指す。学年・学級間の協力体制を強め効率の高い教育活動の展開と、教師の研修・研究を推進し、学年・学級経営の充実に努める。
- エ. 生命を尊重、人権尊重の意識を高める児童の育成をめざし、すべての児童の交流を大切にし、相互理解と協力の機会を設定して、思いやりの心の育成を図る。
- オ. 学校週五日制への移行に伴い、学校・父母・地域が一体となり交流・連携を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 研究主題「自から学ぶ子どもを育てる体験学習のあり方」について追究する。特に生活科、社会科を重点とした体験的活動を中心に学習指導法の改善充実を図る。
- 研究や日々の授業を通して体験的活動を重視した学習や問題解決的学習を推進する。
- 児童のつまづきをなくし、基礎基本の学力を充実するため、学年を中心とした研究を推進する。

イ. 道徳

- 心ゆたかで、助けあい、認めあう、人間関係の育成をめざす。
- 進んではたらき、最後までがんばる態度の育成をはかる。
- 動植物を愛護することを通して、生命の尊厳についての意識を育てる。
- 資料の整備・活用指導法の改善をはかり道徳的実践力を高める。

ウ. 特別活動

- 学級活動の充実を図るため、児童の自発的・自治的活動を促すとともに進んで働く機会を多くする。
- 児童会活動を楽しい学校、規律ある生活をめざす児童の自主的な活動の場とし、特に委員会活動、学級活動との関連を強める。
- 楽しいクラブ活動をめざし、児童相互に協力し、助け合う自主的な活動を大切にする。

(2) その他の活動

- たてわり集団を組織し、異年齢集団における助け合いや遊びの機会を多くし、責任や協同等の自覚と意識を育成する。
- 児童の創意を大切にし、自発的に参加できる行事を企画実践する。

- 福祉福読本の活用や地域の福祉施設との交流を深め、福祉教育の充実を図る。
- 環境副読本の活用を通して、環境教育の素地を養う。

(3) 生活指導・進路指導

〈生活指導〉

- 進んで働く態度とがんばりぬく力を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着化をはかる。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解をはかり、学校全体で見守り、育成にあたる。
- 家庭や地域との連携を深め、協力しあって児童の健全育成にあたる。

6. 本年度の研究課題

「自ら学ぶ子どもを育てる体験学習」

- 体験学習のあり方を追求し、豊かな心をもち、たくましく生きる児童像の具現化をめざす。
- 日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取り組んでいく。
- 各学年ごとに分科会を構成し、授業研究を中心にすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を整備充実し、学校緑化と情操教育に効果をあげている。また、都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努め直接体験活動の充実の一環としている。
- (2) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。
 - ・ 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
 - ・ 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
 - ・ 保護者の教育的関心は高く、保護者会の出席状況はよい。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	中 央 研	研 究 員	海 外 派 遣
1	鈴 木 利恵子（平4）	小 幡 建（53.理科）	小 幡 建（57）
2		鈴 木 利恵子（59.国語）	
3		村 上 悦 子（45.音楽）	
4		川井田 和 子（平.2 道徳）	
5		佐 藤 静 雄（平.2 社会）	
6		清 水 良 夫（54. 地）	



学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡 402
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩 5 分
児 童 数 男 176 名 女 138 名 計 314 名

校長氏名 香 川 善 平

教頭氏名 影 山 健

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 三沢医王本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す
- 明 11. 11. 三沢 701 番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する
- 明 20. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 26. 4. 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 42. 5. 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする
- 昭 16. 4. 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 22. 4. 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭 27. 5. 創立 80 周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する
- 昭 33. 2. 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭 34. 4. 給食調理室完成
- 昭 37. 10. 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭 38. 11. 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90 周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭 40. 12. 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される
- 昭 41. 3. 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭 44. 2. 屋内体育館落成
9. 日野市立日野第八小学校分離開校
- 昭 45. 4. 日野市立百草台小学校分離開校

- 昭 46. 2. 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催
4. 普通教室 9 教室、学校図書館増築
- 昭 48. 5. 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭 49. 4. 日野市立南平小学校分離開校
- 昭 52. 4. 日野市立程久保小学校分離開校
- 昭 55. 9. 校庭整備完了
- 昭 55. ～ 57. 校舎内の塗装完了
- 昭 58. 2. 研究発表会（国語）
5. 開校 110 周年記念式典挙行
- 昭 60. 2. 研究発表会（全学級公開、国語）
- 昭 61. 8. 体育館バスケットゴール新設
- 昭 62. 1. プールのフェンス工事完了
- 昭 62. 7. ～ 8. 家庭科室、音楽室改修工事完成
- 昭 63. 3. プール・シート防水完成、図書室本館に移動・新設
- 昭 63. 8. ～ 外壁、放送室、体育倉庫改修工事完成
- 平元. 3. 事完成
- 平元. 7. ～ 9. 体育館補修工事完成
- 平元. 7. ～ 8. 理科室のガス・水道工事完成
- 平 2. 8. 3 階普通教室・廊下塗装、ロッカー改修
- 平 3. 8. 音楽室・2 階普通教室・廊下塗装、ロッカー改修
- 平 4. 7. ～ 8. 保健室改修
- 平 4. 7. ～ 10. 給食室改修
- 平 5. 1. ～ 3. 更衣室改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諦 暁	明 9. 12 ～ 明 11. 11

3	和 山 作太郎	明 11. 11～明 15. 11	17	広 井 博 昭	昭 3. 4～昭 7. 9
4	土方 喜久太郎	明 15. 11～明 17. 2	18	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭 14. 7
5	宮 倉 保五郎	明 17. 2～明 19. 10	19	鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7～昭 22. 2
6	小 宮 太之助	明 19. 10～明 20. 10	20	赤 坂 元 春	昭 22. 2～昭 27. 9
7	須 崎 和 蔵	明 20. 10～明 31. 3	21	塚 本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
8	小 宮 彌一郎	明 31. 2～明 34. 4	22	尾 崎 半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3
9	加 藤 菊次郎	明 34. 4～明 36. 1	23	塚 本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
10	佐 藤 良 輔	明 36. 1～明 42. 4	24	溝呂木 桂 次	昭 43. 4～昭 47. 3
11	沖 倉 与 一	明 42. 4～明 43. 4	25	星 野 正 男	昭 47. 4～昭 51. 3
12	荒木田 大 夫	明 43. 5～明 45. 3	26	村 田 守 正	昭 51. 4～昭 55. 3
13	小 宮 彌一郎	明 45. 4～大 12. 3	27	黒 沢 保 雄	昭 55. 4～昭 61. 3
14	平 杉 蔵	大 12. 4～大 13. 3	28	篠 宮 忠 男	昭 61. 4～昭 62. 3
15	矢 沢 久 司	大 13. 3～大 14. 9	29	石 黒 健	昭 63. 4～平 4. 3
16	小 泉 栄 一	大 14. 10～昭 3. 3	30	香 川 善 平	平 4. 4～

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するに至った。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲を持った心身共に健康で心豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

敬	愛	・考える子
自	由	・はたらく子
勤	労	・心ゆたかな子
		・健康な子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「主体的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 研究・研修の充実により、各教科等の基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、主体的に学習する意欲や態度を育てる。
- ② 児童の主体性を重視した教育活動を通して、一人一人の個性や能力を伸ばし、互いに認め合い、励まし合い、支え合う人権尊重の態度を育てる。
- ③ 全教科・領域にわたって、体験的な活動を重視し、自然をいつくしむ心や環境を大切にする態度を育てる。
- ④ 家庭・地域との連携をより深め、地域の自然や文化を取り入れた教育活動の充実を図ることにより、国際理解の基礎を培うと共に、社会性を育てる。
- ⑤ 年間を見通した指導計画の作成と指導内容の改善により、教育水準の維持・向上を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各 教 科

- ① 児童一人一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的、基本的な内容の徹底を図る。

② 地域の自然や文化を生かした体験的学習を取り入れ、自ら生きる力を育てる。

③ 主体的、意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

イ 道 徳

① 教育活動全体を通して、生命尊重や思いやりの心を育てるよう指導する。

② 道徳の授業の充実を図り、道徳的实践力を育てる。

③ 児童相互、児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ 特 別 活 動

① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。

② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

① 学年をこえたたてわりの交流により、社会性や連帯感を育てる。

② 委員会活動や、その他さまざまな活動の場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。

③ 「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。

④ 地域の豊かな自然や文化に親しませ、自然や文化を大切にできる態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

① 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にする。

② 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る。

③ 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。

④ 家庭および地域との連携を深め、協力して児童の健全育成に努める。

イ 進路指導

① 児童理解に基づき、児童の個性、能力の伸長を図り、生涯にわたって、自己実現の図れる基礎を培う。

② 体験的な活動等を通して、望ましい勤労観や職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

創立 120 年の歴史と伝統をもつ学校である。11 月 20 日に開校 120 周年行事が行われる。潤徳小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集団住宅に住む父母等があり、教育に対する関心や意識が多様である。

○保護者、地域との連携を強め、教育力を高め、児童の健全育成につとめている。

○一つ一つの教育活動、経営の意義を全職員で共通理解し、教育目標の具現化につとめている。

○とくに本年度は、教育目標の「考える子」「心ゆたかな子」に重点をおいた校内研究及び生活指導を推進し、教育目標の具現化につとめる。

8. その他（教職員の研究歴）

教 育 研 究 員	そ の 他
香 川 善 平 （49 特活）	香 川 善 平（55. 56. 兵教大大学院留学）
影 山 健 （47 算数）	香 川 善 平（58. 59. 多摩研推委）
反 町 麻佐子 （2 保健）	
牧 野 豊 （5 特活）	



学 校 名 日野市立平山小学校
所 在 地 日野市平山4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
児 童 数 男193名 女211名 計404名

校長氏名 内 藤 康

教頭氏名 岡 田 壽美子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい修業年限は8カ年）
明 17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める
明 35. 5. 校名を平山尋常高等小学校と改める
明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする
昭 16. 4. 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める
昭 22. 4. 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める
昭 32. 2. 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める
昭 38. 11. 市制施行により日野市立平山小学校と改める
昭 42. 5. 平山4-8-6に移転する
昭 46. 3. 滝合小の新設に伴う学区変更
昭 53. 4. 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する
昭 57. 8. 校舎窓、屋上、体育館内部補修
昭 58. 5. 開校110周年祝賀式典举行
8. 本館南側残部 特別教室北側窓取替
昭 59. 1. 本館北非常用階段設置
11. 体育館外壁改修
昭 60. 3. 第二幼稚園移転校庭拡張
8. 教室廊下側窓改修
昭 61. 7. 正門改修
昭 62. 1. 校庭整地
本館北側窓アルミサッシに改修工事 本館防火シャッターおよび扉改修工事 本館外壁全面塗装工事

- 昭 63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入口増設工事
平元. 西門改修、フェンスの生垣化
平 3. 西側トイレ改修、生活科室改修
平 4. 東側トイレ改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	梁 義 伯	明 6. 5 ～ 明 12. 1
2	大 沢 教之助	明 12. 1 ～ 明 20. 3
3	石 井 芳 丸	明 20. 4 ～ 明 30. 5
4	吉 永 信 丸	明 30. 6 ～ 明 35. 5
5	小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～ 明 45. 3
6	古 屋 障 司	明 45. 4 ～ 大 2. 5
7	勝 又 房太郎	大 2. 5 ～ 大 4. 5
8	平 杉 藏	大 4. 6 ～ 大 9. 3
9	上 田 富 弥	大 9. 4 ～ 大 15. 3
10	杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～ 昭 6. 3
11	石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～ 昭 11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～ 昭 13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～ 昭 21. 3
14	飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～ 昭 22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～ 昭 28. 3
16	森久保 惣 治	昭 28. 4 ～ 昭 34. 3
17	高 橋 本 義	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
18	加々美 良 英	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
19	後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
20	安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
21	小 野 晃	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
22	深 沢 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
23	林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
24	伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 昭 61. 3
25	蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～ 平 2. 3
26	内 藤 康	平 2. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地もいくらか残り自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地、都営住宅、造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき（特に人間尊重の精神を基調に）知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

① すすんで学び やりぬく

- ・自ら学ぶ意欲をもち、主体的に生きる力を育てる。
- ・自分の目標をもち、失敗や障害を乗り越えて最後までがんばりぬく力を育てる。

② 思いやりをもち 助け合う子

- ・自他のよさを見つける目を育て、支え合い励ましあう気持ちを育む。
- ・相手を尊重する態度（あいさつ・言動など）が実践できる力を育てる。

③ からだをきたえ 元気な子

- ・すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力を育てる。
- ・自他の健康・安全に気をつけ心身共に健全な子を育成する。

なお、本年度は「すすんで学び やりぬく子」を重点とし、自分で考え行動できる子どもの伸長を期すとともに、表現力豊かなたくましい子どもの成長を求めた実践を指導の力点とする。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

前記の教育目標達成のため、児童一人一人のめあてを常に明確にし、一人一人の児童が、個性や能力を発揮し、自分で考えて最後まで粘り強くやりぬけるような教育環境を整えることを基本とする。そのため、次のような方で教育課程を編成する。

① こども主体の授業

② 教育環境の整備

③ 自他の尊重と社会性

④ たくましく生きる力

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- ① 基礎・基本を重視し、児童一人一人の発達段階に応じた指導計画をたてる。
- ② 指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。
- ③ 児童の課題意識を大切にした授業計画をたて、表現力を豊かにするとともに主体的探究的学習をすすめる。
- ④ 桜川や南平丘陵公園など地域の特性を生かした様々な体験学習と地域の教育力を導入した活動を展開する。

イ 道徳

- ① 教育活動全体を通して、自他を尊重する態度を養い、自己抑制力をもった心を育てる。
- ② 互いの立場を尊重し、相互に認め合い励まし合い支え合う実践力を育てる。
- ③ 基本的行動様式の定着を図り、社会性を育む。

ウ 特別活動

- ① 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校・学級づくりをめざす。
- ② 児童の主体性、創造性を生かした活動を通して自主的実践的態度を育てる。

- ③ 集団下校班等縦割りの異年令集団を生かし、児童相互の触れ合いを広げ、豊かな人間関係を深める。

(2) 特色ある教育活動

- ① 児童が主体的、創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
 ② 学級・学年の時間を特設し、教師と児童、児童と児童の相互の触れ合いを通して人間関係を深める。
 ③ 地域の特性を生かし、又PTAなどとの連携で通学路クリーン作戦など、環境教育をすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自己を確立し、社会集団の一員として希望を持って明るく強く生きる力を身につけさせる。
 ② 地域や学校での生活のあり方を自ら考え、基本的行動様式と社会規範を守った行動がとれるようにする。
 ③ 自他を尊重し、正しく判断し行動できる児童をそだてる。

イ 進路指導

- ・自己を見つめ、自己実現できる児童を育てる。
- ・生きがいを見つけられる児童を育てる。
- ・常に自分の生き方を考えられる児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

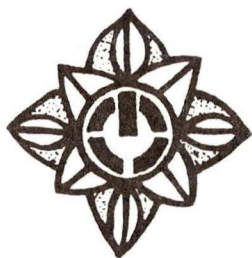
「自分の考えをはっきり表現できる子ども」 ― 国語科の学習を通して ―

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校120年の歴史と伝統を持つ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と5世代にわたって在校した者もあり、地域の学校に対する愛着が強い。又一方、学校周辺の開発が進み、新しく居住する者も多い。したがって、地域からは多様な要望が多く、また期待も大きい。この中で、伝統として残されてきた古き良きものを大切にし、そして新しいものを取り入れることにより、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。そこで、今年度は「すすんで学び やりぬく子」を教育目標の重点に定め、教育をすすめている。
- (3) 校内には、130㎡余りの広い花壇、100㎡余りの田んぼと同様の飼育小屋・広場があり、花や稲の栽培、がちょうやあひる等の飼育、又、学校周辺の自然を活用した体験的学習を通して、児童の心と体の育成に努めている。さらに、地域の旧家を移築した「いろりの部屋（和室）」での古老による「お話会」や、そこに展示してある昔の農耕機具等を使った歴史学習など地域の教育力を生かした活動を行っている。この「いろりの部屋」はPTA活動にも開放し、地域に開かれた学校づくりを目指している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 生	研 究 員	中央研・海外派遣	開 発 委 員
1	内 藤 康 49 (体 育)	内 藤 康 45 (体 育)	内 藤 康 56 (中央研)	田 中 延 子 平4 (社 会)
2		港 澄 江 59 (国 語)	内 藤 康 58 (海外派遣)	
3		岡 田 壽美子 平2 (学 校 保 健)		



学 校 名 日野市立日野第八小学校
 所 在 地 日野市三沢 200
 電 話 0425-91-2411・2412
 順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩 15 分
 兄 童 数 男 297 名 女 315 名 計 612 名

校長氏名 石 川 耀 子

教頭氏名 小 杉 博 司

1. 沿革の概要

昭 44. 1. 2 開設が決定 工事に着手
 4. 1 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始
 8. 16 日野第八小学校開校
 9. 1 415 名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う
 11. 1 開校式を挙行 開校記念日と決定
 11. 25 校舎落成祝賀式挙行
 昭 45. 1. 15 公募により校章決定
 4. 1 14 学級となり、プレハブ 2 教室増築
 7. 15 校旗ができる
 7. 16 25m 6 コースのプールが完成し、プール開きを行う
 9. 7 校歌完成 作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人
 昭 46. 4. 1 15 学級 プレハブ教室増築
 6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する
 9. 15 体育館工事着工
 昭 47. 2. 15 体育館落成式を挙行する
 4. 1 プレハブ 2 教室増築
 プレハブ 5 教室使用
 6. 20 西武百草団地入居のため 250 名の児童転入
 昭 48. 3. 本校舎 8 教室の増築完了
 5. 校地前程久保川の工事完了
 昭 49. 3. 1 校門が完成
 昭 49. 4. 1 学級増のため、プレハブ 5 教室を使用
 8. 15 プレハブ 2 教室が増設され、図書室、教材室として使用

9. 10 都水道に切替え
 昭 50. 1. 20 校地拡張 西門整備完了
 2. 20 第 3 期増築完了 普通教室 6、教材室 2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板
 7. 15 プール市水切替工事完了
 10. 25 体育館床塗替え
 12. 20 砂防 (10×8m) 完成
 昭 52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了
 昭 53. 4. 15 プレハブ 2 階建工事完了 教室 8、図書室、音楽室として使用
 昭 54. 3. 31 プレハブ 2 階建 2 教室増築工事完了
 11. 17 開校十周年記念式典
 昭 55. 3. 31 三沢台小学校を分離
 プレハブ全教室を撤去
 昭 57. 9. 10 運動場全面改修完了
 昭 59. 8. 31 防球フェンス (5×90m) 完成
 図書室 (2 教室打抜き) 完成
 昭 60. 9. 26 花壇防球フェンス (5×35m) 完成
 花壇増設 (5×1.5m, 3ヶ所)
 プール更衣室通路舗装
 昭 61. 3. 24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了
 8. 27 体育館照明設備新設
 昭 62. 1. 31 プール機械室改装
 平 元・ 8. 31 西校舎屋上改修
 平 元・ 11. 25 創立 20 周年記念式典
 平 3. 10. 7 ランチルーム完成 使用開始
 平 4. 10. 12 体育館改修工事完了使用開始

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭 44. 8 ～ 48. 3
岡 本 省 吾	昭 48. 4 ～ 53. 3
古 谷 洋 太	昭 53. 4 ～ 58. 3
澁 谷 義 一	昭 58. 4 ～ 63. 3
草 薊 和 志	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
石 川 耀 子	平 3. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で 40 分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲りくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、人間尊重の精神を基調として、本校の教育を行う。社会の変化に対応して、主体的に判断や行動ができ、個性豊かで、生涯を通して学び続ける人間の育成をめざし、次の教育目標を定める。

- ア. 健康でたくましい子ども
- イ. 美しくゆたかな心の子ども
- ウ. 深く考えやりぬく子ども（重 点）
- エ. 力を合わせはげみあう子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 「深く考えやりぬく子ども」を重点目標とし、生涯を通じて学び続ける児童の育成を図る。
- イ. 自他の生命を尊び、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育み、人間尊重の精神を培う。
- ウ. 家庭・地域との連携をいっそう深め、地域の自然や文化を積極的に取り入れた教育活動や体験的な学習活動を工夫する。
- エ. 自然をいつくしむ心や環境を大切にする心を育て、環境の改善に主体的に働きかける態度や技能を培う。
- オ. 自国の文化や伝統について理解を深めるとともに、進んで国際社会に参加・協力できる能力や態度を育成する。
- カ. 校内研究・研修を通して、指導内容・方法・評価の改善、充実に努め、基礎的・基本的内容の定着を図る。また、一人一人の個性、能力を伸長し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を育む。
- キ. 心身に障害のある児童の理解を深める指導を充実する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

- ア. 各教科
 - 個々の児童に即し、基礎的・基本的内容の指導を徹底する。
 - 多様な指導方法や形態、主体的・創造的な学習活動を創意・工夫し、柔軟な思考力や創造力を

育成する。

- 地域の奏材を生かした教育の在り方・体験的な学習を重視する。

イ. 道 徳

- 全教育活動を通して、豊かな感性や徳性を涵養し、人間としての生き方や在り方の自覚を一層深める。
- 道徳の時間をさらに充実し、道徳的实践力を高める。
- 家庭や地域社会と連携し、地域や人々との関わりの中で道徳性を高める。

ウ. 特別活動

- 児童の主体性・創造性を伸ばす活動（八小祭・全校遠足等）を通して、自主的・実践的態度を高める。
- 児童の共働・協力活動を通して、助け合い学び合う心、八小児童としての連帯感や豊かな人間関係を育成する。

(2) 特色ある教育活動

- 異年令集団活動で豊かな心、いきいきとした知識、健やかな体を育む。
- 地域・家庭・関係諸機関との連携を深め、環境の改善、老人福祉などにも主体的に働きかける態度や技能を培う。
- 心身に障害のある児童の能力・適性の伸長を図るため、共通理解を深め、学校全体で取り組む。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員共通理解のもと、基本的生活習慣の定着を図る。
- 「八小の約束」をよりどころに、集団の規範を守る態度、互いに認め合い支え合う態度を育む。
- 家庭・地域・関係諸機関と緊密な連携を図り、児童一人一人のよさを深く理解するとともに、個々の課題に的確に対応する。

イ. 進路進導

- よさを認め励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を開発、伸長する。
- 全教育活動を通して、一人一人が目あてを持ち、生涯を通じて主体的に学習を継続する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」 ― 地域に関心を持ち、自ら調べ学ぶ力を育てる ―

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。全教育活動を通して、学習・生活・言語環境の整備に努めている。
- ② 恵まれた地域の自然環境や文化財を活用し、フィールドワーク等の体験学習を日常の教育活動に取り入れ、学習に対する興味・関心を高め、郷土を愛する心を育てている。
- ③ 地域と連携のもと、3～6年児童のサッカークラブ員が、放課後、練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、チームづくりを通して、健全育成の面で大きな成果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	道徳助言研・その他
1	小杉 博司(57・社会)	小杉 博司(61・社会)	石川 耀子(53・幼児)	石川 耀子 (61・道徳助言研)
2	石岡 房子(63・国語)	宇野有斐子(元・道徳)		小杉 博司 (63・教材開発社会)
3	小島 義範(4・特活)	海老原真知子(5・家庭)		宇野有斐子 (3・道徳助言研)



学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草 999
電 話 0425-91-0997・0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
百草センター下車 徒歩 5 分
児 童 数 男 215 名 女 208 名 計 423 名

校長氏名 小笠原 久 雄

教頭氏名 上 田 憲 二

1. 沿革の概要

- 昭 44. 8. 2 校舎新築起工
12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校
として潤徳小学校内で授業開始
昭 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新
校舎に移転開校する 学級数 8、
児童数 118 名、教職員 16 名、市
職員 3 名
6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記
念日とする
昭 46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3 月
8 日を制定記念日とする
4. 30 校舎北側の埋立工事完了
7. 31 プール工事完了、大プール、小
プール、シャワー、更衣室、機
械室竣工
昭 47. 2. 12 調理室火入れ式、調理開始
6. 17 体育館完成
昭 48. 9. 26 校舎新築工事開始
昭 49. 3. 31 増築 7 教室竣工
昭 51. 3. 20 増築校舎完成 普通教室 9、図
工室 1
昭 54. 5. 31 開校 10 周年記念式挙行 記念
誌、タイムカプセル作成
10. 31 校庭南側の階段上に正門落成
昭 55. 4. 1 学区区域変更により、梅が丘団地
が本校学区に編入される
昭 58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
9. 7 校庭改修工事完了
昭 61. 4. 3 小プール底改修工事完了
昭 62. 3. 19 校庭西門改修工事完了
昭 63. 2. 8 本校舎南面外壁修理及び塗装
6. 25 A V 卓設置工事完了

- 昭 63. 9. 10 外壁塗装工事完了（本校舎北面）
平 1. 2. 21 プール管理棟外壁修理塗装完了
1. 10. 3 体育館、補修、改修工事完了
（床面、外壁塗装含）
平 2. 3. 10 新校舎漏水配管修理完了
5. 18 アメリカンスクール訪問
7. 21 電動バスケットボール設置
8. 3 給食室シャッター取り付け
10. 26 プール、足洗い場設置、とびこ
み台撤去
11. 16 開校 20 周年記念式挙行 記念
誌発行
平 3. 3. 29 クーラー設置（保健室）
8. 30 給水管改修工事完了
平 4. 3. 31 飼育舎新設
平 5. 1. 21 和室新設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	45. 4. 1 ～ 48. 3. 31
村 田 安 正	48. 4. 1 ～ 51. 3. 31
田 中 春 男	51. 4. 1 ～ 55. 3. 31
竹 内 音 治	55. 4. 1 ～ 58. 3. 31
志 賀 頼 治	58. 4. 1 ～ 59. 9. 8
村 松 徹 二	59. 10. 1 ～ 63. 3. 31
草 刈 喜 一	63. 4. 1 ～ 3. 3. 31
小笠原 久 雄	3. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成さ
れた、百草団地と梅が丘団地とが主な学区域で
ある。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市外に続いて立川まで一望することができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都塵をさけたリクレーシヨンの人々でにぎわう。自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法に基づき、児童・地域の実態をふまえ、健康な体と、思いやりとたくましさのある心を持ち、自ら判断し主体的に行動する児童の育成をめざし、下記の四つの目標を設定する。

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標の達成に向けて、自らよく考え行動できる児童の育成を指導の重点として、創意を生かした教育活動の充実を図る。

- ・全教職員の共通理解のもとに組織的計画的に全教育活動をすすめる。
- ・基礎的基本的内容を身につけるとともに、児童が自ら学ぶ力を培うために、体験的学習を取り入れる等の授業の創造に努める。
- ・自ら、健康の保持、体力の向上をはかる能力・態度を児童一人ひとりに育てるとともに、思いやりとたくましさを持った心を育むため、特に体育、道徳、特別活動の指導の充実を図る。
- ・児童の個性や特性を教師、児童相互が認め、更によりよい伸長をめざして、励まし協力していく姿勢を大切にする。
- ・児童の学びの場として、自然を大切にし、落ち着いた、整理整頓された環境の美化、整備に努める中で、環境教育の充実を図る。
- ・開かれた学校をめざし、家庭、地域、学校の連携を密にし、相互の理解と協力のもとに児童の教育にあたる。学校五日制の休業日に当たっては、児童自身や家庭の計画による過ごし方を尊重し、各児童の体験を通した学びを大切にする。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童自らが考え、主体的に取り組む学習をめざす。

- ・教材・教具の工夫、視聴覚機器の活用等を基に、基礎的基本的事項を児童一人ひとりに身につけさせるとともに、児童の興味、関心を大切にし、児童の学習過程や学ぶ姿勢に視点をあてた授業の展開に努める。
- ・指導に体験的学習を取り入れ、その体験に基づく児童一人ひとりの学習への関わりを大切にする。

イ. 道徳

豊かな体験を通し、自他の生命の尊さや人と人の心のつながりを大切にする実践的態度や行動を、道徳の時間の指導だけでなく全教育活動を通して育み、人権を尊重し平和を希求することの大切さを自覚させる。

ウ. 特別活動

児童の個性・特性、体験、創意が生かされ、児童が喜びをもって主体的に参加する望ましい集団活動をめざす。また、活動を通して、心身の健康や安全、豊かな情操、望ましい人間関係等、人として調和のとれた発達を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・読書指導を更に充実させ、児童に豊かな情操や思考力を育む。
- ・草花の栽培を通して、自然をいつくしみ環境を大切にする心を育む。又、児童会活動による百草台小祭では、使用する材料を通してリサイクル意識を喚起させ、環境保全への関心を高める。
- ・本校通級学級や都立七生養護学校との交流教育の発展、充実をはかり、互いに認め合い、支え合い、励まし合う、豊かな人間性を培う。

(3) 生活指導・進路指導

ア．生活指導

- ・よく聞くことを重点として、教職員の共通理解により児童の成就感、達成感を大切にした指導を基に、基本的生活習慣や集団生活におけるきまりの遵守、安全な行動等を児童が主体的に身につけるよう努める。
- ・教育相談に関わる問題には、正しい児童理解の基に組織的にあたる。

イ．進路指導

- ・生活全般の体験を通して、児童自らが自分の長所を発見し、その長所を伸長し、自己を向上発展させる意欲や態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の研究」

—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

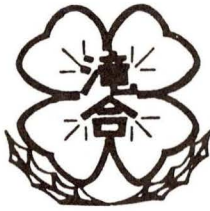
在学児童のおよそ85パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

特色ある行事

- 毎週木曜日を児童集会とし、勤労体験的内容（草とり集会、石ひろい集会他）も加味した児童主体の活動をする。
- 心障理解教育推進協力校として、近隣の養護学校との交流に力を入れている。

8. その他（教職員研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	小笠原 久 雄（49.特活）	小笠原 久 雄（55.特活）
2	上 田 憲 二（62教育課題）	丸 カズ子（4.図工）
3	丸 カズ子（52.図工）	
4	青 木 利 夫（6.心障）	



学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2-3-1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男320名 女292名 計612名(4月7日現在)

校長氏名 草刈喜一

教頭氏名 八木文夫

1. 沿革の概要

- 昭44.12.26 敷地購入(仮称第11小学校)
昭46.3.31 南校舎(A棟)完成。プレハブ校舎仮設使用
4.1 日野市立滝合小学校開校
20学級編成、教職員27名
市職員6名
4.6 第1回入学式、始業式
4.30 運動場体育固定施設の設置
5.30 北校舎(B棟)完成
6.1 開校記念日
6.5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6.30 給食室竣工
7.20 プール竣工
10.1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12.1 校章、校歌制定
昭47.1.21 エル・サルパドル国教育局次長視察
2.20 体育館・校内通路完成
2.25 落成式
3.25 第1回卒業式(卒業生78名)
昭50.2.18 体力作り研究発表
4.~ 校庭植樹250本
昭51.8. 動物園完成
3. 旭が丘小分離(児童201名)
4. 校庭内に学童保育所完成
昭53.9.26 校庭全面整備完了
昭58.8. 中庭舗装排水工事完了
昭59.8.30 給食室タイル・壁修理完了
昭61.5.6 体育館内工事完了
昭62.1.29 プールシート防水加工工事完了
2.6 シューティングボード工事完了
8.31 A棟外装工事完了
昭63.8.31 B棟外装工事完了、校庭南側フ

エンス移設工事完了

- 平元.8.31 給食室ダム、ウエータ工事完了
平2.8. 校舎北側舗装
平3.8. 外部水飲み場改修、A棟1階廊下塗装
平4.1. AV調整卓交換
8. A棟2.3階廊下塗装、A棟3階教室内装

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
峰 岸 敬次郎	昭46.4～50.3
鈴 木 英 夫	昭50.4～53.3
梅 田 茂	昭53.4～56.3
鈴 木 敏 郎	昭56.4～59.3
野 口 昭 平	昭59.4～62.3
有 泉 徹 郎	昭62.4～平 3
草 刈 喜 一	平 3.4～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等も残る田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつあり、児童数は多く、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区域は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、東京都教育委員会並びに日野市教育委員会の基本方針である人間尊重の精神を基調とし生涯にわたって学び続けるための基礎を培い、地域社会の特性や児童の実態を踏まえ、自ら進んで人格の形成に努める児童を育成する。

- ア. 健康でたくましい子ども（心と体の健康）
- イ. 勉強に努力する子ども（意欲とねばり強さ）
- ウ. 進んで協力し、実行する子ども（心のふれあいと友情）
- エ. 生きものをたいせつにする子ども（思いやりと生命の尊重）

・学校のエ育目標を達成するための基本方針

知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を目指し、日常の授業の充実を図り、児童一人一人の個性、能力を尊重した指導を推進する。

- ア. 教育目標を具現化するために、学年、学級の実態及び児童の発達段階に即した具体目標を設定し、日常の実践活動をすすめる。
- イ. 学習指導においては、児童に学習課題をつかませ、その課題解決にあたっては、個性を生かす授業の展開を工夫していく。
- ウ. 基本的生活習慣、自主的生活態度について、教職員の共通理解を深め、相互指導体制を確立し児童の指導にあたる。
- エ. 我が国の伝統や文化を大切にす態度を育てると同時に外国の文化にも目を向けさせ国際理解教育を推進する。
- オ. 地域の自然や文化財を採り入れた教育活動の充実を図り、家庭、地域との連携を深め、児童の社会性を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 学習内容の焦点化、体験的学習を進めるなかで、思考力、判断力、表現力を確実に身につけさせる。
- 2) 各教科の内容は、基礎的・基本的な事項を精選し一人一人を生かした指導を行う。
- 3) 児童が中心になる学習指導を展開していくために、教材教具を整備活用し、学習意欲の喚起を図る。

イ. 道徳

- 1) 教育活動全体を通して、教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、豊かな体験を通して心の内面にある道徳性を伸長する。
- 2) 道徳の時間の充実を図ると同時に、家庭や地域との連携を密にし、培われた道徳的实践力を更に伸長する。

ウ. 特別活動

- 1) 児童の実践的活動を通して、自主性を伸ばし、一人一人を積極的にさせ、感動と喜びのある学校生活が送れるようにする。
- 2) 集団の成員としての自覚を高め、自主性、社会性を養い、個性の伸長を図る集団活動を更に充実させる。

(2) 特色ある教育活動

- 1) 地域の行事との関連を図るなど創意ある教育活動を充実する。稲作や学校園での栽培活動など勤労生産的な体験学習を推進する。
- 2) 委員会活動、クラブ活動、集会活動を充実し、異年齢集団での活動、交流を意図的に行う。

3) 学校の教育環境の整備、美化を積極的にすすめ、自然をいつくしむ心や環境を大切にする心を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

1) 基本的な生活行動様式や規律ある生活態度を定着させながら、地域及び家庭と密接な連携をとっていく。

2) 児童一人一人のよさを発見し、互いに認め合う心的環境を整え、より一層個性を伸ばそうとする意欲を高める。

イ. 進路指導

1) 生涯にわたって主体的に学ぶ学び方を身につけさせ、進級・進学についての適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究

環境教育・性教育の2つの分科会を設け、授業研究を通して研究を進めていく。今年度が初年度のため、研究の進め方についても共通理解を図りながら進めていく。

7. 本校の特色

校地面積 20,458 m²という恵まれた敷地内に1周200mのトラック、バスケットコート2面二の字形にならんだ校舎、周辺部に飼育小屋、プール、体育館があり落ち着いた空間をつくっている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。保護者の学校教育に対する理解は深く、極めて協力的である。学校行事にも積極的に参加し、大いに内容を盛り上げてくれる。通学路の点検等も協力的である。

○稲作、野菜の栽培など勤労生産学習の充実

○児童会主催、学区オリエンテーリング

○児童が係で活躍する運動会

○児童の希望を生かしたクラブ活動

8. その他

内訳 No	研 究 員	開 発 員
1	草 刈 喜 一 (51 ^{学校給食})	林 亀 三 (63 ^{体育})
2	八 木 文 夫 (59 ^{体育})	
3	林 亀 三 (57 ^{体育})	
4	平 島 孝 夫 (平3 ^{算数})	



学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保 550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分 高幡台団地下車
児 童 数 男 191名 女 180名 計 371名

校長氏名 兼 島 政 邦

教頭氏名 飯 田 国 代

1. 沿革の概要

- 昭 46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭 47. 3. 10 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋3階建校舎
普通教室 12 特別室 9
特別教室 4
学級数 12
5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き挙行
昭 48. 2. 24 校旗・校歌制定
10. 6 体育館落成式
昭 49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9・図書室1・職員室
改造工事
昭 51. 10. 13 高幡台小学校の位置標識
標高 118 m
昭 53. 3. 31 第二期増築工事完成
昭 54. 1. 24 防火シャッターを全部防煙シャッターへ取替完了
昭 54. 3. 4 玄関脇造園工事完了
昭 55. 7. 5 校庭南門工事完了
昭 56. 2. 7 校舎南側に学級園完成
8. 30 給食配膳室改修工事完了
昭 57. 11. 11 開校 10 周年記念式典
昭 59. 8. 30 屋上高置水槽取替（新・旧館）
昭 60. 8. 25 プール際防球ネット取付
昭 61. 8. 1 丸木遊具製作（職員）
昭 63. 7. 27 校庭改修工事
7. 30 新館階段天井アスベスト改修
3. 15 体育館バスケットゴール取付

- 平 2. 7. 23 校庭および屋上フェンス改修
平 4. 3. 5 プール改修工事完了
3. 18 和室（いこいの間）完成
7. 29～
10. 1 外壁改修工事（第一期）
12. 5 開校 20 周年記念式典

2. 歴代会長

氏 名	年 月 ～ 年 月
平 松 健太郎	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
手代木 和 夫	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1 ～ 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1 ～ 62. 3. 31
小 泉 宣 夫	昭 62. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
兼 島 政 邦	平 4. 4. 1 ～

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして次のような児童を育成する。

- ・ たすけあう子ども …………… あたたかい心で助け合う子ども
- ・ かんがえる子ども …………… よく考え自分から進んでやりぬく子ども
- ・ はたらく子ども …………… 働くことの素晴らしさを身につけた子ども
- ・ たくましい子ども …………… 健康で明るい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 自然愛・人間愛に根ざした教育を推進し、優しく思いやりのある児童の育成をめざす。
- ② 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成や創造性の基礎を培うことを重視するとともに、自ら学ぶ意欲や態度を養う。
- ③ 生涯にわたる学習の基礎的・基本的事項を確実に身につけさせるとともに国際社会に生きる日本人としての資質を育てる。
- ④ 全教育活動を通して道徳的心情を培い、自主的・自律的な態度・勤労を尊ぶ実践的な態度を養う。
- ⑤ 健康安全への関心を高め、健康づくりと体力の向上に努める。
- ⑥ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年・学級経営の充実を図る。
- ⑦ 保護者・地域との連携を深め、地域の自然や文化・伝統を教育活動に生かし、郷土を愛する心を培う。
- ⑧ 校内研究を充実させ、子供の意欲を伸ばす指導法の研究を推進する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ・ 指導内容を精選し、児童が自ら学ぶ意欲や態度を高める指導法を工夫し、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる。
- ・ 全教科を通して、自分の考えを主体的に表現する能力を育成する。
- ・ 地域の自然等身近な教材を活用し、体験的な活動を通して、自ら学ぶ意欲や態度を育成するとともに、豊かな心情を育てる。
- ・ 教育機器の活用、学習形態の工夫につとめ、児童に分かりやすく楽しい授業を進める。

イ 道徳

- ・ 集団行動のきまりや望ましい行動の習慣化を図り、公德心の内面化を図る。
- ・ 相手の立場を認め合い、力を合わせてものごとをやりぬく態度や思いやりの心を涵養する。
- ・ 人や自然を大切にすることの態度や公共心の育成を図り、ものを大切にする実践的な態度を身につけさせる。
- ・ 異年齢集団や、地域のボランティア活動などの具体的な体験活動を通して、人権尊重の心を培う。

ウ 特別活動

- ・ 各種の活動を通して、児童の自主的・自律的な実践力を育成する。特に児童会活動では、日常活動の充実を期し、児童の主体性の育成に努める。

(2) 特色ある教育活動

- ・ 学年を越えた異年齢集団活動（遠足・集団遊び・子ども祭り等）と校外地区班の連携を図り、地区児童の連帯意識を高める。あわせて、学校生活における望ましい人間関係を育成する。
- ・ 花作り（菊・菜の花・ひまわり等）や、動物の飼育を通して豊かな心を育むとともに、生命尊重

の精神を培う。

- ・和室を有効に活用し、日本の文化や伝統を尊重する態度を養う。
- ・校内・校外の奉仕活動を通して、地域社会の一員としての自覚を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・日常生活に必要な基本的な行動様式を身につけさせ、安全で秩序ある学校生活を送らせる。
- ・全教育活動を通して、温かい人間関係を培い、児童一人一人が意欲的に学校生活が送れるように努める。そして、学校生活が望ましい自己実現の場になるよう、児童一人一人の個性や能力・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。

イ 進路指導

- ・自己を見つめ、新しい学年へ向けての意欲と自覚を高める。
- ・児童一人一人が、正しい勤労観・職業観を身につけるよう努める。
- ・児童が自己の個性を生かし、自己実現に向かって努力する態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

子どもの意欲をのばす理科の授業

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く格差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがちな傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げること、また、隣接地域の風にふれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

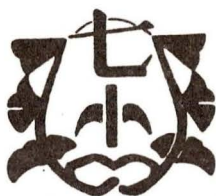
○たてわり活動

たてわりミニ遠足

子ども祭り 六年生を送る会

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	都・文部省委員	海外派遣	研 究 員
1	兼島 政邦（61. 科学研究B）		兼島 政邦（58. 理科）
2	兼島 政邦 （59. 都研究奨励費B）		飯田 国代（60. 特活）
3	飯田 国代 （61. 都研究奨励費）		岡本 美治（56. へき地教育） （62. 図工）
4			塚本 純子（元・ 理科）
5			高橋 智子（63. 保健）
6			千葉 正美（ 4. 道徳）



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明 3-2
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 J R 中央線日野駅下車 徒歩約 10 分
児 童 数 男 310 名 女 301 名 計 611 名

校長氏名 小 林 繁 人

教頭氏名 難 波 和 子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 4. 開校 12 学級 児童 384 名
トラックを除く運動場全面に洋
芝の植付け
6. 校章制定
9. 校旗制定
12. 校歌制定
- 昭 49. 3. 「校舎体育館落成記念式」及び
「校歌発表会」举行
3 月 1 日を開校記念日に制定
第 1 回卒業式 卒業児童 45 名
4. 開校 2 年め 入学児童 77 名
- 昭 52. 4. 開校 5 年め 入学児童 79 名
13 学級となる。教室不足のため、
プレハブ教室 2 増設
10. 校舎の増築工事着工
- 昭 53. 4. 学級数 14 となる。
5. 増築工事竣工 普通教室 6
図書室 1
- 昭 54. 4. 第 7 回入学児童 93 名
15 学級となる。
- 昭 55. 4. 第 8 回入学児童 111 名
17 学級となる。
- 昭 56. 4. 第 9 回入学児童 128 名
転入児童第 2 学年以上 82 名
18 学級となる。
- 昭 57. 4. 第 10 回入学児童 128 名
19 学級となる。
- 昭 58. 4. 増築工事竣工、普通教室 4、教
材室等 3、昇降口、便所
創立十周年記念式典
- 昭 62. 4. 第 15 回入学児童 103 名
- 昭 63. 4. 第 16 回入学児童 115 名
- 平 元. 4. 第 17 回入学児童 120 名

- 平 2. 4. 第 18 回入学児童 102 名
- 平 3. 4. 第 19 回入学児童 96 名
- 平 4. 4. 第 20 回入学児童 108 名
- 平 5. 4. 第 21 回入学児童 73 名
17 学級となる。

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
初代	星 野 武 之	48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
2代	上 部 正 彦	52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
3代	梅 田 茂	56. 4. 1 ～ 58. 7. 27
4代	和 田 国 平	58. 9. 1 ～ 63. 3. 31
5代	小 幡 建	63. 4. 1 ～ 4. 3. 31
6代	小 林 繁 人	4. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約 10 分。日野台地に設置されている。

校地の周囲は、住宅が増え、昔ほどの緑は少なくなっているが、屋上に上ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地を隔てて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には、遺跡が発掘されている。教育的には環境に恵まれた場所と言える。

本校の児童の約 60 % は中央線の線路を隔てた西側の住宅地に居住している。この地域はここ 10 数年の間に、旧甲州街道ぞいに増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅がある。なお、本校の周囲には、大学、市庁舎、日野ふるさと博物館、消防署等があり、児童が学習するに最適の地域であると思われる。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のビ

ークが、児童の登校時間帯と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神を基調とした心身共に調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざし、次の教育目標を定める。

- 自分の力で考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおすすめ子（本年度の重点目標）
- じょうぶな体をつくる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校生活全般を通して、力いっぱいやりとおすすめ意志力と活力に満ちた行動・態度を培うと共に、児童の個性や能力に応じた教育活動をすすめて、児童・教職員が互いに啓発し合い、保護者及び地域社会の協力のもとに学校の教育目標の具現化につとめる。

- 1) 学校の教育目標に基づく学年・学級目標を設定し、児童の個性を生かした学年・学級経営を推進し、児童一人一人の自己実現を図る能力と態度を育成する。
- 2) 自らすすんで健康の保持・増進・体力の向上を図る能力・態度の育成をめざし、生命の尊厳を基盤にした、組織的、計画的な教育を推進する。
- 3) 生涯を通じて学び続ける児童の育成をめざし、そのために各教科等の基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、体験的な活動を重視した指導内容、方法及び評価の改善を図る。
- 4) 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、自然や崇高なものへの豊かな心の育成をめざすと共に、全教育活動の特質を生かし自立心と連帯感を高める道徳教育を推進する。
- 5) 健全な社会人の育成をめざし、学校週五日制を児童の自己生活力育成の機会とすると共に、地域社会に根ざした教育活動を推進し、「心のふるさと」となる学校、郷土の形成者としての資質を養う。

5. 本年度の指導の重点

本年度の重点目標「力いっぱいやりとおすすめ子」

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 具体的活動を通した触れ合い励まし合う体験の尊重・集積を図る。
- 児童が自ら学ぶ学習活動のあり方を工夫する。
- 授業の充実をめざし、教育環境の整備に努め、活用を図る。

イ. 道徳

- 教育活動全体の中で行う。
- 力いっぱいやりとおすすめ子にむけて、自主自立・創意・勤勉の心を培い、思いやりの心を育てる。
- 実践体験を豊かにし、道徳の時間には、それを補充・深化・統合する。

ウ. 特別活動

学級会活動を基盤とし、児童活動・クラブ活動への一人一人の参加意識を高めることにより、自主的・実践的な態度や力いっぱいやりぬく力を育て、健康で明るい充実した学校生活をおくらせる。

(2) 特色ある教育活動

- 異学年班での活動を特別活動内容に位置づけ児童間の連帯意識と高学年児童のリーダー性を高める。

- 環境副読本を活用し、よりよい環境をつくろうとする態度を育てる。
- 老人福祉副読本「ふれあい」を活用し、老人との関わりや理解を深める。
- 「読み聞かせ」「プラスバンド」活動を通して、心の豊かさを深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 基本的な生活習慣を発達段階に即して身につけさせると共に、相手の立場を考えて行動できる児童の育成に努める。
- 「力いっぱいやりとおす子」の教育を推進し、自ら自己を高めていく力を育てる。
- 保・幼・小・中学校の連携を密にし、生活指導の一層の充実を図る。
- 教育相談、就学相談組織の充実を図り、生活・学習への適応指導の充実を図る。
- 地域・保護者を交えての健康・安全指導見直しをすすめ、児童の学校内外生活での充実を図る。

イ. 進路指導

- 自己の個性を自覚し開発させ伸長させるために、児童の特性を把握し、認め励ます指導を通して、自ら目標を決め、努力できる力を育成する。

6. 本年度の研究主題

(1) 研究主題名

「児童一人ひとりが自ら学ぶ学習活動の工夫」 ―地域教材の開発（社会科）―

(2) 研究内容の概要

- ◎重点教科を社会科としての初年度であることを踏まえ、基礎的・基本的研究を充実させる。
- 地域において活用できると思われる教材について採索・調査・収集する。
- 収集した教材について検討し、授業に活用できる資料作成をする。
- 資料を授業に活用し、実証する。
- 講師を招聴し、指導方法の改善・授業の質の向上を図る。
- 研究内容を集録としてまとめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進める。そのために、①異学年班活動を通して児童の連帯意識を育てる。②児童・教師の相互の交流を創意ある活動を通して深める。③個性尊重の教育を通して自ら学ぶ意欲を高める。
- (2) 自然に学び、自然に働きかける学習を通して、力いっぱい取り組む子を育てる。そのために、①自然を取り入れた全体学習計画の作成・実施。②校外・校庭・屋上等の活用により勤労生産学習意欲を高める。③池・学級園の整備、動物との触れ合いを通して自然への関心を高める。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No	研 究 員	研 究 生	開発委員会委員
1	小林 繁人(53・教育課題)	小林 繁人(44・経営)	難波 和子(63・家庭)
2	齋藤美智子(56・国語)		
3	小坂 克信(元・社会)		
4	小畑由美子(5・理科)		



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平 4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩 15 分
児 童 数 男 224 名 女 204 名 計 428 名

校長氏名 有 泉 徹 郎

教頭氏名 高 橋 茂 子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 12. 27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定
- 昭 49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室 11 職員室 1、校長・事務室 1、特別教室 1、他に潤徳小新館に 4 教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数 15、児童数 535 名、教職員 22、市職員 4 名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
総工費 220,166 万円
敷地面積 26,535 鉄筋コンクリート四階建防音校舎 4,456 m²
5. 22 南平小学校 PTA 設立
11. 15 本校舎完成
普通教室 20、特別教室 5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
11. 22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととし、校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行
当日を本校開校記念日として制定する。
11. 29 本校舎へ移転
11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了
12. 31 体育館完成
- 昭 50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭 53. 3. 15 校舎 3 教室増築
- 昭 54. 12. 21 体育倉庫（プレハブ）完了

- 昭 56. 3. 27 校舎 3 教室・図書室増築
9. 15 NHK 全国学校音楽コンクール
東京地区において優良校として受賞
- 昭 57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う
- 昭 58. 3. 31 学校園整備を行う
- 昭 59. 11. 22 十周年記念式典、祝賀会を行う
- 昭 61. 8. 25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭 62. 11. 4 体育館照明器具設置
- 昭 63. 1. 23 体育館屋根塗装
3. 19 体育館緞帳改修
3. 19 校舎北側万年べいの改修工事
8. 31 家庭科室机新設
12. 20 体育館北側防音壁完成
- 平元・ 8. 30 体育館床面、家庭科室改修工事
陶芸釜設置完了
10. 16 ランチルーム開設
- 平 2. 1. 24 ランチルーム机・椅子新設
- 平 3. 2. 13 プール槽塗装、更衣室屋根塗装
- 平 4. 3. 17 ランチルーム床、壁面、窓等全面改修
4. 6. 1 生活科ゾーン完成（田んぼ 2 枚、井戸 2 基、水路、池等）
4. 7. 2 校庭南東フェンス改修工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
黒 沢 保 雄	昭 49. 4. 1 ～ 55. 3. 31
松日楽 敬 治	昭 55. 4. 1 ～ 59. 3. 31
鈴 木 敏 郎	昭 59. 4. 1 ～ 62. 3. 31
石 井 三 士	昭 62. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
有 泉 徹 郎	平 3. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんぺいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下（昔からの唯一の集落）京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法に基づき、児童及び地域の特性をふまえ以下の児童の達成をめざす。

- 自ら考え学ぶ子
- 目あてをもってやりぬく子
- おもしろい子
- 健康でたくましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・主体的に学習する児童の育成を図るため、体験を通して意欲や興味・関心を高める指導法の研修に努める。
- ・個性の伸長を図るため、児童の興味・関心を基にして基礎的基本的能力を育成する授業の実践に努める。
- ・児童相互および児童と教師、保護者との心の交流を図り、人権尊重の精神を涵養するため、学年・学級経営の充実に努め、社会性を育む。
- ・体力の向上、健康安全の保持増進を図るため、地域および校内の環境を整備し計画的に指導する。
- ・互いに尊重し合う人間関係の確立を図り、あわせて国際理解の基礎を培うため、地域およびわが国の文化、伝統の理解に努める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ・児童の相互に磨き合う活動を通して、自ら考え正しく判断できる能力を養う。
- ・体験的活動を通して、意欲、興味・関心を高め基礎的基本的内容を主体的に獲得させる。
- ・ひとりひとりの個性を生かし、課題に向かってねばり強く追求する態度を育てる。

(2) 道徳

- ・人間尊重・生命尊重の精神を生活の中に生かす道徳的实践力を育成する。
- ・相手の立場に立って考え、行動できる思いやりの心を育てる。
- ・善悪についての判断力を育てるとともに、真善美の価値についての感性を育てる。

(3) 特別活動

- ・社会性を育むとともに、協力してより良い学校を築く態度を育てる。
- ・学級活動の充実に努め、主体的、意欲的にとりくむ態度を育てる。
- ・学校行事への主体的な関わりを通して、連帯感、所属感を育てる。

(4) 特色ある教育活動

地域や児童の特性を生かし、学校や教師の創意工夫により充実した学校生活を体験させる。

- ・生産体験活動を通して、自然の恵みや勤労の尊さ、地域の文化伝統への理解を培う。
- ・心身の健やかな成長を図るため、水泳、縄跳び、持久走等の活動を通して、生涯に渡って健康な生活を営む素地を養う。

(5) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・児童一人一人の成長への意欲、願いを的確に把握し、自己確立を援助する。
- ・自己を厳しく見つめさせ、進んで生活を改善していく意欲をもたせる。
- ・家庭、地域と連携し、望ましい生活習慣を育てる。

イ. 進路指導

- ・児童一人一人の実態を把握し、長所を認め援助し、生涯に渡って学び続けることの喜びを持たせる。
- ・自己の特性、長所に気付かせ、意欲的に自己実現を図る態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

今年度の研究主題を「児童の主体性を生かす学習活動の研究」と定め、豊かな体験を通して科学的・論理的な思考を育てると共に新設された生活科ゾーンを活用しながら体験的な学習を組み立て、自主的・実践的態度を育てる授業研究に取り組む。

7. 本校の特色

- (1) 本校の児童は、素直で、礼儀正しく落ち着いている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。
- (2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。
- (4) 学校生活の主人公は児童である認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。
- (5) めぐまれた学校施設・設備・校庭の完備、自然条件等、教育環境は、最高である。
- (6) 体験学習を重視している。米づくり、いもづくりを軸として、地域と連携を保ちながら、生産活動を行い、収穫を祝う会、わら細工等を実施している。

8. その他

内訳 No.	研 究 員	現代化委員・開発委員
1	有 泉 徹 郎(54 国語)	
2	井 上 久美子(55 保健)	
3	吉 田 弘(元,教育方法)	
4	高 橋 茂 子(3 特別活動)	



学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保 1-14-2
電 話 0425-92-5014・5015
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて 5 分
中程久保下車徒歩 3 分
児 童 数 男188 名 女 182 名 計 370 名

校長氏名 倉 重 利 恵

教頭氏名 小 原 良 雄

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

- 昭 52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校
に開設準備室を設置
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数 18 児童数 652
教職員 26 市職員 8
7. 15 体育館竣工
10. 20 落成式挙行、この日を開校記念
日とする。校歌・校章発表会を
開く
- 昭 53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置
(1 教室) 19 学級
- 昭 55. 1. 18 体育倉庫竣工
11. 11 飼育舎竣工
- 昭 56. 12. 17 受水槽竣工
- 昭 57. 5. 13 校庭フェンス側散水栓着工
- 昭 58. 6. 1 校庭砂場新設着工
6. 15 校庭砂場新設竣工
11. 4 球技場(テニスコート)工事着工
12. 20 同上工事竣工
- 昭 59. 2. 15 プール改修工事着工
2. 29 同上工事完了
7. 27 校庭除石工事を行う
8. 14 体育館ステージ照明設備工事
- 昭 60. 7. 21 校庭整地着工
8. 29 校庭整地完了
- 昭 62. 10. 4 第 11 回開校十周年記念運動会
を行う

- 昭 62. 11. 6 開校十周年記念式典を行う
11. 14 第 4 回開校十周年記念展覧会を
行う。
- 昭 63. 8. 普通教室黒板改修
- 平 元. 6. 30 エアコン設置(事務室)
8. 1 放送室 A V 卓取替え
11. 7 市の研究奨励を受け研究発表を
行う テーマ「豊かな心を育て
る体験学習」
- 平 2. 6. エアコン設置(校長室)
8. 花壇防球フェンス完成
職員室流し台移動・修繕
10. プール道路側フェンス(目かく
し用)完成
- 平 3. 1. ランチルーム用テーブル椅子購
入
2. 球技場(テニスコート)フェン
ス改修
- 平 4. 8. 職員トイレ中間壁工事完了
10. ランチルーム完成
- 平 5. 3. 飼育舎完成

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
渋谷 義 一	昭 52. 2. 1 ～ 昭 58. 3. 31
大 島 昭 子	昭 58. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
三 浦 勝 也	昭 62. 4. 1 ～ 平 2. 3. 31
倉 重 利 恵	平成 2. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、生命・人権の尊重を基調とし、個性豊かで主体的に学び国際性を身につけた児童の育成を期して次のように教育目標を定める。

- 一、 元 気 ○健康で生き生きした子ども
- 二、 本 気 ○自ら考え進んで行動する子ども
 ○心豊かで思いやりのある子ども
- 三、 根 気 ○目標に向かって努力する子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各 教 科

前項の基本方針を受け、指導計画の作成、指導内容・方法の改善につとめながら、次のことを重点として指導していく。

- 児童の関心・意欲・態度の育成をめざし、指導と評価の一体化を図る。
- 教材研究を深め、自己学習力を育成するとともに個性・能力に応じた授業を追求していく。
- 地域教材を開発し、その活用を図る。

(2) 道 徳

- 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につける。
- 体験学習をとおして人間性豊かで、思いやりの心をもった児童の育成に努める。
- 教材研究に取り組み、指導法の創意工夫をはかり、道徳性の内面化及び実践的態度を育てる。
- 道徳教育の全体計画のもとに、各教科、特別活動等、全領域のなかで道徳的实践力を高める。

(3) 特別活動

- 体験学習を通して主体的な態度を養い、協力して楽しい学校生活を計画実践できるようにする。
- 学級活動の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自主的に参加できる児童を育て、学校生活にうおいと変化をもたせる。
- 地域と連携して体験的な活動を行い、日常生活の中で実践する態度を養う。

(4) 特色のある教育活動

- 朝の5分間運動の時間を設定して体力づくりに力を入れる。
- 異年齢集団を編成して集会活動や清掃活動等を行い、児童相互の社会性を培う。
- 「やまゆり」の時間を設けて、児童一人一人の個性能力に応じた指導を工夫し、諸々の体験学習を計画実践していく。
- 隣接校との交流を深めるための諸活動を計画し、実践していく。
- 教師、児童、保護者の一体となった実践活動を通して、相互理解と心の交流を図る。
- 自然環境を愛護・保全する態度を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- みんな仲良く個性を認め合って助け合い、楽しい学校づくりに努めさせる。
- 目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。

- 学校・家庭・地域が連携を深める中で、基本的生活習慣を身につけて行動できる児童を育てる。
- 児童の発達段階に即して安全教育の徹底を図る。
- 特に配慮を要する児童には、研修を深め、組織的に指導を行う。

イ 進路指導

- 児童の個性、能力の伸長を図り、将来にわたって自己実現の図れる態度を培う。
- 家庭・地域社会での勤労の実態を学習し、望ましい勤労観・職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

「子どもの意欲が生きる学習指導」

- 低学年から体験を深めていき、高学年では問題解決学習へと発展した指導を追求する。
- チーム・ティーチングを導入した学習により、個に応じた教育を推進する。

7. 本校の特色

学校生活全般を通して、児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、自ら学ぶ態度と主体的に取り組む態度を育てるとともに、人の気持ちや立場を考えて行動できる心情、実践力を養うことに努める。このため教師の指導力を高め、計画的に研究・研修の充実を図り、指導に創意工夫をしていく。

- ① 学校の教育目標に基づく学年・学級の目標を設定し、児童の実態に即した学年・学級経営の充実を図り、集団のモラルと質を高めていく。
- ② 全教科・領域にわたって学習指導要領の趣旨にそい、体験的な活動を重視し、児童の主体性や感性の育成に努める。
- ③ 児童自らが体力づくりにはげむよう、全校的な取り組みを行い、健康安全に関する理解を深め、日常的に実践する態度を養う。
- ④ 特別活動の充実を図り、体験や実践を通して自主的な集団活動を育てるとともに個性の伸長を図る。
- ⑤ 地域に根ざした教育推進のため、地域の自然・文化・人材の活用を積極的に教育計画に取り入れる。
- ⑥ 道徳教育の充実を図るとともに、地域の人々・心身障害児・高齢者・帰国児童等多くの人々との相互理解を図り、豊かな心の教育を推進する。
- ⑦ 学習指導と評価の一体化を図り、個に応じた指導の充実と生涯にわたって学び続けるための自己学習力を身につけさせる。
- ⑧ 教師相互が研究・研修を深め、複数の教師による指導など取り入れ学習指導の改善に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1	倉重 利恵(54 国語)		
2	小原 良雄(62 道徳)		
3	田島 佳子(平3 保健)		
4	西森 恵子(平4 家庭)		



学 校 名	日 野 市 立 旭 が 丘 小 学 校
所 在 地	日 野 市 旭 が 丘 5 - 2 1 - 1
電 話	0 4 2 5 - 8 3 - 3 7 3 3 ・ 3 7 4 8
順 路	中 央 線 豊 田 駅 北 口 下 車 徒 歩 2 5 分 京 王 ・ 都 バ ス (石 川 入 口) 下 車 1 0 分
児 童 数	男 4 2 5 名 女 3 7 5 名 計 8 0 0 名

校長氏名 信 夫 清 彦

教頭氏名 品 田 敏 男

1. 沿革の概要

昭 51. 8. 18 起工式
市議会は、日野市旭が丘小学校
の設置を決定

昭 52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令
3. 31 教頭、教諭等 25 名、市職員 8 名
計 33 名発令
4. 6 第 1 回入学式 149 名 4 学級
全校 18 学級 707 名
5. 20 校舎完成
6. 30 プール完成
7. 20 校章制定
8. 15 体育館完成
11. 21 校歌制定。開校式典

昭 53. 3. 25 第 1 回卒業式 110 名
4. 6 第 2 回入学式 163 名 4 学級
全校 20 学級 758 名

昭 54. 4. 6 第 3 回入学式 156 名 4 学級
全校 21 学級 833 名

昭 55. 4. 7 第 4 回入学式 193 名 5 学級
全校 23 学級 916 名
10. 13. 体育館ボーダーライト工事

昭 56. 4. 6 第 5 回入学式 145 名 4 学級
全校 24 学級 904 名

昭 57. 2. 27 「雑木林の小道」完成式
4. 6 第 6 回入学式 136 名 4 学級
全校 24 学級 895 名

昭 58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成
4. 6 第 7 回入学式 135 名
全校 21 学級 863 名
8. 11 給食室排水工事完成

昭 59. 4. 6 第 8 回入学式 144 名
全校 21 学級 850 名

昭 59. 12. 10 堆肥小屋とプール塗装工事開始

昭 60. 1. 20 プールフェンス工事開始
4. 6 第 9 回入学式 123 名 3 学級
全校 20 学級 823 名

昭 61. 1. 13 プール排水工事・シューテング
ボード工事
4. 7 第 10 回入学式 139 名 4 学級
全校 20 学級 764 名
6. 4 理科室天井工事(了)
8. 31 A V 調整卓が入る
理科室・図書室の暗幕取替え

昭 62. 1. 7 プールの平板工事(了)
4. 6 第 11 回入学式 116 名 3 学級
全校 20 学級 737 名
11. 22 開校 10 周年記念式典
12. 23 大熊校長御逝去

昭 63. 1. 7 体育館屋根塗装
10 周年記念日時計工事
1. 30 故大熊校長献花式
4. 6 第 12 回入学式(男 55 女 76
計 133 名)
8. 25 放送室・図書室工事・洗浄機取
りつけ完了
10. 16 5 学年増級 4 学級(男 79 女
57 計 136 名) 21 学級
12. 23 故大熊校長遺稿集発行

平 元. 4. 6 第 13 回入学式(男 78 女 68
計 146 名)
5. 26 給食室クーラー設置
平 2. 6. 25 校長室エアコン設置
7. 28 体育館バスケットゴール取付
平 3. 1. 16 学区変更説明会
4. 6 始業式、入学式 児童数 860 名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小野寺 東 雄	昭 52. 2 ～ 昭 58. 3
大 熊 喜 一	昭 58. 4 ～ 昭 62. 12
飯 沼 宏	昭 63. 1 ～ 平 3. 3
信 夫 清 彦	平 4. 4 ～

- 平 3. 8. 7 体育館床張りかえ工事
- 4. 2. 29 旭小 15 年を語る会
- 4. 4. 6 入学式、始業式 827 名
- 4. 8. 4 校庭測量
- 4. 9. 12 備蓄倉庫設置
- 5. 2. 15 生活科用畑工事

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西 2 km 南北 1.5 km と広く、学校が西に偏在しているため、通学時間 30 分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集合住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、畑や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。集合住宅が増加中で、学区変更が策定されている。学級増の傾向がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- よく考える子ども
- なかよくする子ども
- がんばりぬく子ども
- からだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 「よ・な・が・か」を地域ぐるみの合い言葉とし、旭が丘小 16 年の成果をふまえ、今日的視点から教育活動を見直し、教育目標の達成を目指す。
- ② 学校教育目標の第 1 項「よく考える子ども」を重点目標とし、系統的有機的に諸研究を推進し教育目標の達成を目指す。
 - そのために、
 - ・基礎基本の重視と個性を生かす教育の推進
 - ・体験的な学習活動
 - ・児童の側にたった学習過程・学習活動の工夫
 - ・地域を生かした教育活動の推進 ……………を図る。
- ③ 共感的児童理解をもとに、人間尊重の精神と基本的生活習慣の確立を図るとともに、豊かな人間性を育てる心の教育を推進する。
- ④ 児童・保護者から信頼される教師をめざし、一人一人の児童に「子供によく考えさせる授業」を行うため教職員の研究・研修活動を充実する。
- ⑤ 保護者や地域の声に十分耳を傾け、緊密な連携のもとに、児童の学習環境・生活環境の充実を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけ、個性を生かす教育活動を進める中で学ぶ意欲と学習の仕方を知得させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・児童の主体的な学習活動を促すため、体験的な活動を取り入れ、学習活動の多様化を図る。また、地域を生かした教育活動を大切にし、地域の人々や地域の環境を教育活動に生かしていく。

イ. 道徳

- ・児童の実態に即してねらいを重点化し、教育活動全体を通して自ら考え、正しく判断し、行動する主体的な道徳的実践力の向上に努める。
- ・道徳の時間は指導計画に基づき多様な指導資料を活用するとともに指導方法を工夫する。

ウ. 特別活動

- ・集団活動に積極的に参加し望ましい人間関係を築き、自ら考え行動する児童の育成に努める。
- ・学校行事では体験的な活動、個性を生かす活動を重視し、日常の学習の総合的発展の場とする。
- ・日常生活への適応、健康・安全の生活態度の指導では教師の意図的・計画的指導を強める。
- ・「全校活動」の時間を通して、たてわり集団の中で生き生きとしたまとまりのある交流を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・「創活の時間」を確保し、個別指導、飼育・栽培活動、雑木林の活用、学年・学級の交流等により、児童一人一人に自然愛護、勤労意欲、連帯感を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

- ・基本的な生活習慣を身に付け、自立心・自律心を高める力を育てる。
- ・教育相談の機能を高め、問題をもつ児童への組織的対応を進める。
- ・体験的な活動を通して成就感・達成感を味わわせ、自ら考え判断し決定する能力を育成する。
- ・各種の催し物・競技会への参加を働きかけ、個性や特性を伸ばす援助を行う。

6. 本年度の研究課題

- 子どもによく考えさせる授業のあり方

7. 本校の特色

- (1) 「よく考える子ども」の育成を重点目標に設定。
- (2) 授業の活性化をめざす校内研究体制づくり。〈「よく考える子」の育成を大テーマとして〉
- (3) 雑木林を宝として、その保存と活用への指向。雑木林の付加価値を高める思考。
- (4) 体験的学習の場の充実を目指して。一人一鉢の菊づくり、椎茸栽培・茶摘み用苗木の育成、小動物との交流の場づくり等への指向。
- (5) 地域教育力との大いなる連携。スポーツ保険を軸として学校と地域が一体化し、元旦マラソン・八ヶ岳ジャンボリー・旭が丘少年野球リーグなど学校創立以来の組織的な健全育成への着実な展開。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	信夫 清彦（54・体育）	品田 敏男（2・社会）	信夫 清彦（57・体育）
2	品田 敏男（63・社会）		
3	長田美枝子（4・給食）		
4	上條 茂（5・社会）		



学 校 名 日野市立平山台小学校
 所 在 地 日野市平山2-1-1
 電 話 0425-92-6381・6382
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 15 分
 児 童 数 男 115 名 女 122 名 計 237 名
 (内わかくさ学級 9 名)

校長氏名 波多野 坦 教頭氏名 齋 藤 正 子

1. 沿革の概要

昭 53. 1. 7 現在地に建設着工
 4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山 1, 2, 3, 6 丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男 268 名、女 282 名 計 550 名 17 学級(心障 2 学級含)の規模で開校する。
 10. 24 校舎落成式 校章発表
 11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
 昭 54. 3. 9 開校記念校歌発表会
 11. 10. 心障学級作業学習 コーナー設置
 昭 55. 3. 20 校舎増築 8 教室完成
 8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
 10. 20 野焼きの授業展開、テレビ放映
 昭 56. 3. 18 屋上フェンス(音楽室上)完成
 4. 1 男 385 女 367 計 752 名、22 学級(心障 3 含む)
 昭 57. 4. 1 男 356 女 348 計 724 21 学級(心障 2 含む)
 8. 30 図書館改装 ガス配管工事完了
 昭 58. 4. 1 男 335 女 337 計 672 20 学級(心障 2 含む)
 10. 30 屋外バスケットボール施設完了
 昭 59. 4. 1 男 290 女 312 計 602 16 学級(心障 1 含む)
 3. 屋上フェンス完成・校舎増築完成
 昭 60. 4. 1 男 276 女 273 計 549 17 学級(心障 2 含む)
 12. 9 プール全面塗装
 昭 61. 4. 1 男 236 女 245 計 481 名 15 学級(心障 1 含む)

昭 61. 12. 8 研究公開(体育を中心とする)
 昭 62. 3. 30 体育館どん張取替
 4. 1 男 215 女 208 計 423 名 14 学級(心障 1 含む)
 昭 63. 2. 5 研究発表公開(心障)
 昭 63. 4. 1 男 191 女 175 計 366 名 13 学級(心障 1 含む)
 8. 体育館照明装置取付け
 11. 19 開校十周年記念式典挙行
 平 元. 3. 体育館バスケットゴール取付け
 4. 1 男 167 女 171 計 338 名 14 学級(心障 2 含む)
 4. 日野市研究奨励校
 5. 2 文部省心身障害児理解推進校指定
 8. 30 多目的教育工事完成
 平 2. 4. 1 男 151 女 146 計 297 名 13 学級(心障 2 含む)
 10. 26 文部省心身障害児理解推進校研究発表
 10. 30 ふれ合い広場完成
 平 3. 4. 1 男 135 女 138 計 283 名 12 学級(心障 2 含む)
 10. 屋上防水工事
 平 4. 4. 1 男 131 女 121 計 252 名 12 学級(心障 2 含む)
 平 5. 4. 1 男 115 女 122 計 237 名 10 学級(心障 1 含む)

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 川 格	昭 53. 2 ～ 昭 57. 3
蓮 池 守 一	昭 57. 4 ～ 昭 61. 3
野 村 武 郎	昭 61. 4 ～ 昭 63. 9
馬 淵 金 男	昭 63. 10 ～ 平 3. 3
波多野 坦	平 3. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きに開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大島瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく、体験学習をする上での生きた教材を得た学校である。学区は京王電鉄が造成、分譲した平山 1, 2, 3 丁目に加えて、平山 6 丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に努めているため、静かで落ちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法・教育基本法の示す国民の育成に努めるために、地域・児童の実態を基に、学校の教育目標をさだめる。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自らを考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子（本年度重点目標）
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

〈目標達成のための基本方針〉

- ① 体験的な学習を重視し、学ぶ楽しさを味わわせ、自ら学ぶ意欲・態度を育成する。
- ② 本年度重点達成のため、小規模校の特性を生かして、教師と児童、児童相互の結びつきを深め、協力的に活動する児童を育成する。
- ③ 全教育活動を通じて郷土や諸外国への理解を深め、生命を尊重し、心身のたくましさを持つ児童を育成する。
- ④ 児童一人一人の学習の過程や成果を的確に評価し、個性や能力を生かした指導を実現する。
- ⑤ 教師一人一人が研修に励むとともに、全教師による協力的指導体制を確立する。
- ⑥ 授業時数を確保し、家庭・地域との連携を密にすることにより、あらゆる場において、児童の生活が充実し、豊かな学習ができるようにする。

5. 本年度の指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特活の指導の重点
- ア. 各教科

自ら課題を設定し、児童が意欲的に取り組む授業の創造を目指す。

- ① 基礎的・基本的事項の定着を図るため、個に応じた指導法の評価の在り方を工夫する。
- ② 意欲・関心・表現力を育てる体験学習を重視し、合同学習等小規模校のよさを生かした学習を展開する。

イ. 道 徳

心豊かに、よりよく生きようとする児童の育成を目指す。

- ① 児童一人一人が自己を見つめる道徳の授業を工夫し、道徳的实践力を高める。
- ② 年間指導計画を基に、あらゆる教育活動を通じて、道徳的实践力を身につけさせる。

ウ. 特別活動

児童が集団社会の一員としての自覚を高め、楽しく落ち着きのある生活の展開を目指す。

- ① 児童一人一人の個性を尊重し、創意を生かした学級活動を心がける。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を自発的・自治的に解決する力を育てる。
- ③ 小規模校の特色を生かした異学年の交流を通して、全児童の心の結びつきを深める。

(2) その他の活動

- ① 学校生活に喜び、潤い、充実感を与えるための活動を行い、豊かな心を育てる。
(花づくり、子ども祭り、オリエンテーリング等)
- ② わかくさ学級との交流で、全児童に障害のある児童についての正しい理解と認識を育てる。
- ③ 地域との交流を計画し、連帯感や帰属感をたかめる。(ほほえみ給食、運動会等)

(3) 生活指導、進路指導

- ① 児童が集団の中で生き生きとされる喜びの場を通して、個性や能力を伸張し、個の確立を目指す。
- ② 基本的生活習慣の徹底を図るとともに、自制心・自立心を育てる。
- ③ 家庭・地域社会及び関連機関との連携を密にし、協力体制を強化する。

6. 本年度の研究主題

「めあてを持ち、生き生きと学習する指導法の工夫」

7. 本校の特色

- 開校16年目。市内全域がほぼ見渡せる。恵まれた自然環境の教材化を図っている。
- 小規模校の特徴を生かし、和やかな雰囲気と、全校たてわり活動による協働、共学を図っている。
- 心障児と健常児との交流をすすめたり、地域の老人クラブとふれ合う体験を通して「心豊かな心やさしい子の育成を目指す」心の教育を推進している。
- 地域の要請に応える教育力の提供について、青少年育成会等と協力したり、地域行事への参加をしたりしてその具体化を図っている。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	波多野 坦(45.国)	久 保 雅 子(57.図工)
2	中 村 康 成(55.体、61道)	
3	齋 藤 正 子(63.書写)	



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町 3-24-1
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 10 分
児 童 数 男 194 名 女 174 名 計 368 名

校長氏名 鍋 田 良 子

教頭氏名 武 内 忠 雄

1. 沿革の概要

- 昭 52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭 53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～ 54. 5. 31
昭 54. 3. 10 体育館建設工事着工
～ 54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町 3 丁目と栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目を東光寺小学校の学区と定める。児童数 545 名（男 287 名 女 258 名）15 学級の規模で開校する。
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 17 PTA 創立総会
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露・校歌発表
昭 57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭 62. 11. 20 東京都図画工作研究会南多摩研究大会会場となる。
平 4. 3. 31 飼育舎（ログハウス）新設
平 5. 3. 31 卒業生総数 1,127 名となる。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 田 智	昭 54. 2. 1 ～ 58. 3. 31
近 内 信 輝	昭 58. 4. 1 ～ 60. 3. 31
志 村 桂 次	昭 60. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
鍋 田 良 子	平 4. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町 3 丁目、栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目で、東西 1.8 km、南北 0.8 km と東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は、遠い児童で 15 分である。

学区には、天正 16 年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化にしたがって兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法の精神に基づき、「心身共にたくましく、主体的・創造的に生きる児童の育成」を目指し、次のように教育目標を設定する。

- 明るい子ども
- 考える子ども（本年度重点目標）
- 強い子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 主体的に学ぶ意欲の高揚を図ると共に、人間としての生き方について自分の考えが持てる児童の育成を図る。
- ② 人間として必要とされる基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、児童一人一

人の個性を生かした教育の推進に努める。

- ③ 児童が、自ら進んで健康の増進や体力の向上を図ることができるように、健康・安全教育を計画的組織的に推進する。
- ④ 学級経営の充実を図り、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築き、豊かな体験活動や触れ合い活動を通して、互いに認めあい、学びあい、他を思いやる心を育てる。
- ⑤ 家庭・地域との連携を深め、より開かれた学校を目指すと共に、地域の文化や伝統及び環境問題への理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任感を養う。
- ⑥ 教師一人一人が職能成長に努め、より緊密な協働体制を確立すると共に、人的・物的教育環境の向上を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 地域素材の教材化・活用等を行い、児童一人ひとりの学習への興味・関心を高め、自ら進んで学習に取り組む事ができるよう、自主的な学習態度を育てる。
- 一人一人の個性や能力に応じた学習の指導法を工夫し、各教科の基礎的・基本的な内容を身に付けさせると共に、発表の場を確保し表現力の向上に努める。
- 地域や学校の特性を生かし、生活科をはじめ、各教科を通して豊かな体験学習を系統的に行い、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる。

イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、相手の立場にたって考え、行動できるなど道徳的实践力を全教育活動を通して育てる。
- 各教科の指導や生産体験学習、生き物との触れあい等を通して、自他の生命や人格を尊重し、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育成する。
- 勤労の尊さを理解させ、学校や地域への奉仕の気持ちを深め、進んで働く態度を育成する。

ウ. 特別活動

- 児童の発想や創意を生かし、自ら進んで活動し、集団の一員としての自覚を持ち学校生活を充実向上させていこうとする態度を育てる。
- 自分の生活を見つめ、進んで考え、自ら責任を果たそうとする態度を育てる。
- 地域社会や自然とかかわり触れあえる活動を多く経験させ、進んで学校や地域に奉仕する態度を育成する。
- 自分の特性を知り、学校生活で進んでそれを生かし、更に伸ばそうとする積極的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 地域の豊かな自然や広い校地を活用し、児童の創意を生かした異学年活動を行い、地域の人々や児童相互の好ましい人間関係を育み、児童が自ら進んで考え行動できる教育活動を推進する。
- PTA、地域の人々との協力のもと、休耕田・花壇等を活用した生産体験活動や奉仕活動に進んで取り組ませ、生き物を育てる楽しさ・大切さを知らせ、勤労意欲や豊かな心を育成する活動を積極的に進める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教育活動を通して、進んで学校生活のきまりを守り、話を聞く態度を育てると共に、児童が安全で明るく健康な活力ある学校生活を送ることができるように努める。

- 組織的な指導体制を確立し、一人一人の子どもの生活上の問題点を把握し、きめ細かい指導を行うと共に、他の教育機関との連携・協力を推進する。

イ. 進路指導

- 児童一人ひとりが自分の個性を自覚し、進んでそれを生かし、将来への高い目標が持てるような充実した学校生活が送れるように努力する。

6. 本年度の研究主題

「一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 地域の学校としての立場を強く自覚し、その期待にいつそう応え得る学校の創造を目指す。
- (2) 本年度の重点目標である「考える子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、PTA、地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行われるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	武 内 忠 雄（52・体育）	武 田 忠 雄（59・体育）
2	高 木 宏（63・特活）	



学 校 名 日野市立三沢台小学校
 所 在 地 日野市百草 896-1
 電 話 0425-92-2351・2352
 順 路 京王線百草園駅下車 徒歩 15 分
 児 童 数 男 169 名 女 152 名 計 321 名

校長氏名 西 田 敦 子

教頭氏名 雨 宮 充

1. 沿革の概要

昭 55. 4. 1 開校

日野第八小学校より分離
 児童数 666 名(男 319 名 女
 347 名)、教職員 34 名で発足

4. 7 第 1 回入学式 111 名入学

6. 10 プール完成

8. 4 体育館完成

9. 1 校庭使用開始(芝生、アンツウ
 カーの運動場)

9. 10 市主催による落成式

昭 56. 2. 10 校歌・校章発表会 開校記念日とする

3. 25 第 1 回卒業式 126 名卒業

4. 6 第 2 回入学式 114 名入学
 学級数 18

9. 22 校庭改修工事完了(ダスト舗装
 に)

昭 57. 3. 25 第 2 回卒業式 125 名卒業

4. 6 第 3 回入学式 90 名入学
 学級数 17

昭 58. 3. 25 第 3 回卒業式 110 名卒業

4. 6 第 4 回入学式 66 名入学
 学級数 16

昭 59. 3. 24 第 4 回卒業式 110 名卒業

4. 6 第 5 回入学式 82 名入学
 学級数 16

昭 60. 3. 25 第 5 回卒業式 117 名卒業

4. 6 第 6 回入学式 68 名入学
 学級数 15

6. 28 音楽室冷房設備工事完了

昭 61. 3. 25 第 6 回卒業式 131 名卒業

4. 7 第 7 回入学式 79 名入学
 学級数 14

昭 62. 3. 25 第 7 回卒業式 119 名卒業

4. 6 第 8 回入学式 60 名入学
 学級数 13

8. 31 三沢台小学童クラブ開設

昭 63. 3. 25 第 8 回卒業式 104 名卒業

4. 6 第 9 回入学式 55 名入学
 学級数 13

9. 1 体育館舞台照明設備工事完了

平元. 3. 25 第 9 回卒業式 79 名卒業

4. 6 第 10 回入学式 67 名入学
 学級数 12

平 2. 3. 24 第 10 回卒業式 89 名卒業

4. 6 第 11 回入学式 52 名入学
 学級数 12

8. 24 体育館床張替え工事完了
 A V 放送器機設置

平 3. 2. 1 ランチルーム設備充実

2. 9 創立十周年記念式典
 父母の会より記念品贈呈(遊具)

3. 25 第 11 回卒業式 79 名卒業

4. 6 第 12 回入学式 50 名入学
 学級数 12

平 4. 3. 25 第 12 回卒業式 77 名卒業

3. 31 鳥小屋・砂場・畑新設

4. 6 第 13 回入学式 41 名入学
 学級数 12

平 4. 8. 31 ランチルーム改修工事完了

8. 31 音楽室防音工事完了

9. 3 生ごみ分解消滅機使用開始

平 5. 3. 20 桜、梅の苗木を植樹

3. 25 第 13 回卒業式 56 名卒業

4. 6 第 14 回入学式 47 名入学
 学級数 12

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
初代 深尾 眞	昭 55. 2 ～ 昭 59. 3
二代 松日楽敬治	昭 59. 4 ～ 昭 62. 3
三代 福地 保	昭 62. 4 ～ 平 2. 3
四代 西田 敦子	平 2. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街（西武・日本信販）の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調に、国際社会において心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- 一、すすんで学ぶ子（重点目標）
- 一、明るく思いやりのある子
- 一、よく考え行動する子
- 一、からだをきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

児童一人一人の個性や能力を生かし、豊かな心と実践する力を培う教育を推進する。

- ア、自ら学ぶ意欲を高め、柔軟な思考力、豊かな創造力・表現力を育てるとともに学ぶことの楽しさや喜びを体得させる。
- イ、自尊と敬愛の心を育て、明るい希望をもち相手を思いやり心豊かに生活できるよう指導・援助する。
- ウ、自ら考え正しく判断し、行動できるよう主体性と実践する力を育てる。
- エ、生命を尊重し、自ら進んで健康の増進と体力の向上をめざすとともに、運動に親しむ態度や能力を育てる。
- オ、安全で美しい教育環境を整え、家庭や地域との連携を深め、学校相互の連携や交流を図る。また、教師自ら研修に励むとともに校内研究を充実させ識見と指導力を高め、創意ある教育を推進する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア、各教科

児童が自ら考え、課題に向かって主体的に取り組めるよう指導法の開発に努め、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

- 児童の学習への意欲や関心を高めるために、体験的な活動を重視した学習指導の工夫に努める。
- 学習のねらいと評価の観点をはっきりさせ、計画的な学習をすることにより児童の基礎学力の定着を図る。
- 教材、教具の効果的な活用を図り、学習効果の向上に努める。また、地域の素材を教材化し学習の中に生かす。

イ. 道 徳

教育活動の全体を通して、道徳的心情を豊かにして実践力を育てる。そのために、各教科、特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努める。

- 生命の尊重を基調に明るく思いやりの心を持ち、たくましく生きる子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

- 児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努める。
- 異年齢組織などを活用して児童相互の交流を深め、協力して落ち着いた活力のあるよい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) 特色ある教育活動

新興住宅と昔から居を構えている地域とを合わせもつ本校では、教育活動にいっそう創意と工夫を図り、児童相互の連帯意識と地域社会の一員としての自覚と実践力の高揚を図る。

- 異年齢児童のふれあいの場を多くし、児童相互、児童と教師の交流をさかんにする。
- 校内、校外での奉仕活動を通し、勤労の大切さを育み、併せて学校と地域との連携を深める。
- 環境への意欲、関心を高め、さらに、自然に親しむ態度を育てる。
- 児童の遊びを豊かにし、創造性を育み心身の調和のとれた発達の基礎を培う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 楽しい学校生活が送れるように、全教育活動を通じて、人間として調和のとれた豊かな心を育てる。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 児童の豊かな人間性を培うために、正しい、美しい、温かい、言葉で話すことができるようにする。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導、健全育成の手立てに万全を期す。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の特性を生かし、個別指導を一層徹底し生涯学習を指向する基礎作りを目指す。
- 各教科、道徳、特別活動との関連を密にして、職業や勤労に対する正しい理解と判断力を育て、労働や奉仕することの大切さを体得させる。
- 海外から帰国した児童については、学校生活への適応を図るとともに、外国における経験を生かすなど適切な指導に努める。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の児童が、主体的に学ぶ指導の工夫」 教科 生活科・理科

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	海 外 派 遣
1	雨宮 充（61 道徳）	西田 敦子（60 家庭）	西田 敦子 （58）
2	鶴間 紀子（3 生活）		



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町6-1-74
電 話 0425-81-8511・8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
児 童 数 男171名 女154名 計325名

校長氏名 中 村 孝 一

教頭氏名 森 野 豊

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

- 昭58. 3.30 仲田小学校新設のための市条例一部改正を市議会が可決
6.22 現在地に建設着工
昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任
4. 1 開校
4. 6 第1回入学式
5.23 校庭・プール竣工
7.31 体育館竣工
10.12 市主催落成式挙行
11.12 校歌・校章披露式挙行
昭60. 3.25 第1回卒業式
昭61. 3.25 第2回卒業式
昭62. 3.25 第3回卒業式
4. 1 2代校長 岩下和夫就任
昭63. 3.25 第4回卒業式
11.21 開校五周年記念式典
平成. 3.25 第5回卒業式
平 2. 3.25 第6回卒業式
平 3. 3.25 第7回卒業式
平 4. 3.25 第8回卒業式
平 4. 4. 1 3代校長 中村孝一就任
平 4. 4. 6 第9回入学式
平 5. 3.25 第9回卒業式
平 5. 4. 6 第10回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年月 ～ 年月
山 口 武 彦	昭59. 2. 1 ～ 62. 3. 31
岩 下 和 夫	昭62. 4. 1 ～ 平4. 3. 31
中 村 孝 一	平 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道(国道20号線)、西にJR中央線、北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立てて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場(日野第一桑園)跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように教育目標を設定する。

○すすんで学ぶ子

自ら学ぶ意欲を高め、社会の変化に対応できる力を育てる。

○からだをきたえる子

自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。

◎思いやりのある子

生命尊重を基盤とし、人間性尊重、人格尊重を目指し、豊かな心を育てる。

○最後までやりぬく子

困難に立ち向かい障害を乗り越えて、自己実現を図るたくましい力を育てる。

5. 本年度の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 各教科の特性を踏まえ、学習集団の編成、活用を図るなど個に応じた指導を工夫し、学ぶ喜びが実感できる授業を創造する。
- 思いやりのある児童の育成を目指し、全教育活動を通して自然や生物に対する豊かな心情を養うとともに、環境を大切にすることを育てる。

イ. 道徳

- 社会の一員としての自覚を高め、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自分や相手の立場を思いやる心情を育てる。
- 常に目標や希望をもち、その達成を目指して最後まで根気強くやりとげる意志と態度を養う。

ウ. 特別活動

- 児童の主体的な活動を促し、諸行事や学級活動を推進する。
- 学級活動の内容や方法を吟味し、指導計画を改善し、実践力を高める。

(2) 特色ある教育活動

- 学校裁量の時間（「けやきの時間」）を教育課程に位置付け、昔遊び等保護者や地域の人々とともに活動する体験的な活動の充実を図る。
- 業間での体育や持久走大会等を通して、児童に自ら進んで健康の保持・増進に取り組ませる。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育相談・生活指導朝会、看護日誌等を通して、児童理解に努め、カウンセリング・マインドに徹した個別指導を行う。
- 生活指導目標の達成を目指し、学校生活における基本的生活習慣の定着を図るとともに家庭・地域とも連携し指導の充実を図る。
- 一人一人の児童の能力・適性を捉え、将来を見通した個性の伸長を図る。
- 学級における係活動などを通して、自主的な活動意欲を高める。

6. 本年度の研究

(1) 研究主題

「表現力を高める学習指導法の工夫」

(2) 研究教科

「国語科」

(3) 研究内容

① 基本的方向

- 国語科を研究領域として、上記主題を追求し、本年度の重点教育目標「思いやりのある子」の具現化を図る。
- 昨年度までの研究及び課題を踏まえて実践し、定着を図るとともに、期待される児童像をさぐる。
- 人権尊重教育推進校4年目を踏まえ「一人一人を大切にしたい指導」により、思いやりのある児童を育てる。

② 研究方法

- 講演及び教材研究を通して、数学習指導要領の趣旨、内容の理解を深める。
- 授業研究を通して、指導内容・方法を実証していく。
- 研究推進委員会の計画・推進により、校内を三分科会に分けて進める。
- 研究教科の教材・資料図書の充実を図るとともに、教育環境の整備に努める。



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野本町7-7-7
電 話 0425-81-0009・0261
順 路 J R 日野駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男320名 女341名 計661名

校長氏名 宮 本 裕 子

教頭氏名 中 根 勉

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭38. 9. 9 プール落成
- 昭39. 5. 1 特別教室落成
- 昭41. 7. 1 体育館落成式
- 昭42. 11. 4 20周年記念式典挙行
- 昭48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑
- 昭55. 4. 1 大坂上中新設に伴い学区縮小
- 昭59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭59. 6. 4 学校給食開始
- 昭62. 11. 7 創立四十周年記念式挙行
- 平 2. 9. 3 校庭整備工事
- 平 3. 10. 25 柔道室改築
- 平 4. 2. 24 コンピュータ室工事
- 平 4. 2. 26 市研究奨励発表会
- 平 4. 12. 10 研究奨励授業公開
- 平 5. 2. 22 都教育研究員発表会
- 平 5. 3. 19 第46回卒業式挙行

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
町 田 勘之助	昭22. 4 ～ 25. 9
飯 塚 節 三	昭25. 10 ～ 37. 3
大 沢 彰	昭37. 4 ～ 40. 3
大 沢 量 作	昭40. 4 ～ 45. 3
安 部 達 郎	昭45. 4 ～ 49. 3
東 恭 朝	昭49. 4 ～ 53. 3
松 延 耕 作	昭53. 4 ～ 57. 3
小 林 節 夫	昭57. 4 ～ 59. 3
奥 村 節 生	昭59. 4 ～ 63. 3
高 橋 豊 彦	昭63. 4 ～ 平元. 1
宮 本 裕 子	平元. 2 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

一人一人を尊重し、真理と平和を求める社会の形成者として、世界に開かれた人間の育成をめざし、次の目標を定める。

- 一、自ら考え、学びつづける人（主体性）
- 一、協力し、全体につくす人（連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人（人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標を達成するための基本方針

- ①生徒が各教科等の基礎・基本を身に付け、柔軟な思考力や豊かな創造力・表現力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と主体的な態度を養う。
- ②生徒に学級・学年・学校・生徒会、さらに地域社会の一員としての自覚を促し、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする態度、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う。
- ③人権尊重の精神を培い、常に国際的視野を持ち、一人一人の生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る人間性豊かな教育を徹底する。
- ④生徒が生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図り、生命を尊び健康で明るく活力ある生活がおくれる能力・態度を育成する。

上記の基本方針を達成するため、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭や地域との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、本校教育の一層の充実、向上に努める。そのために、適切な指導計画を作成し、評価の観点を明確にし、指導方法の工夫・改善を図る。

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア、各教科

- 基礎学力の充実を図るとともに、生徒の活動や思考を生かし成就感が意欲につながる新学力観に基づく指導に努める。
- 各教科の授業時数を確保し、授業内容の充実に努める。
- チーム・ティーチングの導入等、教科指導法を工夫改善し、個に応じた指導を深め、主体的な学習態度を育成する。
- 体験的な学習、問題解決的な学習、視聴覚教材・教育機器を活用した学習等を充実し、生徒の興味・関心・意欲・主体性を伸長する。
- 学習が遅れがちな生徒に対してきめ細かな指導に努める。
- 選択教科履修幅を拡大し、数字及び情報教育において試行する。

イ、道徳

- 他領域との密接な関連を図りながら、自主的判断のもとに責任ある行動ができる道徳的実践意欲と態度を培う。
- 教育活動全体を通じて組織的・計画的・継続的な指導に努める。
- 人権を尊重する豊かで思いやりのある心・感謝と奉仕の心を養い、併せて心身に障害のある生徒や海外から帰国した生徒等、みんなと力を合わせ、協力する態度を育てる。
- 鉢花等の育成を通して、生命を尊重する精神を培う。

ウ、特別活動

- 教師と生徒、生徒相互の心の触れ合いを深め、信頼関係を確立する。
- 小集団を基礎に個人の自発性や個性を啓発し、学級集団の質を高める。
- 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。
- 部活動等、異年齢の望ましい集団活動を通して、協力や社会連帯の精神を培う。
- 学校行事を通して、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を促進する。

(2) その他の活動

サンフラワー一中（学習・心・環境）を合い言葉に、落ち着きとうるおいのある学校生活を築くため、次の環境教育や社会性を育む教育を推進する。

- 清掃・美化活動の徹底をはかり、心豊かな教育環境を醸成する。
- クリーンフェスティバルや花のある教室・学校づくり等の体験的・勤労的・奉仕的な活動を通して、心豊かな社会性を育む。

(3) 生活指導・進路指導

ア、生活指導

- 生徒の規律ある・充実した学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図り、社会の一員としての自覚を高め、社会規範を守る態度を育てる。その一環として、標準服の検討を行う。
- 生徒指導の共通理解・共通実践に努め、職員が一枚岩となって取り組む生活指導態勢を確立する。
- あいさつや朝礼等の集会指導の充実により、集団行動の質的向上を図る。

- 教育相談を重視し、生徒一人一人の内面に迫る個別指導を徹底し、集団及び個の発達に応じた適切な生徒指導を充実する。
- 保護者、地域、小学校、関係機関等と緊密な連携を図り、生徒の健全な育成に努める。

イ、進路指導

- 一人一人の生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と態度を育てる。偏差値によらない進路指導を推進する。
- 3年間を見通した全体計画を作成し、組織的・計画的・継続的な指導を行う。
- 学級活動における進路指導の時間を確保し、充実に努める。
- 職場訪問・職業調べ・高校調べ・卒業生の話聞く会・高校の先生の話聞く会等体験的な学習を通して、生きた進路情報を取得させ、適切な進路選択能力を育てる。

7. 本年度の研究主題 「生徒の個性を生かす指導の工夫」

- ① 新しい学力観に基づく評定に基づく通知表の改訂
- ② 基本的生活習慣の徹底と規律ある学校生活の確立のための標準服の検討
- ③ 業者テストによらない高校入学選抜推薦資料の作成
- ④ 6年度に向けた選択履修幅の拡大の具体的対応案
- ⑤ 校務分掌組織と運営の改善

8. 本年度の特色

次のことを、組織的な研究活動のもとに推進する。

サンフラワー中

- ・学・心・体の力
- ・美しい環境

9. その他（教職員の研究歴）

	文 部 省 等	研 究 員	研 究 生	開 発 委 員	道徳助言研
1	宮 本 裕 子 (53・カウンセリング 中央研修)	中 根 勉 (56・教育課題)	宮 本 裕 子 (52・相談)	宮 本 裕 子 (53・心障)	中 根 勉 (59・60・62)
2	中 根 勉 (63・海外派遣)	吉 田 俊 明 (63・教育課題)	浅 野 哲 男 (58・保体)	中 根 勉 (62・社会)	荒 延 江 (61)
3		浅 野 和 也 (2・教育課題)		浅 野 哲 男 (元・保体)	清 水 肇 (2)
4		清 水 肇 (3・特活)			
5		千 葉 英 明 (4・教育課題)			
6		沢 田 陽 子 (5・英語)			



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 4-5-2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中 央 線 豊 田 駅 下 車 北 へ 徒 歩 10 分
生 徒 数 男 301 名 女 293 名 計 594 名

校長氏名 大 野 隆 久

教頭氏名 太 田 俊 彌

1. 沿革の概要

昭 29 年度 設立認可、開校式、入学式
(生徒 200 名)
第二期工事八教室増築落成
昭 31 年度 第三期工事竣工落成
昭 32 年度 第 1 回卒業式(卒業生 204 名)
昭 33 年度 校旗・校歌制定
昭 34 年度 産業教育研究校に指定される
昭 35 年度 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成
昭 36 年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会
昭 37 年度 プール竣工落成
昭 38 年度 保健体育研究発表会
昭 39 年度 普通教室 3 教室竣工、創立 10
周年記念式典挙行
昭 40 年度 体育館竣工
昭 41 年度 防音校舎第一期工事完成(6 教室)
昭 42 年度 防音校舎第二期工事完成(18 教
室)、プール用更衣室工事完成
昭 43 年度 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭 48 年度 創立 20 周年記念式典挙行
昭 49 年度 南校舎 3 階塗装。技術科教室及
同準備室改造整備。中庭・他整備
昭 50 年度 南校舎 6 教室増設、南校舎 2 階
塗装
昭 51 年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備
昭 52 年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備
昭 55 年度 第二技術室の新設
昭 56 年度 北校舎内部塗装工事、校長室・
事務室の床張替え工事

昭 57 年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイ
ド改修工事。体育館床塗装工事
昭 59 年度 創立 30 周年記念式典挙行
昭 60 年度 給食棟建設工事着工
昭 62 年度 給食始まる
南校舎内部塗装工事
昭 63 年度 南校舎内部塗装工事
体育館西側舗装工事
健全育成相談室設置
平 元 年度 南校舎二階廊下改修塗装
青桐祭(文化の部)市民会館で
挙行
平 2 年度 体育館、床、壁、更衣室等改修
被服室、理科室の床改修
平 3 年度 コンピューター室新設
平 4 年度 南校舎一階廊下天上改修
北校舎階段張替え工事
北校舎二階トイレ改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 貴 一	昭 29. 3. 1 ～ 30. 9. 30
増 山 恒	昭 30. 10. 1 ～ 41. 3. 31
飯 田 栄 一	昭 41. 4. 1 ～ 46. 3. 31
河 村 俊 一 郎	昭 46. 4. 1 ～ 48. 3. 31
飯 田 卯 吉	昭 48. 4. 1 ～ 51. 3. 31
小 林 政 之 助	昭 51. 4. 1 ～ 55. 3. 31
渡 辺 吉 彦	昭 55. 4. 1 ～ 59. 3. 31
小 林 節 夫	昭 59. 4. 1 ～ 63. 3. 31
大 野 隆 久	昭 63. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者として、国際社会に生きるたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

自ら学習に励む人になろう 思いやりの心で他に尽す人になろう 進んで心身を鍛える人になろう
--

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

指導内容の充実・精選及び、指導方法の工夫改善につとめ、基礎基本の充実を図り、ゆとりある学習を通して自主学習を促進し、内発的意欲、主体的学習態度の育成を図る。

イ. 道徳

日常的教育活動全体を通して、組織的・計画的に内容の重点化を図り、学校生活全般において自主的判断のもと、責任ある行動がとれる豊かな道徳性の育成を図る。

ウ. 特別活動

学年・学級の諸活動を基盤に、生徒会活動など集団活動を通して、自主性・協調性・奉仕性等を養う。

特に、生徒会活動においては環境教育の一環として、リサイクル運動を発展させ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加させる。

部活動の種類や内容の充実を図ることによって、生徒の活動意欲を促進し、学校生活の活性化を図る。

(2) その他の活動

小集団を基に学級・学年・生徒会の活動の中で、個々の自発性を促し、生徒集団の質を高める。行事や諸活動を充実させ、活発な活動を促進することによって、生徒自身の参加の意欲を高め、主体性・協調性・創造性の伸展を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

教師と生徒、生徒相互の人間関係を深めることによって、基本的生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し、実践していく能力を養う。

問題行動の指導は、共通理解に基づき一致した指導を継続・徹底するとともに、ゆとりを持って自己教育力、自ら正す力の育成を図る。

イ. 進路指導

教師・生徒・保護者の交流を促進し、発達段階に応じた指導をすすめる、自己の個性や適性の伸長を図り、正しい職業観を育成し、自らの進路を選択できる能力を高める。

6. 本年度の研究主題

性教育

7. 本校の特色

日野市最大の多摩平第1公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、生徒も自ら小鳥・小動物の飼育を行い、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も14年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。特に青桐祭を通して生徒の誇りと二中の特性の育成に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員
1	倉 橋 延 男（5 開発 社会）



学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6-7-1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩 8 分
豊田駅(J R) 下車徒歩 18 分
生 徒 数 男 292(6・0) 女 218(5・1) 計 510(11・1)
()内は心障・相談学級の生徒数

校長氏名 名 塚 三 雄

教頭氏名 松 澤 茂 久

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校
を役場庁舎内に設置
5. 15 七生村役場を仮校舎として開校
式挙行 2 部授業で発足
昭 23. 2. 15 七生村南平 1994 番地に七生中
学校敷地決定、地鎮祭を挙行
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
昭 32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行
創立十周年の記念式典及び校歌
制定の発表を挙行
昭 33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
昭 37. 7. 31 プール開きを挙行
昭 37. ～ 39 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
昭 41. 7. 1 体育館落成
昭 42. 11. 33 創立二十周年記念式典挙行
昭 45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
4 ～ 9 七生中学校に三申分校設置
昭 46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
昭 47. 3. 20 観察用水槽完成
5. 22 訪問学級開級式
昭 50. 5. 22 南校舎西側(4 階)増築工事完
成 訪問学級教室完成
7. 1 地番変更日野市南平 6-7-1
昭 52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
昭 54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
昭 57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
昭 58. 4. 1 心障学級開設(2 教室改造)
5. 心障特別教室完成
昭 59. 5. 校庭南フェンス改修(歩道完成)
昭 59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換
・外装吹付け工事実施

- 昭 60. 3. 廊下塗装工事実施
5. 給食棟(厨房・食堂)完成
昭 61. 3. 校庭南フェンス(高)延長
昭 62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会
を挙行
平 2. 3. 訪問学級を閉鎖
2. 4. 相談(情障)学級を開級
3. 10. 体育館を改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
飯 塚 節 三	昭 22. 4 ～ 昭 25. 9
増 山 恒	昭 25. 10 ～ 昭 30. 10
飯 島 一 吉	昭 30. 10 ～ 昭 37. 3
木 村 巧	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
芳 西 幸 三	昭 40. 4 ～ 昭 44. 3
羽 崎 一 男	昭 44. 4 ～ 昭 47. 3
高 橋 太 一	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
吉 岡 孝二郎	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
山 本 保	昭 55. 4 ～ 昭 61. 3
川 崎 昭 三	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
村 田 志 信	平成元. 4 ～ 平成 4. 3
名 塚 三 雄	平成 4. 3 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川に沿う静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えてきた。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、つぎのことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心をもとう。
- ・健全な心とからだをつくろう。

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育活動全てにわたり、人権尊重の精神を培い、生徒の個性を伸長し、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。
- ② 基礎的・基本的内容を身に付けさせるため、組織的・計画的な研究を日常的に進める。
- ③ 心身障害学級との交流を図ることを通して、障害児に対する理解を深め、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育てる。
- ④ 地域に開かれた学校を目指して、学区小学校、諸機関との連携を深め、生徒の健全育成に努めるとともに、地域との連帯感、地域への帰属意識を培う。
- ⑤ 自主性と創造性に富む集団の育成を目指し、生徒会活動や学級活動を積極的に推進する。
- ⑥ 自国の文化や伝統に対する理解を深めさせ、国際的視野に立って行動できる生徒を育てる。

(3) 心障学級の目標

- ① 情緒・情操豊かで、健康な身体を育てる。
- ② 一人一人の発達段階に応じて、言語による表現活動（認識）を豊かに育てる。
- ③ 生活に必要な知識や技能を学び、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ④ 互いの命や個性を大事にし、助け合って働ける力を育てる。

(4) 相談学級の目標

- ① 教育相談の充実を図り、生徒の健全な成長と民主的な人格の育成とを図る。
- ② 多くの人と接触する中で、親密な人間関係を通して協調性と社会性を身に付けさせる。
- ③ 学習に対する不安感を除去しながら、学習の遅れを取り戻し、学習の習慣化に努めさせる。
- ④ 登校のための援助を通して生活のリズムを回復するように努めさせる。
- ⑤ 以上のことを踏まえ、原籍校へ復帰できるよう指導する。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎的・基本的事項の指導を徹底し、生徒一人一人の個性の伸長を図るとともに、主体的に学ぶ意欲を向上させる。

イ. 道徳

- 健康で、明るく、他を思いやり互いに協力する態度を育てる。
- 物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を育てる。

ウ. 特別活動

- 生徒の自主的活動を積極的に援助し、一人一人の個性、能力の伸長を図る。

(2) その他の活動

- 集団生活や、体験的活動をとおして、互いに協力し合い、高め合う態度を育てる。
- 生徒理解を深め、個性の伸長をはかるとともに、生活意欲の向上に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 諸活動を通し、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- 基本的生活習慣の指導を通し、中学生として望ましい生活態度を育てる。

イ. 進路指導

- 自己理解を深め、自分の特性にあった進路を選択するとともに、自ら向上し自己実現を図ろうとする態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

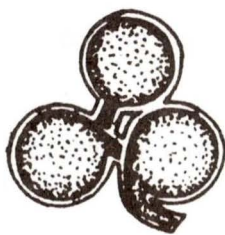
生徒の自律心を育てる学級指導

7. 本校の特色

- 生徒は明るく素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して意欲的に活動している。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒会活動が盛んで、新入生を迎える会、三年生を送る会等の行事が、活発に行われている。
- 地区育成会や小学校とも連携して、開かれた学校づくりに努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	名塚 三雄（43. 特活）	柳沢 美澄（56. 英語）	大谷 良光（61. 技術）
2	柳沢 美澄（55. 英語）	瀬川 昭英（63. 国語）	瀬川 昭英（元. 国語）
3	大谷 良光（59. 技術）		
4	松澤 茂久（59. 特活）		
5	瀬川 昭英（60. 国語）		
6	長坂 昌弘（元. 音楽）		
7	岡田 洋子（元. ）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 650
電 話 0425-91-2228・2229・2221
順 路 京王線高幡不動下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩7分
生 徒 数 男 389 名 女 328 名 計 717 名

校長氏名 高 木 宏 文

教頭氏名 三 浦 義 次

1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中
分校として、七生中学校内で授
業開始 生徒数 26 名、教職員
数 12 名
- 昭 45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校
七生中学校内で授業 生徒数44
名、教職員 14 名、百草、高幡の
両団地を学区にする
- 昭 46. 3.27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全部、
三沢地区上、中を加える
7. 1 学区変更、西部百草団地を加
える
10. 2 開校式を挙行 10月2日を開校
記念日とする 校章・校歌を発
表
- 昭 48. 1.31 体育館工事竣工
- 昭 50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭 54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭 55.10. 5 創立十周年記念式典
- 昭 59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅お
よび日本信販西部百草園住宅地
域を除外、三沢中学校区に移す
- 昭 59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プール
管理棟竣工
- 昭 62. 3.31 プール改修工事竣工
- 平 元. 8.31 集中コントロールガス暖房工事
竣工
- 平 2. 6.22 クラブハウス竣工
- 平 2. 6.26 校庭夜間照明施設竣工
- 平 2. 8.13 給食棟竣工
- 平 2. 9.28 給食開始
- 平 2.11.17 創立二十周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭 45. 9 ～ 48. 3
松 延 耕 作	昭 48. 4 ～ 53. 3
田 中 引 明	昭 53. 4 ～ 56. 3
長 岡 宗 次	昭 56. 4 ～ 59. 3
千 葉 廣 志	昭 59. 4 ～ 63. 3
清 水 春 海	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
高 木 宏 文	平 3. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって、文教地区を形成している。

4. 教育目標

- (1) 人権尊重の精神を基調に国際社会に活躍できる心身ともに健かな人間を育成するため次の目標を定める。「自ら判断し、責任をもって実行する人となる。」
- 自ら学び、考え工夫する人
 - 自然や人々を大切にする人
 - 自ら心身を鍛え、やりぬく人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① ティームティーチングや外国人講師の導入による効果を通し、研究実践部門の活性化と充実を図る。
- ② 教育目標を具体化した学年・学級目標を設定し、それに基づいて学年・学級経営の充実を図る。
- ③ 指導方法の改善、工夫、基礎基本の重視をするため、パソコン・VTRなど視聴覚機器の利用やティームティーチング・外国人講師を導入し、生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。
- ④ 修学旅行の自主学習を始め、学年・生徒会行事・委員会の諸活動を通して、生徒の自主的実践的な特別活動を充実させるとともに、満足感のある学校生活を送らせる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・教材を基礎的・基本的な内容への一層の精選を図り、自ら選ぶ意欲を大切にし、自主的な学習を促進する。特に、T.T.の導入により基礎的学力を向上させ、AETの導入においては基礎的英会話力を身につけさせるとともに、国際理解を役立たせ一助とする。
- ・視覚に訴える機器、VTR・パソコンなどを活用し工夫することにより、生徒によりわかりやすい授業を展開する。
- ・指導と評価の一体化により、学習意欲の増大を図る。

イ. 道徳

- ・他領域との関連を図りながら豊かな心を育てる。自主的判断のもとに責任ある行動ができる生徒を育てるよう、指導内容を工夫する。豊かな体験を通して思いやりと協調性を養い、感謝の心を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級・学年内の小集団を基本に、学校行事等に主体的に取り組ませ、協力し、力強く生きていく能力を育む。諸行事における班活動や、学校行事での兄弟学級の活動を通して、生徒の自主的活動の力を育てる。
- ・生徒会活動に重点をおき、各委員会で重点目標を設定し、生徒の自主的・体験的な活動を重視する。また、清掃活動などを通して、勤労生産・奉仕活動の充実を図る。
- ・地域の中での交流を通して、心や体に障害のある人への正しい理解を培い、思いやりの心を育てる。

(2) その他の活動

- ・落ち着きと潤いのある学校生活を送らせるため、清掃美化指導の徹底を図る。
- ・諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主、自律的な活動ができるように指導にあたる。
- ・地域の小学校・養護学校との交流を図り、相互の理解を深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・自ら正しく判断することを基本に、自律ある生活態度を身につけさせる。具体的には、「時間のけじめをつける」「話を聞く態度を養う」を2本の柱として指導をする。
- ・教育相談を充実させ、学校生活への適応に関する指導をする。
- ・問題行動に対する指導は、全教職員の共通理解に基づき、一致した指導の徹底をめざす。

イ. 進路指導

- ・各学年に応じた系統的指導の徹底をめざし、生き方に関わる指導を充実させる。1年の職業調

- べ、2年の職場訪問、3年の卒業生の話を聞く会を通して、具体的に自己の進路を考えさせる。
- ・教師、生徒、保護者の緊密な交流を図り、進路情報を有効に活用し、適切な進路選択ができるようにする。

6. 本年度の研究課題

ア. 主題「個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫」

イ. 研究内容

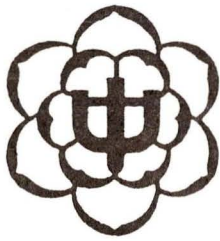
- ① 主体的に学習させる授業研究
- ② 自主、自律、思いやりの心を育てる道德の進め方
- ③ 自主的活動を促進する生徒指導
- ④ 各学年に応じた進路指導の検討

7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校23年目で、学級数は21、学区内の小学校は、潤徳小、高幡台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具体化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。
- 団地、分譲地を主体とした地域で、保護者の約3分の1が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	大 宅 寛（42 音）	伴 野 博 夫（55 美）	現代化、高木 宏文（51 特活）
2	高 木 宏 文（46 数）	橘 陽 臣（57 体）	海外派遣、長期 高木 宏文（2）
3	三 浦 義 次（46 技）	鈴 木 渉（59 音）	
4	飯 島 利 三（47 技）	乙 黒 義 夫（2 国）	
5	乙 黒 義 夫（57 国）		
6	飯 島 利 三（60 課）		
7	乙 黒 義 夫（62 書）		
8	横 溝 雅 之（2 保体）		
9	片倉 俊秀（63.3道・元2性教）		
10	辻 野 良 子（ 道德）		
11	山 口 俊 浩（ 保体）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 中 学 校
所 在 地 日 野 市 旭 が 丘 2-42
電 話 0425-83-3905・3906
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩 17 分
バス（長房団地行、都立科学技術大学下車 5 分）
生 徒 数 男 377 名 女 365 名 計 742 名 20 学級

校長氏名 高 橋 和 子

教頭氏名 酒 井 徳 行

1. 沿革の概要

- 昭 47. 5. 10 市教委に四中設立委員会設置
8. 21 校舎起工式（工事費19億円施工
小田急建設）
12. 7 学区決定
昭 48. 1. 18 屋内体育館着工
3. 26 都教委・第四中学校設立を認可
4. 1 初代校長 河村俊一郎氏以下
教員 24 名発令・開校
7. 2 屋内体育館完成 使用開始
（工費約 4,600 万円 施工 小
田急建設）
7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール完成（工費 2,700 万円）
10. 13 校歌作詞完成
10. 16 校章決定、教育目標設定
11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫氏）
11. 16 校旗完成
11. 17 落成式挙行
11. 22 第一回開校記念日
昭 49. 2. 2 標準服制定
5. 30 保健室 冷房装置取り付け
7. 1 増築工事開始
7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け
9. 6 駐車場舗装（体育館西側）
昭 50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
3. 8 増築部完成 校舎 3 スパン
機械室 工費約 1 億 6 千万円
施工 小田急建設
4. 26 テニスコート完成
校庭の校舎に U 字溝設置
昭 51. 1. 16 図書館開館
昭 52. 4. 1 二代校長 山口幸雄氏着任

- 昭 52. 9. 13 第三期工事開始、東端 3 スパン、
美術室を理科室に改造
（工費 9,500 万円 施工 小田
急建設、年度末完成）
昭 53. 3. 28 校庭に防球フェンス設置
昭 54. 5. 15 校庭東側に防球フェンス設置
昭 55. 1. 18 仮称八中（現平山中）学校準備
委員会発足
6. 26 校庭南側に防球フェンス設置
昭 56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲氏 着任
昭 58. 4. 10 学校警備、機械化となる
11. 21 創立十周年記念式典挙行
校歌碑建立・除幕
昭 59. 8. 1 体育館床の研磨
昭 60. 4. 1 四代校長 立川泰司氏 着任
昭 62. 1. 17 給食棟建設工事着工
9. 30 給食棟及びテニスコート（全天
候型に）改修
昭 63. 4. 1 五代校長 桑原和正氏 着任
5. 16 給食開始
平成 2. 8. 18 西側校舎外壁塗装
平成 3. 7. 21 東側 “
平成 4. 4. 1 六代校長 高橋和子氏 着任
平成 4. 9. 30 校庭の全面改修工事終了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 村 俊一郎	昭 48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
山 口 幸 雄	昭 52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
花牟礼 哲	昭 56. 4. 1 ～ 60. 3. 31
立 川 泰 司	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3. 31
桑 原 和 正	昭 63. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
高 橋 和 子	平 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地（日野台）、南半分の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく昭和12年、小西六写真工業（株）（六桜社）、昭和18年富士電機製造（株）の進出まで、ほとんど見るべきものはなかった。

しかし、戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

平和で民主的な国家社会の形成者として世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標をさだめます。

- 一、よく考え、自ら学ぶ人
- 一、心身を鍛え、やりぬく人
- 一、他を思いやり、責任ある行動をとる人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

新しい教育課程の完全実施を迎え、さらに研修を深めながら、その趣旨に沿った教育を創造していく。

1. 各教科・領域及び学年の指導目標を学校教育目標との関連において明確にし、全教職員の共通理解のもとに指導にあたる。
2. 生徒の自主的実践活動を重視した行事の実施、及び学年・学級経営を図る。
3. 個々の生徒とのふれ合いを密にし、個人の潜在する能力を引き出す教育を進める。
4. 地域・家庭との連携を密にし、理解と協力を得て、教育目標の達成を図る。
5. 学ぶにふさわしい教育環境の整備、美化に努め、あわせて地域の自然や文化を大切にする態度を育成する。
6. 指導主体としての力量を高めるため、校内の様々な指導資料の収集に努め、その有効活用を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

1. 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材等の精選につとめ、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生徒一人一人の能力の伸長に努める。
3. 各生徒の学力を明確に把握し、個に応じた指導法を工夫する。

イ. 道徳

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 物を大切にする心を養う。
3. よく考えて行動し、結果に責任を持って着実にやりぬく強い意志を養う。

ウ. 特別活動

1. 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。
2. 集団の一員としての自己の役割や責任の自覚を深め、協力してよりよい集団生活を営むよう

にする。

3. 生徒の能力や個性を的確にとらえ、それらを発揮する場の設定と伸長に努める。
4. 学級活動・生徒会活動及びクラブ活動の充実を図り、生徒の健全育成に努める。

(2) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

1. 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、家庭・地域との連携を密にし、生徒の健全育成に努める。
2. 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備・美化に努めさせる。
3. 心身の健康安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
4. 集団生活の意義や個人の果たす役割を理解し、集団の質を高める態度を養う。
5. 一人ひとりの生徒について正しい理解を深めるため、教育相談活動を充実する。
6. 全校集会・学年集会などを通して、集団指導の充実に努める。

イ. 進路指導

1. 系統的な指導に努め、自己理解・情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力と態度を育成する。
2. 各教科の学習活動を通して人の生き方に触れる指導の工夫をする。

6. 本年度の研究主題

人権尊重教育の推進 ・学校不適応生徒の理解と指導法の研究

7. 本校の特色

- (1) 教育活動 各領域の調和を保ちながら、明るく活力ある校風を育てる。

ア、授 業 生徒の理解を深める指導法の研究に努め、生徒の自ら学ぶ態度を育てる。

イ、特別活動 学級活動、生徒会活動、クラブ活動と学校行事の調和をめざし自主・自立の心を育てると共に、感動体験を多く得られる活動をめざす。

- (2) 授業研究の推進

日野市の学校教育の指導目標にのっとり、授業研究の推進に努める。

- (3) 父母との連携

学級・学年父母会・地域懇談会などにより、共通理解をふかめ連携を図る。

- (4) 美化・緑化の推進

清掃のゆきとどいた校舎内外の環境美化に努める。

- (5) 体験学習の推進

・八王子東養護学校や光の家との触合いマラソン等の交流を通して、共に生きる豊かな心を育てる。

8. その他（教職員の研修歴）

№	研 究 員	開発委員・現代化委員	研 究 生
1	高橋和子 38 保健体育	高橋清子 57 家 庭	村山敏雄 51 音 楽
2	高橋和子 40 特別活動	村上敏雄 62 音 楽	
3	高橋和子 43 学校保健	並木 修 5 教育課題	
4	村上敏雄 47 音 楽	酒井徳行 63 特別活動	
5	高橋清子 61 家 庭		
6	鈴木直也 5 保健体育		



学 校 名 日野市立三沢中学校
所 在 地 日野市三沢 1-17-4
電 話 0425-92-5017・5018
順 路 京王線百草園より西へ徒歩 10 分
高幡不動駅より東へ徒歩 12 分
生 徒 数 男 290 名 女 291 名 計 581 名

校長氏名 山 崎 妙 子

教頭氏名 深 山 睦 弘

1. 沿革の概要

昭 51. 9. 18 仮称 5 中学校校舎起工式
昭 52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校 教頭
以下教職員 22 名発令
4. 6 始業式 (2 年 156 名、3 年 147
名
4. 7 第 1 回入学式 (1 年 188 名、
全校生徒 491 名)
9. 16 第 1 回開校記念日
昭 53. 3. 22 第 1 回卒業式 (男 80 名女 66 名)
4. 7 第 2 回入学式 (男 109 名女 85 名)
昭 54. 3. 19 第 2 回卒業式 (男 75 名女 88 名)
4. 7 第 3 回入学式 (男 111 名女 91 名)
昭 55. 3. 18 第 3 回卒業式 (男 93 名女 91 名)
4. 8 第 4 回入学式 (男 107 名女 105 名)
昭 56. 3. 20 第 4 回卒業式 (男 105 名女 86 名)
4. 6 第 5 回入学式 (男 131 名女 94 名)
昭 57. 3. 19 第 5 回卒業式 (男 108 名女 95 名)
4. 1 二代校長 降旗経雄発令
4. 7 第 6 回入学式
(男 137 名 女 108 名)
昭 58. 3. 19 第 6 回卒業式
(男 110 名 女 108 名)
4. 7 第 7 回入学式
(男 107 名 女 122 名)
18 学級 教職員 35 名
昭 59. 3. 19 第 7 回卒業式 (男 130 名女 95 名)
4. 1 校舎増築、給食室完成
4. 7 第 8 回入学式
(男 174 名 女 161 名)
昭 60. 3. 19 第 8 回卒業式
(男 136 名 女 102 名)
3. 31 西側第二グラウンド完成

昭 60. 4. 8 第 9 回入学式
(男 171 名 女 153 名)
昭 61. 3. 20 第 9 回卒業式
(男 110 名 女 119 名)
3. 31 前庭、中庭緑化完成
4. 8 第 10 回入学式
(男 169 名 女 170 名)
24 学級 教職員 55 名
昭 62. 3. 20 第 10 回卒業式
(男 174 名 女 169 名)
4. 1 三代校長 綿引正己発令
4. 7 第 11 回入学式
(男 173 名 女 142 名)
23 学級 教職員 55 名
11. 7 創立 10 周年記念式典
昭 63. 3. 18 第 11 回卒業式
(男 175 名 女 164 名)
4. 7 第 12 回入学式
(男 142 名 女 129 名)
23 学級 教職員 56 名
平 元. 3. 20 第 12 回卒業式
(男 170 名 女 168 名)
4. 7 第 13 回入学式 (男 132 名女 97 名)
21 学級 教職員 50 名
平 2. 3. 20 第 13 回卒業式
(男 173 名 女 142 名)
4. 1 四代校長 阿部忠志発令
4. 7 第 14 回入学式
(男 129 名 女 111 名)
18 学級 教職員 44 名
平 3. 3. 20. 第 14 回卒業式
(男 142 名 女 123 名)
4. 8 第 15 回入学式
(男 96 名 女 103 名)
17 学級 教職員 42 名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
古 川 豊	昭52. 2. 1 ～ 57. 3. 31
隆 簇 経 雄	昭57. 4. 1 ～ 62. 3. 31
綿 引 正 己	昭62. 4. 1 ～ 平2. 3. 31
阿 部 忠 志	平 2. 4. 1 ～ 平5. 3. 31
山 崎 妙 子	平 5. 4. 1 ～ 現 在

- 平 4. 3. 19 第15回卒業式(男133名 女99名)
 4. 7 第16回入学式(男108名 女86名)
 18学級 教職員 42
 平 5. 3. 19 第16回卒業式(男136名 女111名)
 4. 1 五代校長 山崎妙子発令
 4. 7 第17回入学式(男86名 女101名)

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区域は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 各教科、各領域の調和とそれぞれの充実により、学習の基礎的・基本的内容の定着を図る。
- (2) 生徒と教師、生徒相互の理解を深め、一人一人を生かす指導を充実する。
- (3) 生徒・教職員および保護者に学校週5日制の意義の浸透を図るとともに、現行の教育水準の維持を図る。
- (4) 健康・安全の指導を充実、体位、体力の向上に努めるとともに、集団の一員としての自覚ある態度を育てる。
- (5) 教育環境を整えるとともに、生徒の自主的・自治的能力の育成に努め、明るく生き生きした校風を確立する。
- (6) 父母、地域と連携し、その役割を明確にし、一体感のある指導体勢を高め、社会の信頼に応える。

◆指導の重点

(1) 各教科

自ら学ぶ意欲を高める指導を推進する。そのために

ア. 指導内容を精選、工夫し、基礎・基本の指導の徹底に努める。

イ. 生徒の自主的な学習活動、体験的な学習活動、地域の教材を生かした教育活動等を重視した指導の推進に努める。

ウ. 情報の収集や活用能力を高める指導の推進に努める。

(2) 道徳

ア. 人権尊重の精神を基本に据え、自他を尊重し、認め合い、支え合い、励ましあう態度の育成に努める。

イ. 自然や美的なものを受取る豊かな心を育てる指導に努める。

ウ. 郷土を受取る心、地域社会の一員としての自覚を育くむ指導に努める。

(3) 特別活動

ア. 望ましい集団活動を育成し、自己実現をはかる能力の向上に努める。特に、生徒会活動、学級活動の活発化とともに、学年、学級単位の活動の創意工夫に努める。

イ. 自主性、自律性の向上を目指す指導の推進に努める。そのために自己理解の深化、集団の一

員としての自覚の高揚、進んで生活課題の解決に取り組む態度の育成に努める。

ウ．学校行事を体験的な学習の機会として生かし、個性、創造性の伸長に努める。

(4) その他の活動

ア．校舎外の美化活動を通して、連帯感や奉仕の心を育てる。

イ．特別活動と関連させ、学年・学級の独自性を生かし、明るく楽しい学校生活を創造する意欲や態度を育てる。

ウ．外国人英語指導助手の活用を図り、国際理解教育の拡充に生かす。

エ．個別指導を工夫し、学力補充、学校不適応生徒の指導に取り組む。

(5) 生活指導

ア．教育相談の手法を取り入れ、教師と生徒との心の触れ合いを深め、全教職員のまとまりのある指導を徹底する。

イ．健康・安全についての理解を徹底し、規則正しい態度を身につけさせる。

ウ．進んで協力し、責任を果たす態度を育てる。

エ．集団生活のきまりを守り、明るい学校生活を送らせる。

(6) 進路指導

ア．3年間を見通した進路指導を整備し、適時、適切な指導を工夫する。

イ．将来の希望や期待をもたせ、目標達成への意欲を高める。

ウ．個性、能力の理解を深め、進路選択を適切に援助する。

5. 本年度の研究主題

生徒理解（意欲をもたせる評価、声かけ、わかる授業の工夫、事例研究等を通して生徒理解を深める）

6. 本校の特色

本校は開校以来 16 年が経過し、教職員の努力と地域、父母の協力により、学校の基礎が確立されたところである。また平成 3 年度にコンピュータ室も設置され、情報教育にも力を入れるなど体験的な活動、生徒の創意を生かす教育も定着しつつある。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく伸びやかな雰囲気大切にしている。その中で自ら考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成をめざしている。このことを可能にするため、授業研究、行事の充実、生徒理解のための校内研修を重視している。

7. その他（教職員の研究歴）

教 育 研 究 員	開 発 委 員	道 徳 助 言 研
深 山 睦 弘（60.英語）	深 山 睦 弘（61.英語）	山 崎 妙 子（46. 47年度）



学 校 名 日野市立大坂上中学校
所 在 地 日野市大坂上 4-17-1
電 話 0425-83-9755・9756・9696 FAX 0425-83-9696
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 12 分
生 徒 数 男 355(8) 女 298(3) 計 653(11)
()内 心障学級生徒数

校長氏名 伴 野 博 夫

教頭氏名 鈴 木 渉

1. 沿革の概要

昭 55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任
4. 1 日野市立大坂上中学校開校
教頭以下教職員 37 名発令
4. 7 始業式(2・3 年 449(15)名
4. 8 第 1 回入学式 272(2)名
5. 15 校舎・校庭工事完成
6. 6 体育館工事完成
6. 28 プール工事完成
7. 12 落成式举行
8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定
11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成
11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌発
表会举行
昭 56. 3. 9 第 1 回卒業式 244 名
4. 7 第 2 回入学式 262(12)名
昭 57. 3. 19 第 2 回卒業式 222 名
4. 7 第 3 回入学式 225(7)名
昭 58. 3. 9 第 3 回卒業式 292 名
3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室、
普通教室 4 完成
4. 7 第 4 回入学式 269(5)名
昭 59. 3. 19 第 4 回卒業式 285 名
4. 7 第 5 回入学式 317(6)名
昭 60. 3. 19 第 5 回卒業式 257(4)名
4. 8 第 6 回入学式 284(4)名
昭 61. 3. 20 第 6 回卒業式 270(5)名
4. 8 第 7 回入学式 336(5)名
昭 62. 3. 20 第 7 回卒業式 320(6)名
4. 7 第 8 回入学式 307(3)名
昭 63. 3. 18 第 8 回卒業式 285(4)名
4. 1 第 2 代 名塚三雄校長着任
4. 7 第 9 回入学式 278(4)名
平 元 3. 20 第 9 回卒業式 334(6)名

平 元 4. 7 第 10 回入学式 244(1)名
平 2. 3. 20 第 10 回卒業式 296(3)名
4. 7 第 11 回入学式 242(4)名
平 3. 3. 20 第 11 回卒業式 276(3)名
平 4. 4. 8 第 12 回入学式 241(3)名
3. 19 第 12 回卒業式 243(1)名
4. 1 第 3 代 伴野博夫校長着任
4. 7 第 13 回入学式 214(3)名
平 5. 3. 19 第 13 回卒業式 240(5)名
4. 7 第 14 回入学式 183(5)名

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	長谷川 辰 美	昭 55. 2. 1 ～ 63. 3. 31
2	名 塚 三 雄	昭 63. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
3	伴 野 博 夫	平 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。
また、関東ローマ層の日野台地にあり、昭和 11
年日野工場地帯の中に設立された神鋼電機(株)
のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も
多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接し
ており、教育環境は良好である。

4. 教育目標

広い視野に立って、進んで自己を開拓し、向
上しつづける人になろう。

- ① よく考え、進んで学ぼう。(知性)
- ② 思いやりの心をもち、他につくそう。敬愛)
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう。(健全)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 授業規律の確立を図り、生徒一人一人が主役となるよう作業的・体験的な学習を取り入れた授業の工夫を進める。
- 基礎学力の充実を図り、学習の遅れがちな生徒への対策を図る。
- チーム・ティーチングによる授業を推進し、一人一人の個性と能力の伸長を図る。
- コンピュータ機器を活用し、情報処理能力を育成する。

イ. 道徳

- 正しい道徳的判断力と思いやりの心を培う。
- 社会の一員としての奉仕と感謝の心を培う。
- 学校生活全体を通して系統的に、道徳的实践力を育てる。
- 年間指導計画の整備を図り、道徳時間の確保と充実に努める。

ウ. 特別活動

- 自主性を育て、主体的な実践活動を通して充実した学校生活を送らせる。
- 体験を重視した行事を通して、社会性を培い、感動や奉仕の心を養う。
- 歌声の響く学校づくりを通して、みずみずしい感性と豊かな心を培う。
- 心身障害学級との交流を積極的に図り、障害のある人への正しい理解力を育てる。

(2) その他の活動

落ち着きと潤いのある学校生活の中で、喜びと生きがい育てるために清掃美化教育の徹底を図る。

- 米国姉妹校その他の学校との交流を図り、国際的視野を広げる教育の推進を図る。
- 委員会や学級の係活動等を計画的に行い、生徒会の諸活動を一層充実させるように努める。
- 教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるよう、学年・学級の諸活動の充実に努める。
- 各種委員会等の活動を活発にし、一人一人を生かす教育活動の充実に図る。
- 地域の社会人を講師として活用したり、地区育成会との交流を深めることにより生徒の視野を広げると共に、地域の教育力を学校教育へ取り込むようにする。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 生徒一人一人の自らを律する態度の育成を図る。
- 規律ある学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図る。
- 共通理解から、共通実践へ。職員の指導体制の充実を図る。
- 全校朝会や学年集会を通して、集会指導の一層の充実を図る。
- 言語に対する意識や関心を高め、言語活動の適性化を図る。
- 不登校生徒への対応については、家庭との連絡を密にとり、家庭訪問や予習資料等の提供などに心を配りつつ、一日も早く登校できるよう改善に努める。

イ. 進路指導

- 生徒が広い視野にたって自己の能力と適性を伸ばし、目的意識をもって将来の進路を選択すると共に、生涯をたくましく意欲的に生きつづける力を育てるよう系統的、計画的な指導の充実に努める。
- 外国人留学生や地域の社会人講師等との交流を通し、啓発的経験を重視し、生き方・在り方を考えさせる指導の充実を図る。

6. 本年度の研究主題

一人一人を生かす進路指導の研究

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校 14 年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢 30 年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢 100 年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58 年度より学校給食が始まり 396 名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

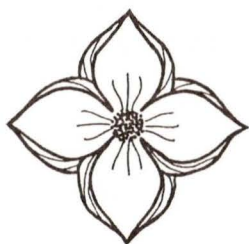
また本校は心障学級設置校であり、交流学習等教育内容の充実に努めている。幸いにして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成 5 年度は、①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり、②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め、③生活環境を全校あげて整備し、安全・清潔・静粛な学校の維持・向上につとめていく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心をもち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	そ の 他
1		伴野 博夫(46.美術)	伴野博夫(55.美術)	中野秀樹(H3)	中野秀樹 (55. 道徳助言)
2		田熊 裕(49.数学)	鈴木 渉(59.音楽)		佐藤至正 (59. 進路中央研)
3		中野 秀樹(61社会科)	佐藤至正(60.技術)		鈴木 渉 (H元,道徳助言)
4		渡辺やす子(H3家庭科)	成瀬 誠(60.特活)		中野秀樹 (H元, 地質調査)
5		宇田川 修(H4.心障)	木嶋 健(62.社会)		
6			山田よし子(H元音楽)		
7			高橋陽子(H4.美術)		



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山 4-21-3
電 話 0425-93-3015
順 路 J R 豊田駅下車 徒歩 18 分
京王線 南平駅下車 徒歩 10 分
生 徒 数 男子 258 名・女子 247 名・計 505 名

校長氏名 北 原 景 昭

教頭氏名 浅 野 博

1. 沿革の概要

- 昭 55. 6. 14 校舎建設工事着工
8. 25 給食室建設工事着工
12. 15 プール建設工事着工
12. 16 体育館建設工事着工
昭 56. 2. 1 初代校長 河野寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭 29、
主査 1、市職員 11 名着任
5. 11 アラームシステムによる自動警
備開始
5. 19 校庭造成工事終わる
5. 27 プール完成
7. 15 東テニスコート完成
8. 21 体育館完成
9. 21 西テニスコート完成
12. 25 校旗完成
昭 57. 1. 7 校歌完成
2. 6 校歌、校章発表会
3. 1 中国日本語教師団の来校
4. 11 学校スポーツ開始
4. 23 家庭教育学級開講
昭 58. 1. 24 平山中 P T A 規約成立
2. 8 体育館自動警備設備工事完了
4. 1 第二代校長 川崎昭三着任
昭 60. 11. 30 校庭南側防音工事完了
昭 61. 4. 1 第三代校長 高木宏文着任
平 元. 8. 31 図書室（4 階）の改修完了
平 3. 7. 15 食堂建設工事着工
平 4. 4. 13 食堂建設工事完了
平 5. 2. 18 パソコン室工事着工
4. 21 パソコン室工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 野 寿 忠	昭 56. 2 ～ 58. 3
川 崎 昭 三	昭 58. 4 ～ 61. 3
高 木 宏 文	昭 61. 4 ～ 平 3. 3
北 原 景 昭	平 3. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。
校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、
校舎北側は、堤防道路をへだてて、浅川の河川
敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵
まれている。

学区域は、東西の最長部分が約 2.3 km、南北
が約 1.5 km にわたり、学校は学区域の最も北東
部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴い、ベッドタウン
のたたずまいを濃くし、人口の急増が見られた
が、生徒数は 62 年度を峠に漸減に向っている。
父母の教育への関心度は極めて高い。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人
- 協力し、進んで働く人
- 自然や人々を大切にする人
- 心身を鍛え、やりぬく人

5. 指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各 教 科

- ・基礎・基本を大切にし、わかりやすい授
業、楽しい学習を展開し、個性を伸ばす
指導法や教材に工夫をこらす。

- ・地域の自然、文化を教材や教育活動に取り入れる。
- ・基礎学力の充実を図り、日常の学校や家庭生活の中で、生徒が自主的に学習を進めることができるように、意欲を育てる習慣を身につけさせる。
- ・体験学習を通し情操教育を充実させ豊かな感性を養う。

イ. 道 徳

- ・温かい人間愛を基礎とした望ましい人間関係をつくるよう、すべての人を尊重し、理解する心情の育成を図る。
- ・ものごとの善悪を正しく判断し、正しい事は勇気をもって実践する態度を養う。
- ・全教育活動を通して、人間としての生き方についての自覚を深め道徳的实践力を育成する。

ウ. 特別活動

- ・生徒会・クラブ・部活動・学年・学級の諸活動への積極的な参加を通して、所属意識を高めると共に連帯感の精神を養い、責任感と実行力を身につけさせる。
- ・1年野外活動・2年スキー教室・3年修学旅行などを実施し、各学年の発達段階に応じた協力・思いやり・責任感等の心を育てると共に、物事を計画的・組織的に進める能力や態度を養う。

(2) その他の活動

- ・教育相談・個人面談・進路相談の実施をおしすすめる。
- ・基礎的な学力を身につけるための自主活動、補充学習・質問教室など計画的にすすめる。
- ・生徒会活動を通し、浅川の清掃やリサイクル活動などボランティア活動を積極的にすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・生徒が主体的に運営する集会活動などを計画的に実施し、望ましい生活集団や態度を育て、集団の質を高める指導を行う。
- ・個人面談、教育相談などを通して、生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を確立し、豊かな人間関係を育てる。
- ・全教職員が一致して指導する体制をつくって、問題傾向には早期に対応策を講じ、家庭や関係諸機関との連携を密にして、全生徒の健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ・自己の特性を知って、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。
- ・個々の生徒や各学年の発達段階、特性等を考慮して、3年間を見通した計画的・系統的な指導を実施する。

6. 本年度の研究主題

「性教育と遅進児対策を中心とした、各学級・学年の取り組み」

7. 本校の特色

開校13年目の学校で、生徒一人ひとりの個性を尊重し、生徒一人ひとりを大切にする教育を基本としている。生徒も教職員も「学校へ来るのが楽しい」といえる学校を目指して、下記事項に重点をおき、指導に当たっている。

○生徒をとりまくいろいろな環境を整え、活気に満ちた学校にする。

○「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校にする。

8. 教職員の研究歴

№	内 訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1		渡辺 淳(元.3.英)	北野 一也(4.保体)	坂井 悦子(2.理)
2		池田 純二(元.数)		小柳津真里(5.数)

